

授業評価2006

—学生による授業評価報告書—

平成19年3月

放送大学

授業評価2006

－学生による授業評価結果報告書－

I	「学生による授業評価2006」の概要	1
I-1	目的	
I-2	構成と内容	
I-3	方法と期間	
I-4	回答者の特性	
I-5	評価結果の提供と公表	
I-5-1	評価結果の提供	
I-5-2	評価結果の公表	
II	評定尺度調査の分析結果	15
II-1	学部票結果の分析	
II-1-1	全体的傾向	
II-1-2	項目別の結果	
II-2	大学院票結果の分析	
II-2-1	全体的傾向	
II-2-2	項目別の結果	
III	自由記述のまとめ	38
III-1	総括	
III-2	学部	
III-3	大学院	
付録		81
(1)	平成18年度学生による授業評価集計結果の概要等について	
(2)	学部 平成18年度学生による授業評価の調査結果 (属性別クロス集計：全体)	
	大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果 (属性別クロス集計：全体)	
(3)	キャンパスネットワークHP 掲載例	

I 「学生による授業評価2006」の概要

I-1 目的

本学では、学生の授業に関する理解の状況や満足感等を把握することによって、教育内容や教授方法および学習支援システム等の改善に資することを目的とし、昨年度から自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入している。昨年度は、初回ということもあって、試行としての意味も持たせたが、第2回目の今年度は、昨年度の調査内容に回答のしやすさなどを勘案した上で若干の変更を加え、さらに大学院科目にも対象を拡大して、本格的な授業評価調査を実施した。以下、その量的分析結果と自由記述の内容とを報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その意味では、まさに字義通りの授業評価といってよい。その主な目的は、次の通りである。

- (1) **個別授業科目の改善支援**……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) **カリキュラム全体の改善支援**……専攻または領域、プログラム（群）におけるより効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) **認証評価に関わる資料提供**……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては学生評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易でない。そこには、次のようないくつかの放送大学に固有の条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるのである。まず第一に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり改訂版を収録する）ということが非常に難しいのである。第二に、放送大学の科目担当者は客員であることが多く、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。担当者が交代すると、科目自体の内容や構成が全く変わってしまうため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。第三に、放送大学は公開大学であり入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をし

ていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる学生調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送教材と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送教材と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことはいうまでもない。そして、第四に、放送大学は開学以来、教員の5年任期制を採ってきており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2 構成と内容

今回の学生による授業評価調査は、大きく分けて3つの部分からなっている。第1は、当該科目の放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する26項目の評定尺度質問である。その内容は、まず放送授業に関する評価、ついで印刷教材に関する評価、通信指導・単位認定試験に関する評価、そして全体的評価と満足感である。その細目は「学習への取り組み状況」「放送授業の視聴状況」「授業の難しさ」「分量の多さ」「講師の説明の分かりやすさ、熱意」「テレビまたはラジオに適した内容」「印刷教材の難しさ」「印刷教材の分量の多さ」「印刷教材の内容の適切さ」「通信指導のコメントの適切さ」「単位認定試験の適切さ」「興味・関心・知識・能力の向上」「全体的理解しやすさ」そして「全体的満足感」といったものである。第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらった形態を採った。そして、第3は属性に関するフェースシートである。実際に使用した調査票については84、85頁を参照されたい。

I-3 方法と期間

評価の対象としたのは、平成18年度第1学期に本学で開講していた学部286科目、大学院67科目、計353科目の放送授業のうち、原則として開講2年目でかつ昨年度（平成17年度）に対象とならなかった学部34科目、大学院21科目、計55科目である（次頁表1参照）。開講2年目の科目を原則としたのは、3年目以降の科目ではすでに次期に向けての改訂作業が進められていて授業改善という目的に十分役立てることができず、また開講したばかりの1年目の科目では結果が出ても改訂までに間が空きすぎるなど、本学の科目作成の特殊事情を勘案してのことであるが、このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が開講期間中に必ず1回、評価調査の対象とされることになる。

調査票の配票は、それら 55 科目の受講登録者を母集団とし、学部科目では各 250 名ずつ（登録者がそれ未満の科目は全数）、大学院科目では各 200 名ずつ（同）をそれぞれ無作為抽出して得られた学部 8,008 名、大学院 3,421 名、計 11,429 名に、回答すべき科目を予め指定した上で、郵送により行った。回収も郵送によった。調査期間は単位認定試験終了直後から 8 月下旬までの約 1 ヶ月間であった。有効回答数は学部 3,078 票、大学院 1,589 票、計 4,667 票であった。無記名調査ながら有効回答率は学部 38.4 %、大学院 46.4 %、全体で 40.8 %と低めであった。学部科目のみを対象とした昨年度の評価調査の 41.5 %と比較すると、わずかながら低下していることがわかる。属性別に見ると、特に男性の回答率の低下が目立った（後出表 2 参照）。回収率の低下の要因はさまざまに考えられるが、昨年と同様に科目登録者の数や調査日程の関係から単位認定試験未受験者に対しても調査票を配付していることが回収率の低さの大きな要因の一つと思われる。

表 1 評価対象科目数

学部【専攻】

生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	計
4(39)	5(39)	10(42)	—(36)	11(81)	4(49)	34(286)

※（ ）内の数値は各専攻毎の全開設科目数。

※「産業と技術」に属する科目については平成 18 年度の調査対象の科目はなし。

大学院【プログラム（群）】

文化情報科学	環境システム科学	政策経営	教育開発	臨床心理	計
7(16)	6(13)	4(17)	2(15)	2(6)	21(67)

※（ ）内の数値は各プログラム（群）毎の全開設科目数。

I - 4 回答者の特性

回答者の属性別分布は、次頁の表 2 および表 3 に示したとおりである。母集団の分布と比較すると、学部では、年齢階層別で高齢層に、学生種別で全科履修生に、それぞれ若干偏っていることがわかる。また、大学院では、性別で男性に、年齢階層別で中高年層に、学生種別では修士全科生に、それぞれ母集団よりもウェイトが置かれていることが見て取れる。結果を見る際には、そうした点に関しても注意が必要となろう。

表2 学部回答者の属性分布（（ ）内は母集団の分布）（%）

	性別		年齢階層別							学生種別		
	男性	女性	-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	全科生	選科生	科目生
18年度回答者 (母集団)	42.9 (42.3)	51.5 (57.7)	0.6 (1.2)	11.2 (15.8)	19.5 (27.9)	20.0 (23.4)	20.0 (18.0)	18.6 (13.7)	8.2	71.4 (69.1)	18.9 (21.5)	6.7 (9.4)
17年度回答者 (母集団)	51.9 (42.0)	44.4 (58.0)	0.7 (1.2)	14.1 (17.2)	19.4 (28.2)	17.0 (22.6)	20.2 (17.4)	19.3 (13.4)	7.7	75.2 (68.4)	16.2 (21.9)	6.9 (9.7)

※回答者については、無記入があるため合計は100%にはならない。

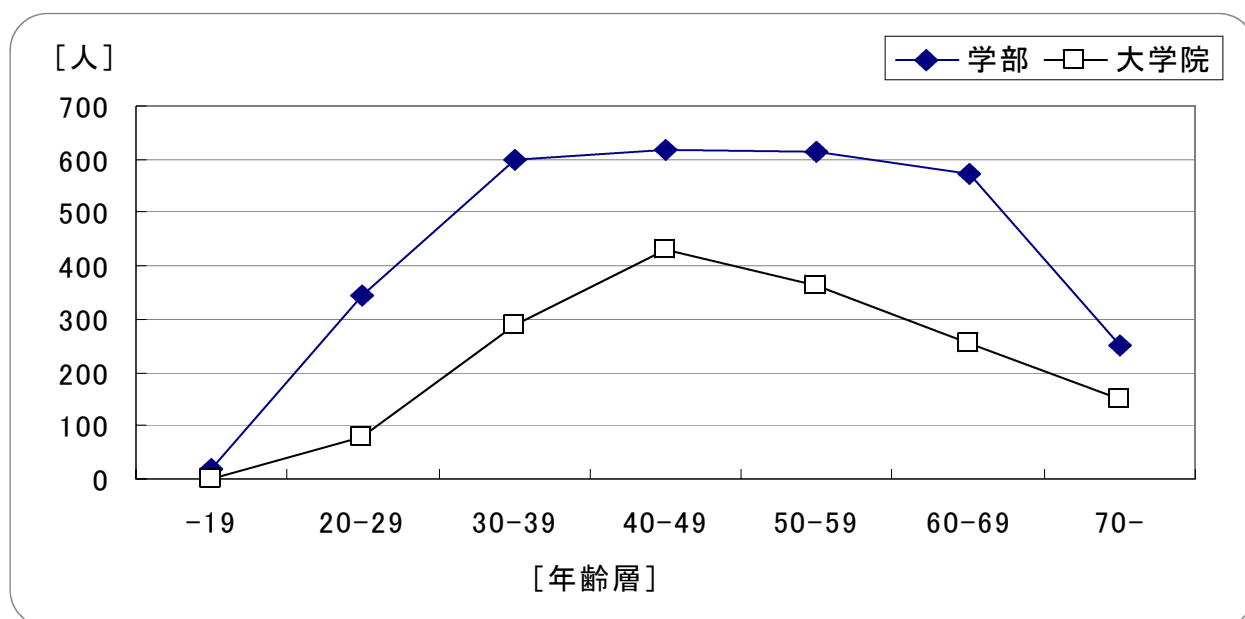
表3 大学院回答者の属性分布（（ ）内は母集団の分布）（%）

	性別		年齢階層別							学生種別		
	男性	女性	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	全科生	選科生	科目生	
18年度回答者 (母集団)	56.7 (54.3)	36.1 (45.7)	4.8 (7.0)	18.1 (22.0)	27.1 (32.4)	22.8 (24.6)	15.9 (14.0)	9.4	31.0 (19.7)	52.4 (63.4)	13.1 (16.9)	

※回答者については、無記入があるため合計は100%にはならない。

回答者の特性を把握するため、以下、回答者全体をいくつかの属性で分類し、その結果を図示しておくことにしよう。そうすることで、回答者の全体像がいつそうはつきりとしたものとなると思われるからである。

図1 年齢層別回答者数（学部・大学院）

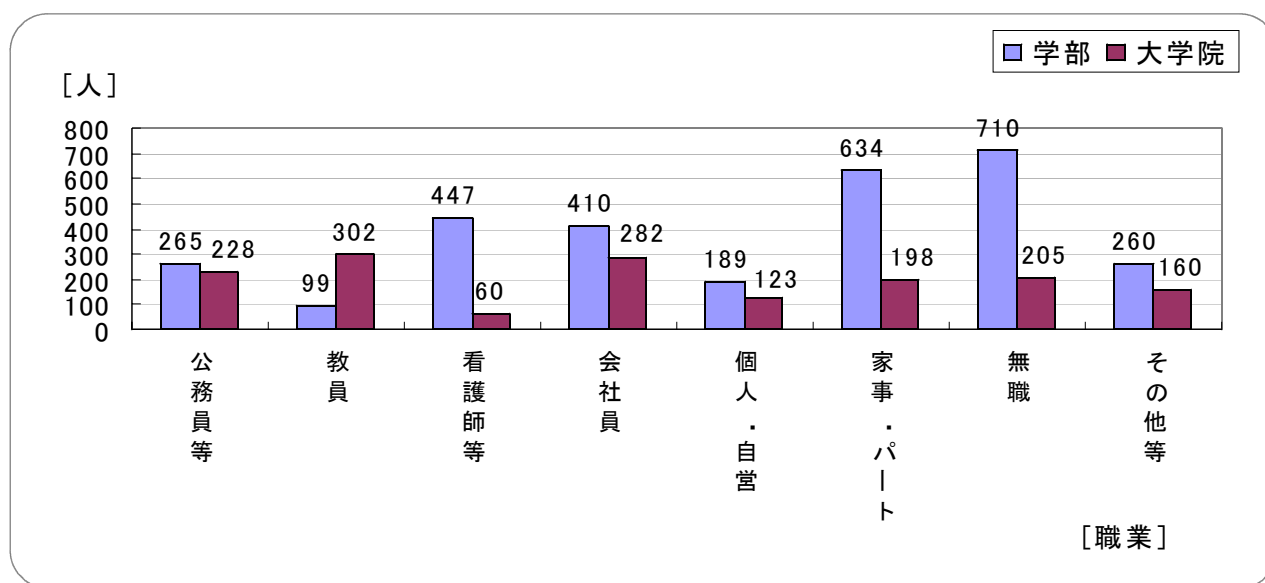


まず、年齢階層別に回答者数を見ると、学部では40代（617名）が多く、次に50代（615名）、30代（600名）が続いている。折れ線を見る限り、30代から60代はほぼ一定の回答者数を得られているといえるだろう。表2の各年齢階層の比率と併せて見ると、母集団に比べ高齢者層ほど構成比が高くなっていることも見て取れる。図には示せなかったが、男女別で見ると、30代から50代では女性の回答者数が男性を上回っているのに対し、60代ではその関係が逆転し、男性の回答者数が女性の倍以上の数を示していることから、こうした年代の回答を見る場合、年齢階層によっては女性または男性に偏った傾向が生じていることを念頭に置く必要があるといえよう。

一方、大学院では、40代（431名）が群を抜いて多く、50代（362名）と30代（287名）がそれに続いている。やはり、高度専門職業人の要請という、本学大学院のカリキュラム特性を反映したものと見ることができよう。

ついで、職業別に回答者数の傾向を見てみよう。図2のように回答者数を、フェースシートの分類に若干修正を加えた8つの職業グループ別で見ると、学部では無職（710名）が最も多いことがわかる。

図2 職業別回答者数（学部・大学院）

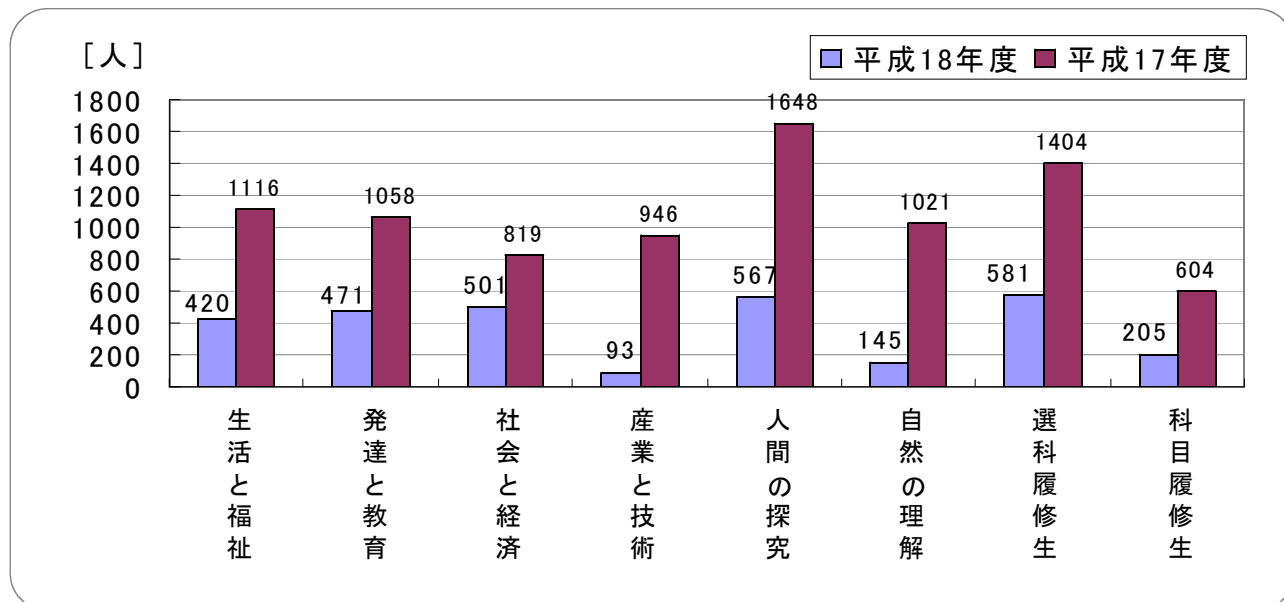


これには定年および退職後の男性の数が影響していると考えられる。結果の全体的な解釈にあたっては、この無職層、特に男性無職層の回答傾向に十分注意する必要があるだろう。それに続いて回答者数が多いのは、家事・パート（634名）、看護師等（447名）である。先に触れたように、30代から50代で男性より女性の回答者数が多かったことを考え併せると、今回の評価結果の分析にあたっては、とりわけ年齢階層別の解釈において、これらの職種の影響を無視することはできないものと考えられる。

一方、大学院では、全く様相が異なり、教員（302名）、会社員（282名）、公務員等（228名）が上位にくる。学部で最も多かった「無職」「家事・パート」の数は逆

に少なくなっている。高度専門職業人の育成を標榜した本学のカリキュラム内容が反映しているものと見ることができよう。なお、「看護師等」も少数であるが、これには資格取得に関わる特殊な事情があるものと考えられる。

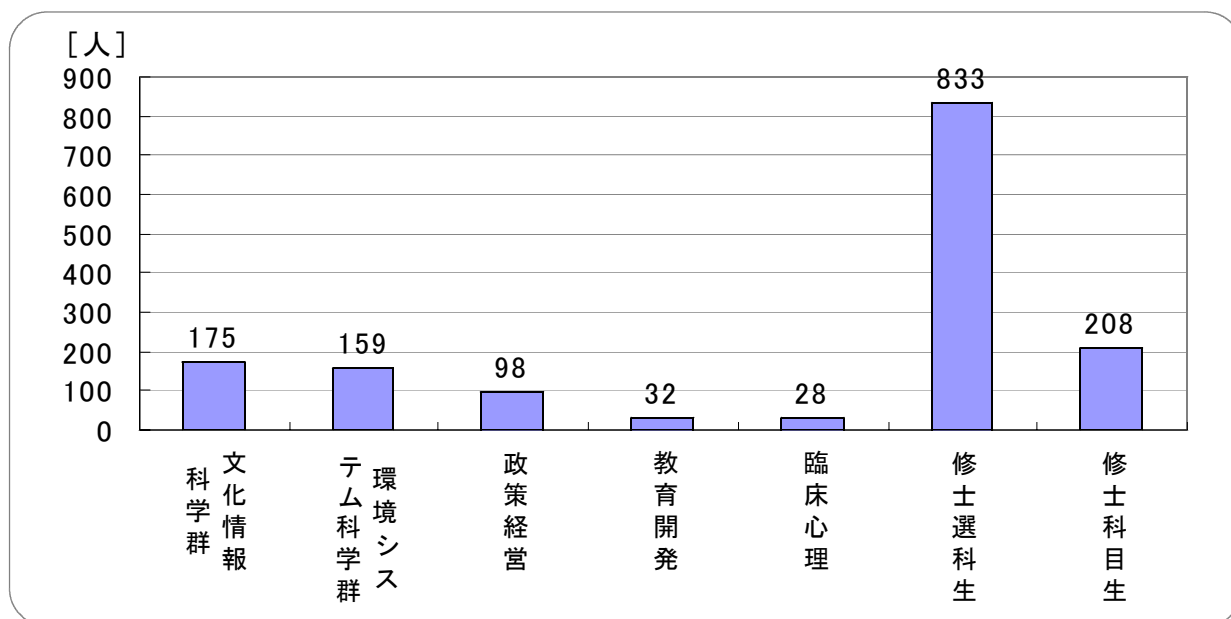
図3 学部学生の所属専攻別回答者数（平成17年度との比較）



次に、回答者の所属専攻等（全科履修生、修士全科生）および学生種ごとに回答者数を見よう（図3、図4）。まず学部では、選科履修生、科目履修生は別として全科履修生に注目する。「人間の探究」に所属する学生は、対象となる科目が昨年の試行段階より大幅に減少したため、回答者数としては大きくウェイトを減じている。また、産業と技術専攻の学生数がきわめて少ないことには、たまたま対象科目に産業と技術専攻所属の科目がなかったことが大きく影響している。

一方、図4において、大学院では母集団全体が非常に大きい修士選科生の比率が際立って高くなっている（全体の52.4%）。分析にあたっては、こうした学生種ごとの性別構成の差異にも注意する必要があるだろう。

図4 大学院学生の所属専攻別回答者数



I-5 評価結果の提供と公表

I-5-1 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という三つの大きな目的のもとに企画され、実施された。そのことを勘案した授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) **当該科目を担当した主任講師への提供**……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、全体平均と比較した選択項目の平均値および自由記述部分が含まれる。
- (2) **専攻主任・プログラムコーディネータへの提供**……対象となった科目の所属する全ての専攻・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) **教授会および教育課程編成委員会等関連委員会への提供**……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意志決定に際しての資料とするため、教授会、各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、9頁～14頁にサンプルを示した通りである。

I-5-2 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果を授業改善の目的で用いるのはもちろんであるが、それに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表が強く求められているところである。小委員会では、その問題に関しても詳細に検討した。その結果、以下のような合意に達し、それを基本的な方針とすることが決められた。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民へのアカウンタビリティ等を勘案するならば、いうまでもなくそれが理の当然であるといえる。そこで、当面は以下に示すような形態の公表を行っていくものとする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表するものとする。

- ①調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施期間、調査票、サンプリングされた学生数等
- ②回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者
- ③評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問ごとの評点平均値
- ④自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述（ネガティブな評価の場合はできるだけ科目名が特定されないように処置）

(3) 公表の方法

(2)の内容について、電子化したうえでウェブ上にアップロードし、「On Air」紙上等でも適宜公表することを基本とする。

学部

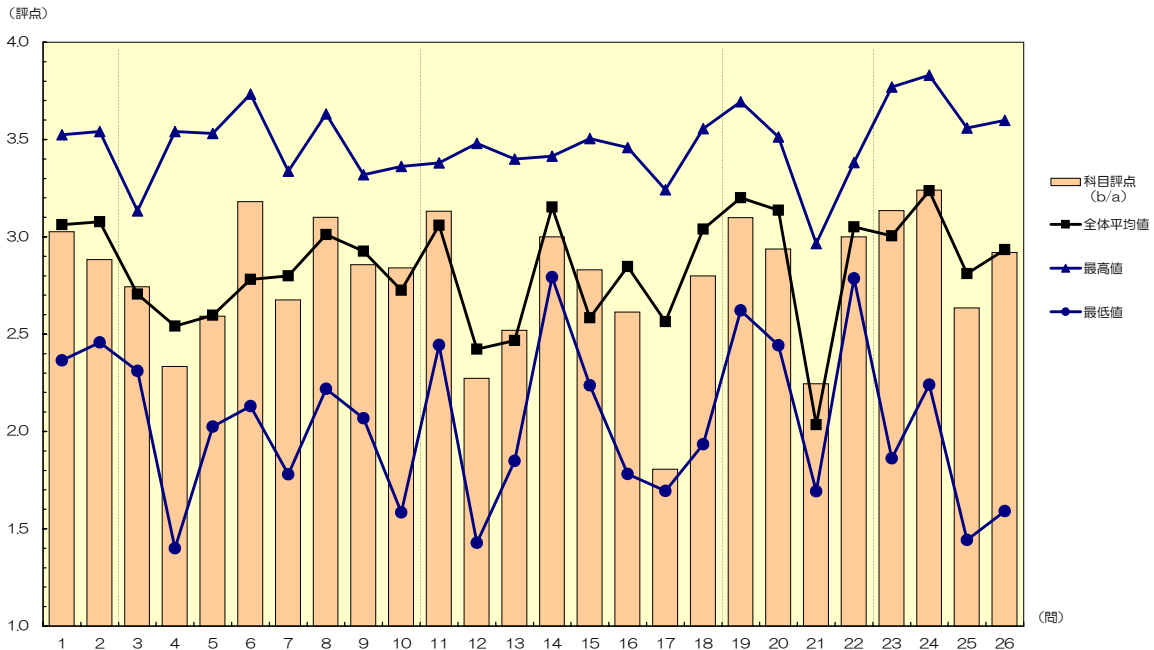
科目名（メディア）： ○○○○（R）

教員氏名：○○ ○○

1. 各設問における評点

	設問内容	有効回答 (a)	評点合計 (b)	科目評点 (b/a)	各種平均評点			レンジ	
					全体平均値	TV又はRのみ	同一専攻のみ	最高値	最低値
問1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	76	230	3.03	3.06	3.01	3.01	3.53	2.37
問2	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	77	222	2.88	3.08	3.03	3.03	3.54	2.46
問3	放送授業を十分に視聴した。	74	203	2.74	2.71	2.64	2.69	3.13	2.31
問4	自分にとって放送授業の内容は難しすぎると感じた。	72	168	2.33	2.54	2.45	2.40	3.54	1.40
問5	放送授業の内容は分量が多すぎると感じた。	71	184	2.59	2.60	2.51	2.58	3.53	2.03
問6	放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	72	229	3.18	2.78	2.71	2.81	3.73	2.13
問7	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	68	182	2.68	2.80	2.73	2.70	3.34	1.78
問8	講師の熱意が十分に伝わった。	70	217	3.10	3.01	2.98	2.93	3.63	2.22
問9	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	70	200	2.86	2.93	2.86	2.85	3.32	2.07
問10	(この科目がテレビ科目の場合) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (この科目がラジオ科目の場合) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	69	196	2.84	2.72	2.63	2.65	3.36	1.58
問11	印刷教材を熱心に学習した。	76	238	3.13	3.06	3.01	3.03	3.38	2.44
問12	自分にとって印刷教材の内容は難しすぎると感じた。	77	175	2.27	2.42	2.34	2.28	3.48	1.43
問13	印刷教材の内容は分量が多すぎると感じた。	75	189	2.52	2.47	2.39	2.46	3.40	1.85
問14	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	71	213	3.00	3.15	3.14	3.07	3.42	2.79
問15	印刷教材と放送教材には重複が多いと感じた。	71	201	2.83	2.58	2.57	2.63	3.51	2.24
問16	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	75	196	2.61	2.85	2.77	2.71	3.46	1.78
問17	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	72	130	1.81	2.56	2.41	2.43	3.24	1.69
問18	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	75	210	2.80	3.04	2.99	2.95	3.56	1.93
問19	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	61	189	3.10	3.20	3.19	3.19	3.69	2.62
問20	通信指導は学習内容の理解に役立った。	64	188	2.94	3.14	3.09	3.11	3.51	2.44
問21	単位認定試験には、ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	53	119	2.25	2.04	1.98	2.06	2.97	1.69
問22	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	52	156	3.00	3.05	3.00	2.98	3.38	2.79
問23	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	74	232	3.14	3.01	2.94	2.94	3.77	1.86
問24	新しい知識が身につく視野が広がった。	75	243	3.24	3.24	3.18	3.20	3.83	2.24
問25	この科目の内容は全体としてよく理解できた。	74	195	2.64	2.81	2.71	2.67	3.56	1.44
問26	この科目の内容には全体として満足している。	74	216	2.92	2.93	2.85	2.83	3.60	1.59

(注) 評点については、調査票の選択肢「あてはまる・4点」「ややあてはまる・3点」「あまりあてはまらない・2点」「あてはまらない・1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。



2. 回答者の属性

(単位：人)

学生種別	全科履修生							小計	選科履修生	科目履修生	無記入	計	
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と経済	人間の探究	自然の理解	無記入						
	—	2	42	1	19	0	64	6	5	4	79		
性別	男	女	無記入	計									
	46	28	5	79									
年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無記入	計				
	0	15	12	10	10	17	10	5	79				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無記入	計
	7	3	9	4	0	0	6	12	3	25	7	3	79
通信指導の提出及び単位認定試験受検の有無	単位認定試験		通信指導未提出		無記入		計						
	受験	未受験											79
	49	8	14	8									

		問1						問2						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	生活と福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達と教育	2.50	0%	50%	50%	0%	0%	1.50	0%	0%	50%	50%	0%	0%
	社会と経済	2.78	26%	36%	19%	14%	5%	2.80	21%	38%	36%	2%	2%	2%
	産業と技術	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	0%
	人間の探究	3.16	37%	47%	11%	5%	0%	2.79	26%	42%	16%	16%	0%	0%
	小計	2.90	30%	39%	17%	11%	3%	2.78	23%	38%	30%	8%	2%	2%
	選科履修生	3.17	33%	50%	17%	0%	0%	3.17	50%	33%	0%	17%	0%	0%
	科目履修生	3.80	80%	20%	0%	0%	0%	3.80	80%	20%	0%	0%	0%	0%
	無記入	4.00	75%	0%	0%	0%	25%	3.00	0%	75%	0%	0%	25%	25%
	計	3.03	35%	37%	15%	9%	4%	2.88	28%	38%	24%	8%	3%	3%
性別	男性	3.02	28%	52%	9%	9%	2%	2.91	33%	33%	24%	9%	2%	2%
	女性	2.93	43%	14%	29%	11%	4%	2.86	25%	43%	25%	7%	0%	0%
	無記入	3.75	60%	20%	0%	0%	20%	2.75	0%	60%	20%	0%	20%	20%
	計	3.03	35%	37%	15%	9%	4%	2.88	28%	38%	24%	8%	3%	3%
年齢	19歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20~29歳	2.87	33%	33%	20%	13%	0%	2.87	27%	40%	27%	7%	0%	0%
	30~39歳	2.58	17%	42%	25%	17%	0%	2.58	17%	50%	8%	25%	0%	0%
	40~49歳	3.30	40%	50%	10%	0%	0%	2.80	30%	30%	30%	10%	0%	0%
	50~59歳	3.10	50%	10%	40%	0%	0%	3.00	40%	20%	40%	0%	0%	0%
	60~69歳	3.25	29%	59%	6%	0%	6%	3.18	35%	47%	18%	0%	0%	0%
	70歳以上	2.88	30%	30%	0%	20%	20%	2.63	20%	20%	30%	10%	20%	20%
	無記入	3.40	80%	0%	0%	20%	0%	3.00	20%	60%	20%	0%	0%	0%
計	3.03	35%	37%	15%	9%	4%	2.88	28%	38%	24%	8%	3%	3%	
職業	公務員等	2.86	43%	14%	29%	14%	0%	2.86	29%	29%	43%	0%	0%	0%
	教員	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	0%
	会社員	3.38	44%	33%	11%	0%	11%	2.78	33%	33%	11%	22%	0%	0%
	個人営業・自営業	3.00	25%	50%	25%	0%	0%	3.25	50%	25%	25%	0%	0%	0%
	農業等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	看護師等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家事専業	3.67	83%	0%	17%	0%	0%	3.33	67%	0%	33%	0%	0%	0%
	パート・アルバイト	2.58	33%	17%	25%	25%	0%	2.83	25%	42%	25%	8%	0%	0%
	他大学等の学生	3.67	67%	33%	0%	0%	0%	3.33	33%	67%	0%	0%	0%	0%
	無職	2.96	20%	60%	8%	8%	4%	2.79	24%	36%	28%	8%	4%	4%
	その他	2.33	0%	43%	29%	14%	14%	2.33	0%	43%	29%	14%	14%	14%
	無記入	4.00	100%	0%	0%	0%	0%	3.00	0%	100%	0%	0%	0%	0%
	計	3.03	35%	37%	15%	9%	4%	2.88	28%	38%	24%	8%	3%	3%
通信指導・単位認定試験の	受験	3.24	43%	41%	14%	2%	0%	2.96	33%	37%	24%	6%	0%	0%
	未受験	3.00	25%	38%	25%	0%	13%	3.00	38%	13%	38%	0%	13%	13%
	通信指導未提出	1.92	7%	21%	21%	43%	7%	2.43	7%	50%	21%	21%	0%	0%
	無記入	3.57	50%	38%	0%	0%	13%	3.14	25%	50%	13%	0%	13%	13%
	計	3.03	35%	37%	15%	9%	4%	2.88	28%	38%	24%	8%	3%	3%

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

- ・この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

大変興味深い授業だった。また、前回聞き逃してもテーマが分かれているので受講しやすかった。

- ・この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

受講してみてもっと学習段階が進んでから受講すればよかったと後悔した。授業科目案内、その他で望ましい前知識・学習レベルを知りたかった。

- ・この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見・ご感想があれば、どんなことでも結構ですので自由にお書きください。

講師の先生と対面しないかわりに、何度でも視聴できる利点があるので、刺激をえる意味でもできるだけ多く学習センターを活用している。学習の場所があるだけでも助かっている。

III この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(右側の欄の数字にマークしてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。				
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。	①	②	③	
3. 通信指導を提出しなかった。				

IV あなたご自身についてお答えください。(右側の欄の数字にマークしてください。)

・学生種別	全科履修生 (1. 生活と福祉 2. 発達と教育 3. 社会と経済 4. 産業と技術	①	②	③	④
	5. 人間の探究 6. 自然の理解) 7. 選科履修生 8. 科目履修生	⑤	⑥	⑦	⑧
・性別	1. 男性 2. 女性	①	②		
・年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳	①	②	③	④
	5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上	⑤	⑥	⑦	
・職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業	①	②	③	④
	5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト	⑤	⑥	⑦	⑧
	9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()	⑨	⑩	⑪	

どうもありがとうございました。

大学院

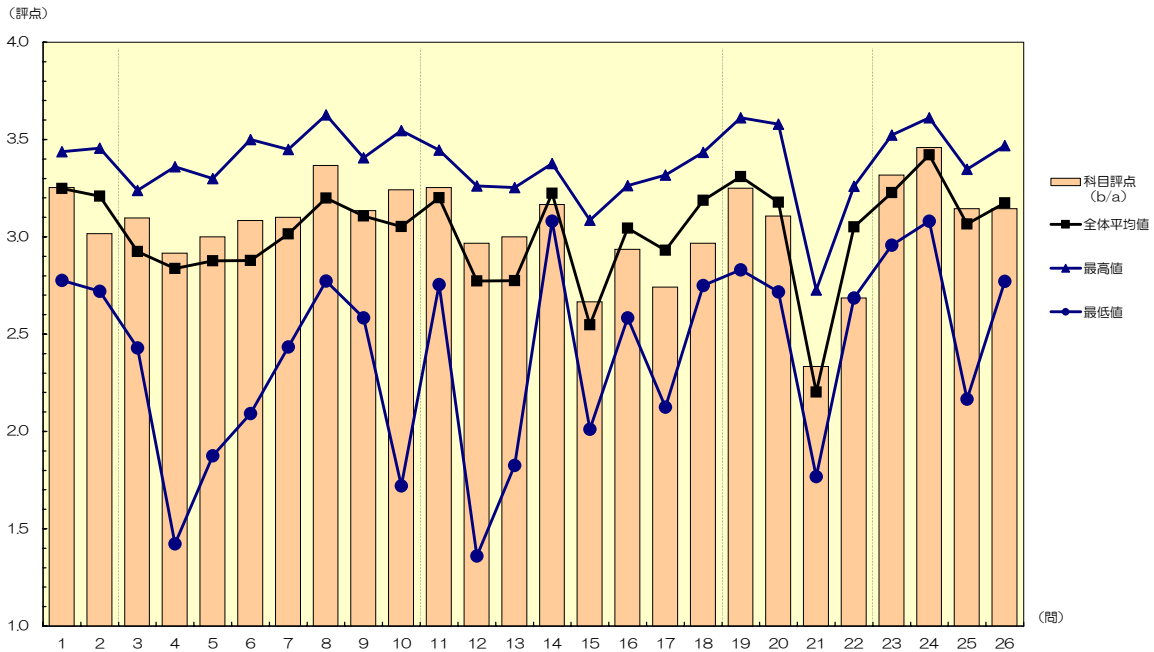
科目名（メディア）： ○○○○（TV）

教員氏名：○○ ○○

1. 各設問における評点

設問内容	有効回答 (a)	評点合計 (b)	科目評点 (b/a)	各種平均評点			レンジ	
				全体平均値	TV又はRのみ	同-プログラム又はRのみ	最高値	最低値
問1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	63	205	3.25	3.25	3.27	3.23	3.44	2.78
問2 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	61	184	3.02	3.21	3.20	3.20	3.46	2.72
問3 放送授業を十分に視聴した。	62	192	3.10	2.92	3.03	2.93	3.24	2.43
問4 自分にとって放送授業の内容は難しすぎると感じた。	60	175	2.92	2.84	2.81	2.92	3.36	1.42
問5 放送授業の内容は分量が多すぎると感じた。	60	180	3.00	2.88	2.86	2.95	3.30	1.88
問6 放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	60	185	3.08	2.88	3.14	2.93	3.50	2.09
問7 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	60	186	3.10	3.01	3.11	3.08	3.45	2.43
問8 講師の熱意が十分に伝わった。	60	202	3.37	3.20	3.32	3.31	3.63	2.77
問9 放送授業は教材としてよくできていると感じた。	59	185	3.14	3.11	3.21	3.16	3.41	2.58
問10 (この科目がテレビ科目の場合) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。 (この科目がラジオ科目の場合) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。	58	188	3.24	3.05	3.25	3.10	3.55	1.72
問11 印刷教材を熱心に学習した。	63	205	3.25	3.20	3.19	3.21	3.45	2.76
問12 自分にとって印刷教材の内容は難しすぎると感じた。	62	184	2.97	2.77	2.74	2.86	3.26	1.36
問13 印刷教材の内容は分量が多すぎると感じた。	61	183	3.00	2.77	2.77	2.88	3.25	1.83
問14 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	60	190	3.17	3.22	3.23	3.26	3.38	3.08
問15 印刷教材と放送教材には重複が多いと感じた。	60	160	2.67	2.55	2.72	2.64	3.09	2.01
問16 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	62	182	2.94	3.04	3.05	3.10	3.26	2.58
問17 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	62	170	2.74	2.93	3.06	2.84	3.32	2.13
問18 印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	61	181	2.97	3.19	3.19	3.21	3.43	2.75
問19 通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	56	182	3.25	3.31	3.38	3.40	3.61	2.83
問20 通信指導は学習内容の理解に役立った。	56	174	3.11	3.18	3.23	3.13	3.58	2.72
問21 単位認定試験には、ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	54	126	2.33	2.20	2.33	2.32	2.73	1.77
問22 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	54	145	2.69	3.05	3.01	3.11	3.26	2.69
問23 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	60	199	3.32	3.23	3.28	3.24	3.52	2.96
問24 新しい知識が身につく視野が広がった。	61	211	3.46	3.42	3.46	3.48	3.61	3.08
問25 この科目の内容は全体としてよく理解できた。	62	195	3.15	3.07	3.08	3.15	3.35	2.17
問26 この科目の内容には全体として満足している。	62	195	3.15	3.17	3.20	3.22	3.47	2.77

(注) 評点については、調査票の選択肢「あてはまる・4点」/「ややあてはまる・3点」/「あまりあてはまらない・2点」/「あてはまらない・1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。



2. 回答者の属性

(単位：人)

学生種別	修士全 科 生						修士選科生	修士科目生	無記入	計			
	文化情報科学群	健康システム科学群	政策経営	教育開発	臨床心理	小計							
	14	7	3	0	0	24	31	7	1	63			
性別	男	女	無記入	計									
	36	21	6	63									
年齢	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無記入	計				
	0	4	16	14	12	4	11	2	63				
職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無記入	計
	8	8	18	6	0	2	5	5	1	8	1	1	63
通信指導の提出及び単位認定試験受験の有無	単位認定試験		通信指導未提出		無記入		計						
	受験	未受験	未提出	未提出									
	54	2	7	0	63								

		問1						問2					
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合				
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答
学生種別	文化情報科学群	3.46 26	62% 16	27% 7	8% 2	4% 1	0% 0	3.12 26	38% 10	38% 10	19% 5	4% 1	0% 0
	環境システム科学群	3.00 4	25% 1	50% 2	25% 1	0% 0	0% 0	3.25 4	25% 1	75% 3	0% 0	0% 0	0% 0
	政策経営	2.00 1	0% 0	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
	教育開発	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
	臨床心理	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	小計	3.38 32	56% 18	28% 9	13% 4	3% 1	0% 0	3.19 32	41% 13	41% 13	16% 5	3% 1	0% 0
	修士選科生	3.30 44	55% 24	25% 11	16% 7	5% 2	0% 0	3.09 44	32% 14	48% 21	18% 8	2% 1	0% 0
	修士科目生	2.87 16	38% 6	25% 4	13% 2	19% 3	6% 1	3.40 16	44% 7	44% 7	6% 1	0% 0	6% 1
	無記入	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	計	3.25 92	52% 48	26% 24	14% 13	7% 6	1% 1	3.18 92	37% 34	45% 41	15% 14	2% 2	1% 1
性別	男性	3.36 57	58% 33	23% 13	12% 7	5% 3	2% 1	3.23 57	40% 23	42% 24	14% 8	2% 1	2% 1
	女性	3.12 26	46% 12	31% 8	12% 3	12% 3	0% 0	3.00 26	31% 8	42% 11	23% 6	4% 1	0% 0
	無記入	3.00 9	33% 3	33% 3	33% 3	0% 0	0% 0	3.33 9	33% 3	67% 6	0% 0	0% 0	0% 0
	計	3.25 92	52% 48	26% 24	14% 13	7% 6	1% 1	3.18 92	37% 34	45% 41	15% 14	2% 2	1% 1
年齢	19歳以下	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
	20~29歳	3.67 6	67% 4	33% 2	0% 0	0% 0	0% 0	3.17 6	50% 3	17% 1	33% 2	0% 0	0% 0
	30~39歳	3.25 8	50% 4	25% 2	25% 2	0% 0	0% 0	2.88 8	13% 1	63% 5	25% 2	0% 0	0% 0
	40~49歳	3.00 14	43% 6	21% 3	29% 4	7% 1	0% 0	3.00 14	29% 4	50% 7	14% 2	7% 1	0% 0
	50~59歳	2.84 19	42% 8	21% 4	16% 3	21% 4	0% 0	3.26 19	42% 8	42% 8	16% 3	0% 0	0% 0
	60~69歳	3.61 23	70% 16	22% 5	9% 2	0% 0	0% 0	3.17 23	35% 8	48% 11	17% 4	0% 0	0% 0
	70歳以上	3.29 22	45% 10	36% 8	9% 2	5% 1	5% 1	3.33 22	45% 10	41% 9	5% 1	5% 1	5% 1
	無記入	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0	- 0
計	3.25 92	52% 48	26% 24	14% 13	7% 6	1% 1	3.18 92	37% 34	45% 41	15% 14	2% 2	1% 1	
職業	公務員等	4.00 3	100% 3	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	3.33 3	33% 1	67% 2	0% 0	0% 0	0% 0
	教員	3.22 18	50% 9	28% 5	17% 3	6% 1	0% 0	3.17 18	39% 7	39% 7	22% 4	0% 0	0% 0
	会社員	3.00 8	50% 4	13% 1	25% 2	13% 1	0% 0	3.25 8	50% 4	25% 2	25% 2	0% 0	0% 0
	個人営業・自営業	3.40 10	60% 6	30% 3	0% 0	10% 1	0% 0	3.00 10	10% 1	80% 8	10% 1	0% 0	0% 0
	農業等	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
	看護師等	2.50 2	50% 1	0% 0	0% 0	50% 1	0% 0	2.50 2	0% 0	50% 1	50% 1	0% 0	0% 0
	家事専業	3.50 6	50% 3	50% 3	0% 0	0% 0	0% 0	3.50 6	67% 4	17% 1	17% 1	0% 0	0% 0
	パート・アルバイト	2.50 8	25% 2	13% 1	50% 4	13% 1	0% 0	2.75 8	25% 2	38% 3	25% 2	13% 1	0% 0
	他大学等の学生	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
	無職	3.43 22	50% 11	36% 8	9% 2	0% 0	5% 1	3.24 22	36% 8	50% 11	5% 1	5% 1	5% 1
	その他	3.33 12	58% 7	25% 3	8% 1	8% 1	0% 0	3.17 12	33% 4	50% 6	17% 2	0% 0	0% 0
	無記入	2.00 1	0% 0	0% 0	100% 1	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
	計	3.25 92	52% 48	26% 24	14% 13	7% 6	1% 1	3.18 92	37% 34	45% 41	15% 14	2% 2	1% 1
通信指導・単位認定試験の	受験	3.43 75	56% 42	31% 23	13% 10	0% 0	0% 0	3.16 75	37% 28	44% 33	16% 12	3% 2	0% 0
	未受験	2.44 9	33% 3	11% 1	22% 2	33% 3	0% 0	3.11 9	33% 3	44% 4	22% 2	0% 0	0% 0
	通信指導未提出	2.17 7	29% 2	0% 0	14% 1	43% 3	14% 1	3.33 7	29% 2	57% 4	0% 0	0% 0	14% 1
	無記入	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0	4.00 1	100% 1	0% 0	0% 0	0% 0	0% 0
	計	3.25 92	52% 48	26% 24	14% 13	7% 6	1% 1	3.18 92	37% 34	45% 41	15% 14	2% 2	1% 1

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

- ・この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

とても興味がある分野だったので、いろいろな知識を得ることができて良かったと思う。

- ・この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

図表や映像などを多用すればもっとわかりやすいと思った。

- ・この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見・ご感想があれば、どんなことでも結構ですので自由にお書きください。

他大学院と比べて安価で学習でき、教授陣も充実しているのでよい大学院と思われる。カルチャーセンターと違い、内容も体系的に整理されている。

III この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(右側の欄の数字にマークしてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。				
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。	①	②	③	
3. 通信指導を提出しなかった。				

IV あなたご自身についてお答えください。(右側の欄の数字にマークしてください。)

・学生種別	修士全科生 (1. 文化情報科学群 2. 環境システム科学群 3. 政策経営 4. 教育開発	①	②	③	④
	5. 臨床心理) 7. 修士選科生 8. 修士科目生	⑤		⑦	⑧
・性別	1. 男性 2. 女性	①	②		
・年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳	①	②	③	④
	5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上	⑤	⑥	⑦	
・職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業	①	②	③	④
	5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト	⑤	⑥	⑦	⑧
	9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()	⑨	⑩	⑪	

どうもありがとうございました。

Ⅱ 評定尺度調査の分析結果

Ⅱ－１ 学部票結果の分析

Ⅱ－１－１ 全体的傾向

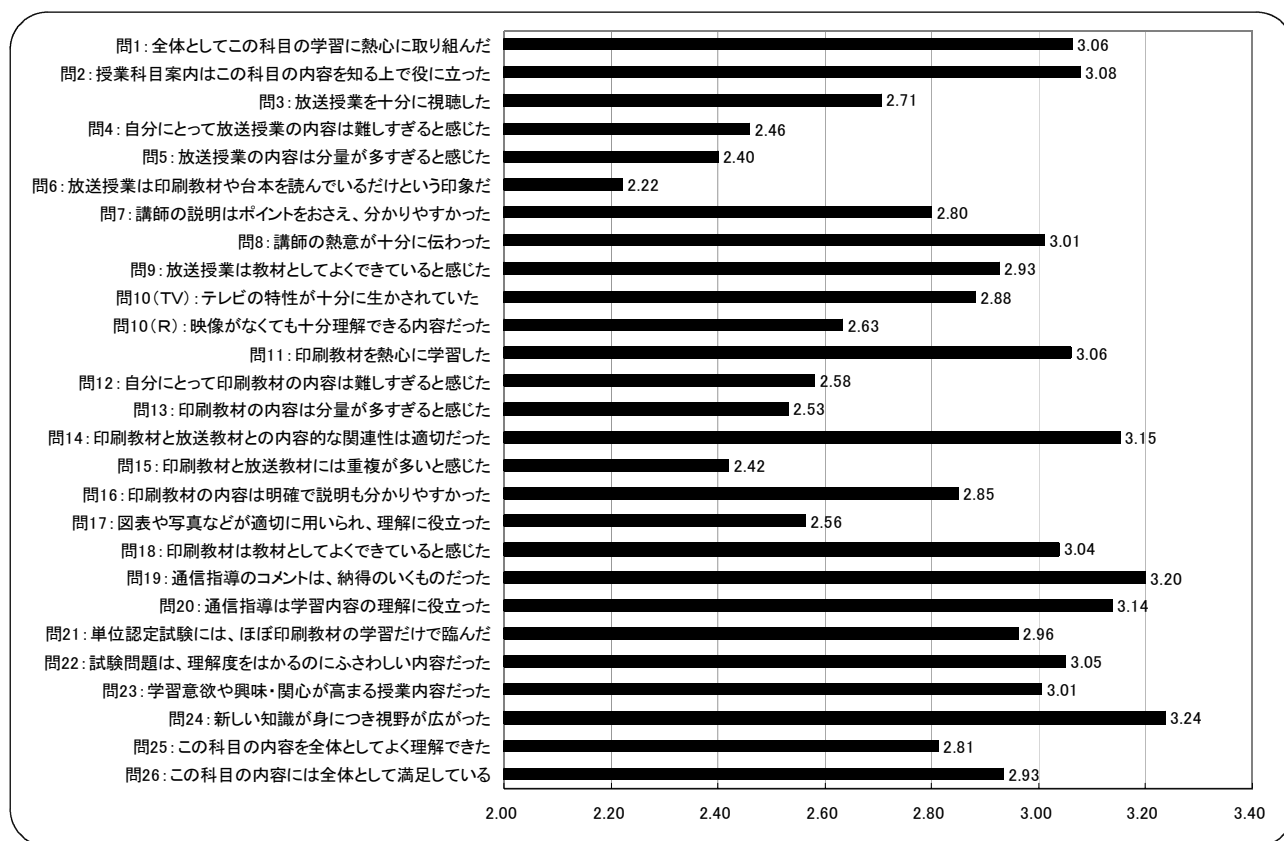
前年度の試行と異なり、今回の授業評価調査では、学部科目だけでなく大学院科目についても開設２年目の科目の学生による評価を行った。用いた調査票は、フェースシートの一部を除き概ね同一であるが、結果については一緒にして論ずることができないため、区別して見ていくことにしたい。まず初めに学部科目に関して見よう。

ここでは、はじめに全体的な傾向を知るため、評定尺度質問への回答状況を全回答者に関して見てみることにしたい。今回用いた評定尺度質問は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の４段階のいずれかで答えるようになっているが、今回はそのそれぞれに４～１の点数を便宜的に振り、あくまで目安として平均点を算出してみた。もちろん、評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除等の演算を行うことは、厳密に見るならば統計処理として適切でないことはいうまでもない。３が２よりもあてはまる程度が大きいことはいえても、４と３の間と３と２の間が等距離（つまり１の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし、巻末の付録（２）「平成１８年度学生による授業評価の調査結果（属性別クロス集計：全体）」を見ればわかるように、相対度数（パーセント）を選択肢ごとに示したものだけを見てそこから何らかの傾向を把握することは必ずしも容易ではない。したがって、ここでは、１～４の尺度を点数とみなし、その平均値を回答の傾向を推察するための目安として用いていくことにしたい。

各項目の評価の平均点の有効回答者全体の傾向を示したものが次頁の図１である。評価の平均値を見ると、問６、問５、問１５、問４の値が低く、内容の難しさや分量の多さに対する指摘がそれほど多くはないことがわかる。つまり、全体として見る限り、学部学生は内容の難易度と量をそれほど負担に感じていないということが窺えるのである。

一方で、平均値が高かったのが、問２４の「視野が広がった」等の全体的評価と問１９の「通信指導のコメント適切」感、そして問１４の「放送と印刷の関連適切」感、であった。問１９の結果にはやや意外な感じを持たれる向きもあろう。

図1 学部・項目別評価結果



また、問3の「放送授業を十分に視聴した」という項目の評価が若干低くなっている（2.71）。これはこれまでの調査でも重ねて指摘されてきた事実であるが、視聴の程度については学生側の特性との関連性も考えられるため、後で詳細に検討することにしよう。

ここで一つ、非常に特徴的な結果について触れておこう。それは、問10のメディア別の評価の違いについてである（上段の問10がテレビ科目の結果、下段の問10がラジオ科目の結果）。質問内容が若干異なるため完全に比較することは困難であるが、全体の数値だけから見ても、テレビ科目でのメディア特性を活かした内容への評価は平均的であるが（2.88）、ラジオ科目の映像がなくても理解しやすかったか、に関する評価は低い（2.63）。ラジオ科目の場合、内容あるいは教授法に一定の課題を残しているといえるのではないだろうか。

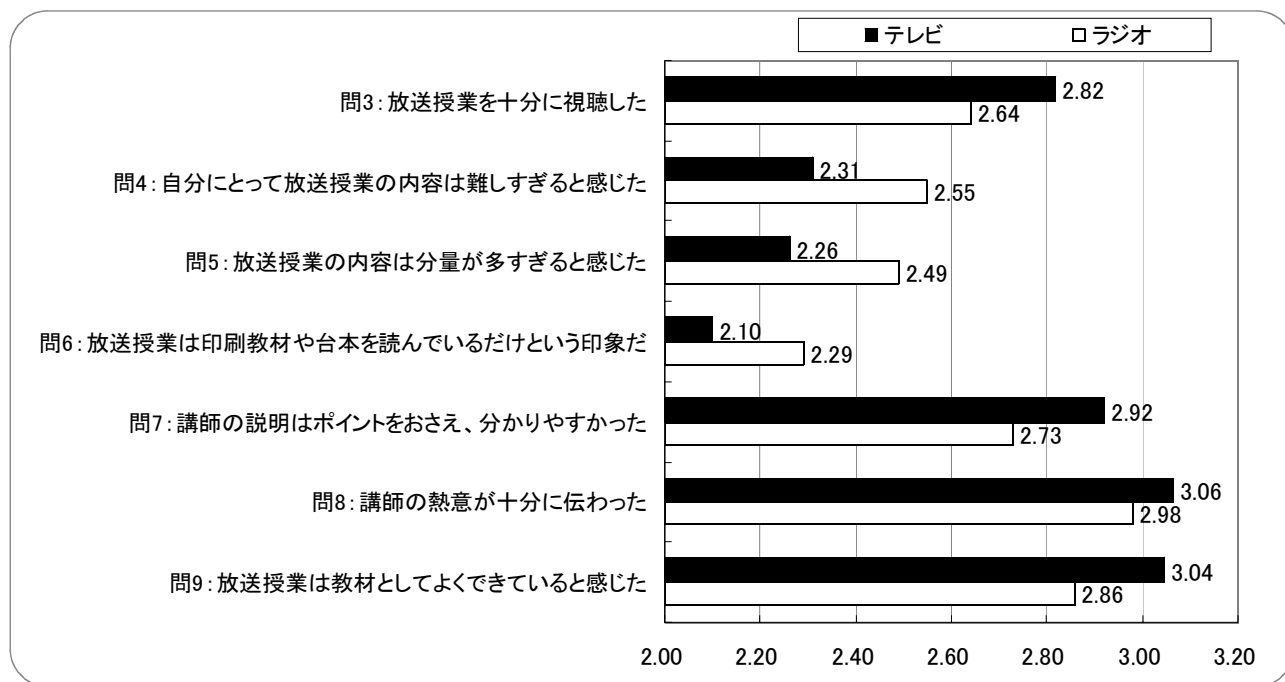
Ⅱ - 1 - 2 項目別の結果

(1) 放送授業に関する評価結果

調査票の質問は、前にも述べたように、①全体的な学習への取り組み状況、②放送授業への評価、③印刷教材への評価、④通信指導と単位認定試験に関する評価、そして⑤全般的評価の5つのグループにまとめられている。以下、その区分にしたがって見ていくことにしたい。まず、メディア

別に問 3「放送授業を十分に視聴した」から問 9「放送授業は教材としてよくできている」の結果を示したものが図 2 である。

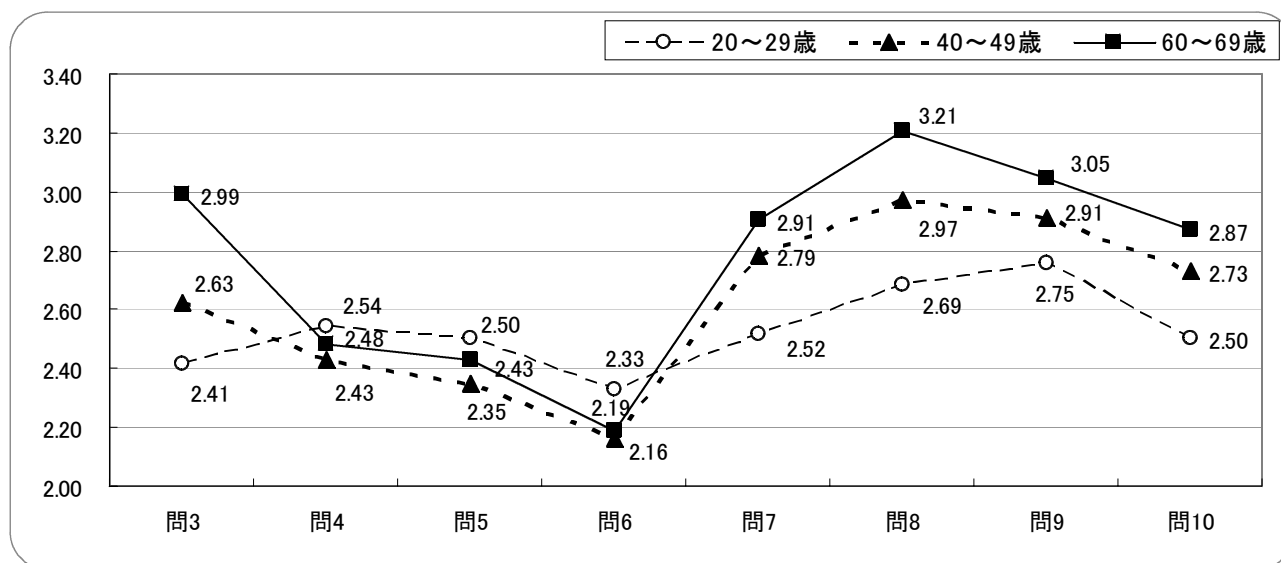
図2 学部・メディア別放送授業評価結果



問 3 では、テレビ科目の評点が 2.82 であるのに対し、ラジオ科目の評点は 2.64 となっている。つまりラジオ科目を受講している学生は何らかの事情によりテレビ科目よりも視聴時間が短い（または視聴回数が少ない）ということである。このことから、全体として、ラジオ科目が全体の視聴の程度を下げているものと判断することができる。問 4 の「難しさ」と問 5 の「分量」の評価に関しても、メディア別に見ると大きな違いが出ている。つまり、ラジオ科目はテレビ科目に比べて、明らかに「難しすぎる」「分量が多すぎる」と感じられているということである。また、問 6 「放送は印刷教材や台本を読んでいるだけと感じた」も、全体に低い値ながらラジオの方がその指摘が多いことがわかる。

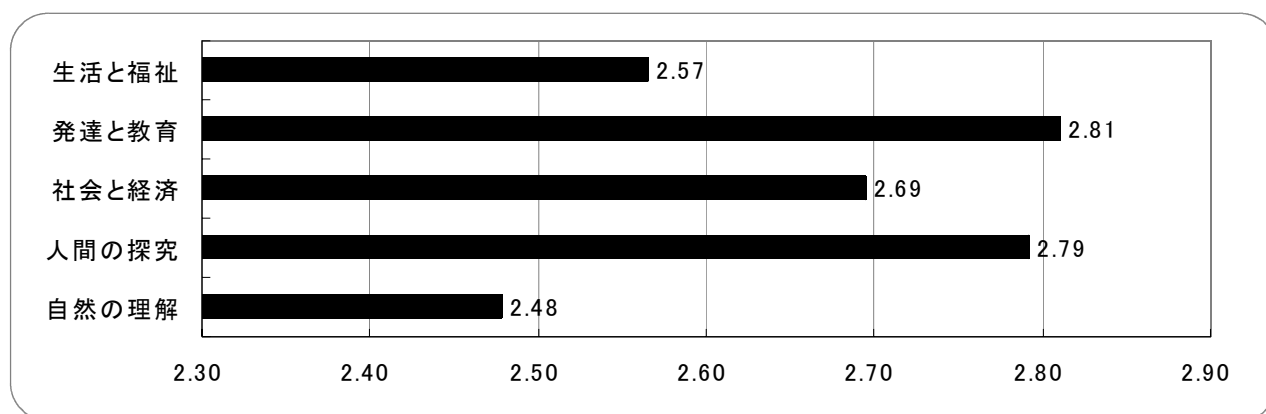
さらに、問 7 の「講師の話のわかりやすさ」や問 8 の「講師の熱意が伝わった」でも、全体平均から見ればテレビ・ラジオともに高い値を示しつつも、いずれもラジオ科目よりテレビ科目の評点の方が高い。このグループの最後の問 9 「放送は教材としてよくできている」は、放送授業の総合評価ともいふべき項目だが、ここでもテレビ科目が高い評価を得ていることがわかる。こうした点から、ここでも、ラジオ科目には説明のわかりやすさ及び印刷教材の理解への寄与に関してかなり構造的な課題があることが推察されるのである。

図3 学部・年齢階層別放送授業評価結果



放送授業の評価結果を3段階の年齢階層別に示したものが図3である。図を見ると全体を通して年代が高くなれば高くなるほど肯定的な評価が行われていることが確認できる。散らばりの大きさで見ると、問3「十分に視聴した」と問7「講師の話のわかりやすさ」と問8「講師の熱意が伝わった」に関して年代による散らばりが大きいことがわかる。それに比して、問4から問6は難易度や分量などに関する問であるが、年齢ごとの評価のばらつきはそれほどでもない。高齢者ほど放送授業をコミュニケーション機会と意識する度合いの高いことが窺える結果である。

図4 学部・科目の所属専攻別「問3：放送授業を十分に視聴した」の評価結果

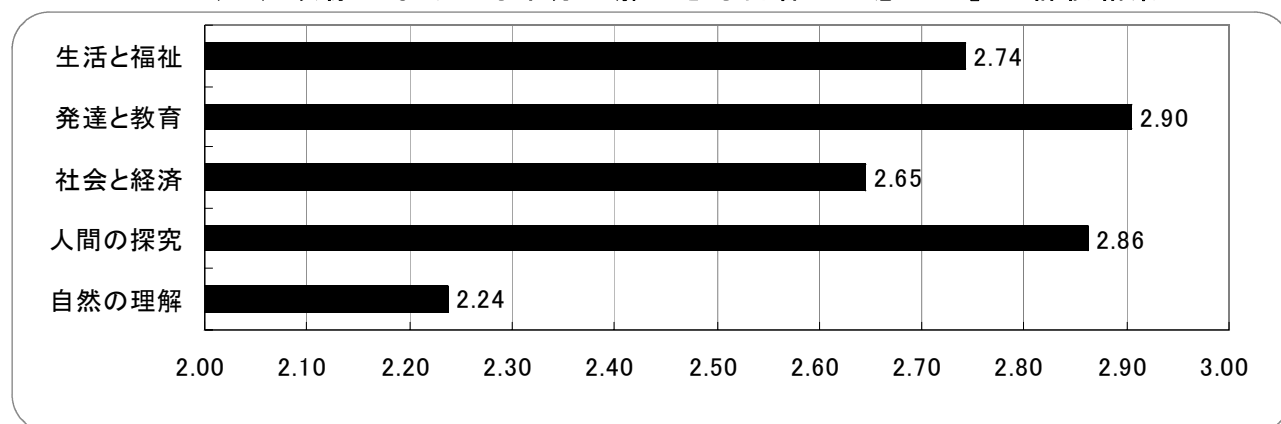


さらに問3について、科目の所属専攻別に見てみると（図4）、「自然の理解」の数値が最も低く、次いで「生活と福祉」の平均が低いことがわかる。これについては、授業の放送時間帯、対象科目の特定分野への偏りなどさらに細かく分析してみなければ分からないところもあるが、自然の理解の所属学生には比較的若い会社員等の層が多く、「生活と福祉」の所属学生には現職の看護師が多いこと、また、「発達と教育」には専業主婦・

パート層が多く、人間の探究には退職後の高齢者が比較的多いことなども関係していると思われる。

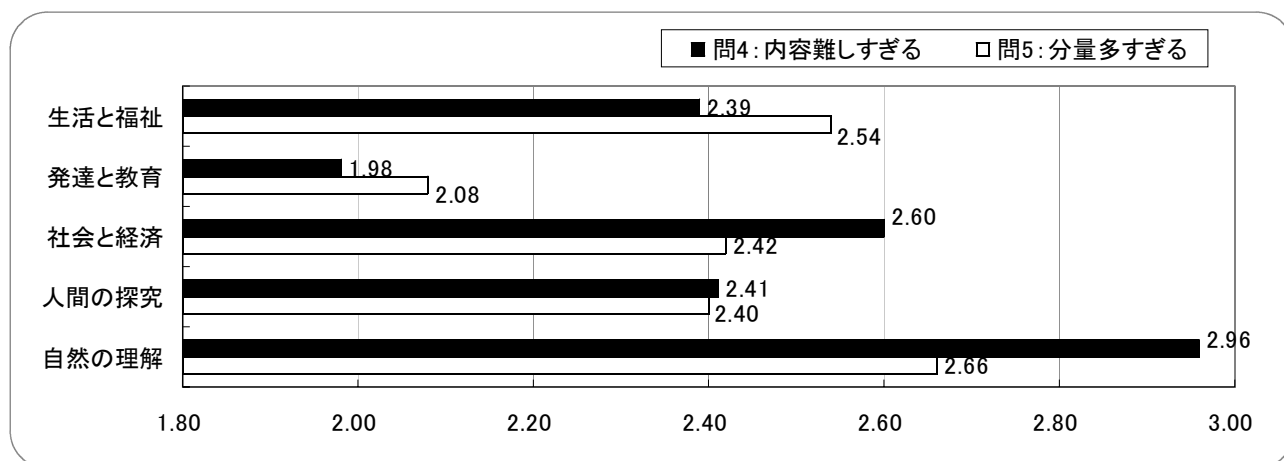
一方、年代によって比較的評価が散らばらなかったのが問 10「テレビまたはラジオに適した内容」という評価のうち、ラジオ科目に対する評価である。しかも、その評価が低い点で分散していないということを考えると、あらゆる年代でラジオ科目の内容については否定的な評価が下されているということになろう。これについても科目の所属専攻別(回答者の所属専攻別でないことに注意)に見てみると(図 5)、最も値が低いのが「自然の理解」の科目平均(2.24)で、次いで「社会と経済」の科目平均(2.65)である。特に、対象科目の4分の3がラジオ科目であった「自然の理解」での値の低さを見ると、これまでも言われてきたことではあるが、理系科目に関してはラジオでの講義の提供が不向きであるという結論を導き出さざるを得ない。当然のことではあるが、教科の内容と特性によって適切なメディアを選択することの重要性を改めて認識させられる結果だといってよいだろう。

図5 学部・科目の所属専攻別「問10:(TV)テレビの特性が十分に活かされていた or (R)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価結果



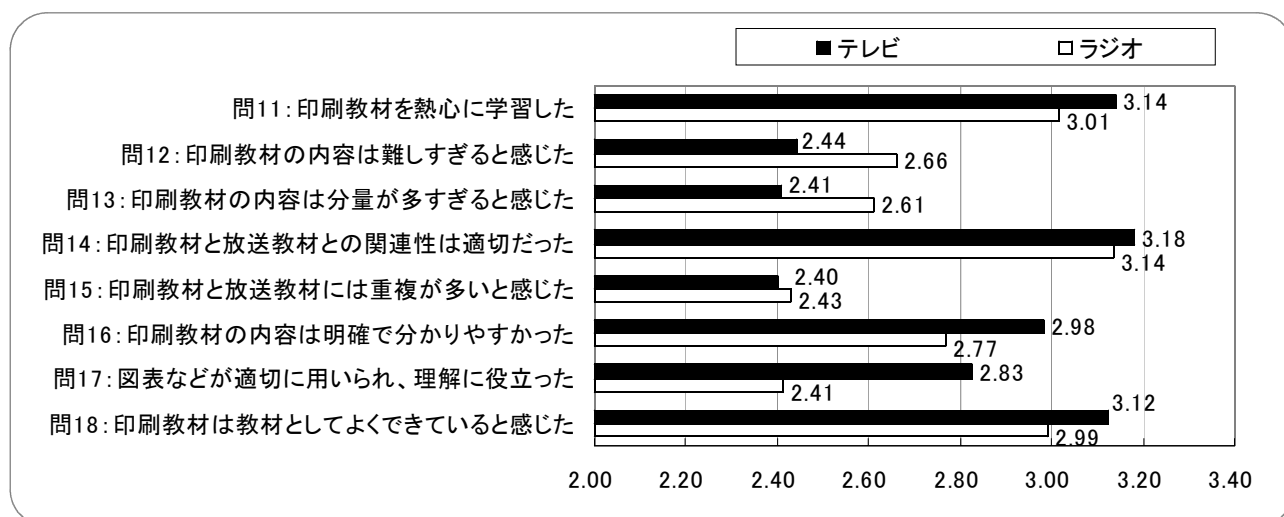
この項の最後に、放送授業の内容の難しさと分量に関して科目の所属専攻別に見ておく(図 6)。まず、問 4の「内容の難しさ」に関しては、「自然の理解」に所属する科目が際だって高い数値を示している。次いで「社会と経済」に所属する科目の数値が高い。「生活と福祉」は、難易度はそれほどではないものの、分量に関する数値が高い。難易度に比して分量が多いという、「生活と福祉」専攻の科目の特性がよく表れているといえよう。

図6 学部・科目の所属専攻別問4、問5の評価結果



(2) 印刷教材に関する評価結果

図7 学部・メディア別印刷教材評価結果



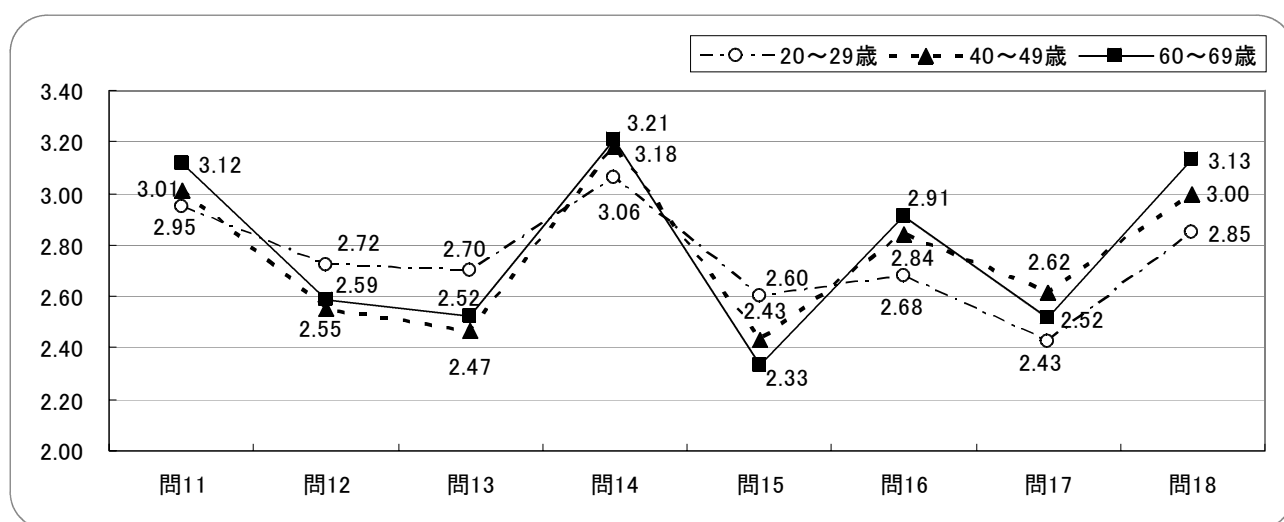
次に印刷教材に関する評価結果を見ていくことにしよう。メディア別に印刷教材の評価結果を示したものが図7である。

評価結果がメディア別に見て大きく異なるのは、問17「図表等の使用が適切」に関する評価である。圧倒的にテレビ科目(2.83)の方がラジオ科目(2.41)よりも評価が高い。0.4以上の差が確認できる。先の放送授業に関する評価結果と合わせて考えると、ラジオ科目では授業で図表等の使用が不可能である分、印刷教材での図表等の使用に対する期待も大きく、その分厳しい評価がなされた可能性もある。しかし、実際に両者の印刷教材を比較してみると、確かにテレビ科目の方が図表、図版、写真等が豊富である。このことは、テレビの場合は放送で用いた図版や図表をそのまま利用できるという教材作成の方法的な違いにも由来しているのかもしれない。さらなる検討を要するだろう。

他の質問項目では、問 12、問 13、問 16 といった印刷教材の難易度、分量、分かりやすさに関してもメディア別に有意な差が認められた。放送にどちらのメディアを用いようと印刷教材には基本的な差異はないはずであるが、こうした結果が出るところに、両教材の有機的な関わりを見ることができるのではないだろうか。

印刷教材の評価結果を 3 段階の年齢階層別に示したものが図 8 である。図を見ると放送授業のときと同様に全体を通して年代が高くなれば高くなるほど肯定的な評価が行われていることがわかる。散らばりに注目して見ると、多くの項目で 60 代と 40 代が近似した値をとるのに対し、20 代がそれとは違った値を示すことがわかる。活字メディアに対する世代間の親和性の差が出ていると見ることもできるかもしれない。

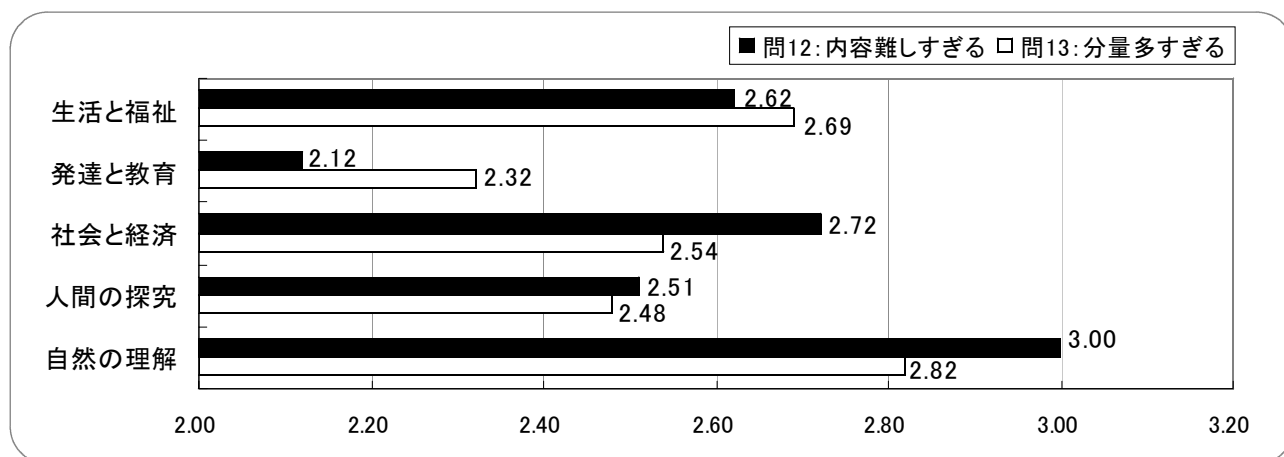
図8 学部・年齢階層別印刷教材評価結果



年代による散らばりが大きくなっているのは、問 12 と問 13 の「印刷教材の内容の難しさ」と「印刷教材の分量の多さ」、および問 15 の「放送教材との重複」を指摘するものであった。一方、年代による散らばり方が比較的小さかったのは、問 11「熱心に学習」、問 14「放送教材との関連適切」、そして問 17 の「図表等の使用の適切さ」である。こうした事実関係に関わる項目については、年代による違いが起こりにくいのかかもしれない。

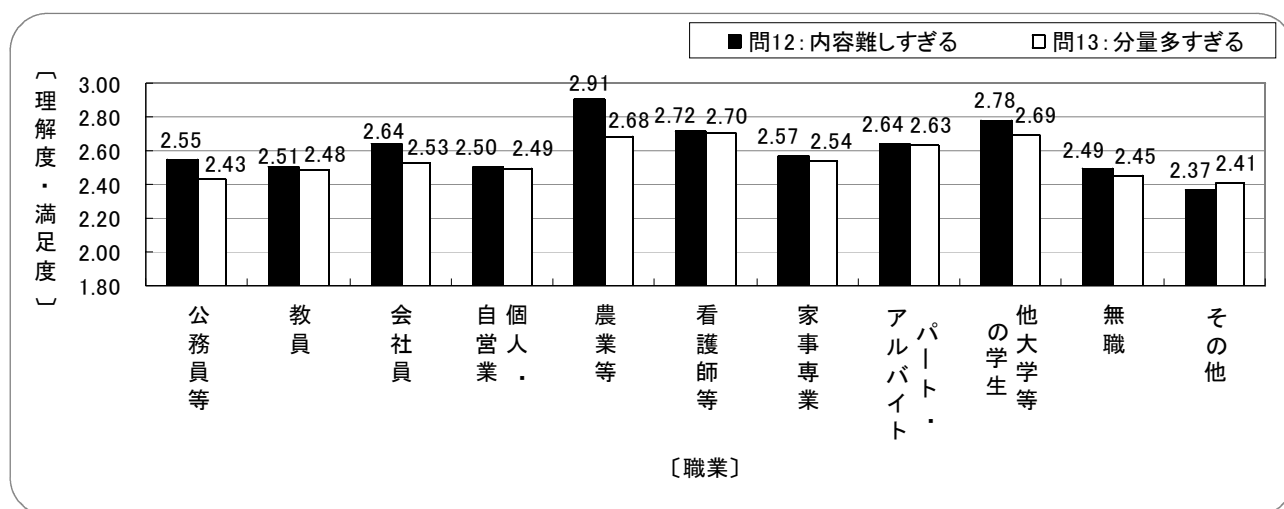
年代間の差異の大きかった印刷教材の内容の難しさと分量に関して、科目の所属専攻別に見たものが図 9 である。放送授業の場合と同様、「自然の理解」に属する科目について内容の難しさと分量の多さの指摘が多い。次いで「社会と経済」、「生活と福祉」の評点が比較的高いといえる。一方でやはり「発達と教育」に関してはどちらの問も指摘が少なく、印刷教材・放送授業ともに内容・分量にそれほど不満がないものと理解できる。

図9 学部・科目の所属専攻別問12、問13の評価結果



さらに細かく検討するため印刷教材の内容の難しさと分量に関して職業別に見たものが図10である。同一職業グループ内での問12と問13の評価は、農業等および他大学等の学生を除いてそれほど差異はない。つまり問12の評価と問13の評価はその職業内で同調している。最も内容の難しさと分量の多さを指摘しているのは農業等と他大学等の学生カテゴリーに属する学生である。他大学等の学生については、内容や分量がその所属大学の水準と異なったり、あるいは単位数が必然的に増えたりということが学生に負荷をかけている可能性があるのではないだろうか。

図10 学部・職業別問12、問13の評価結果

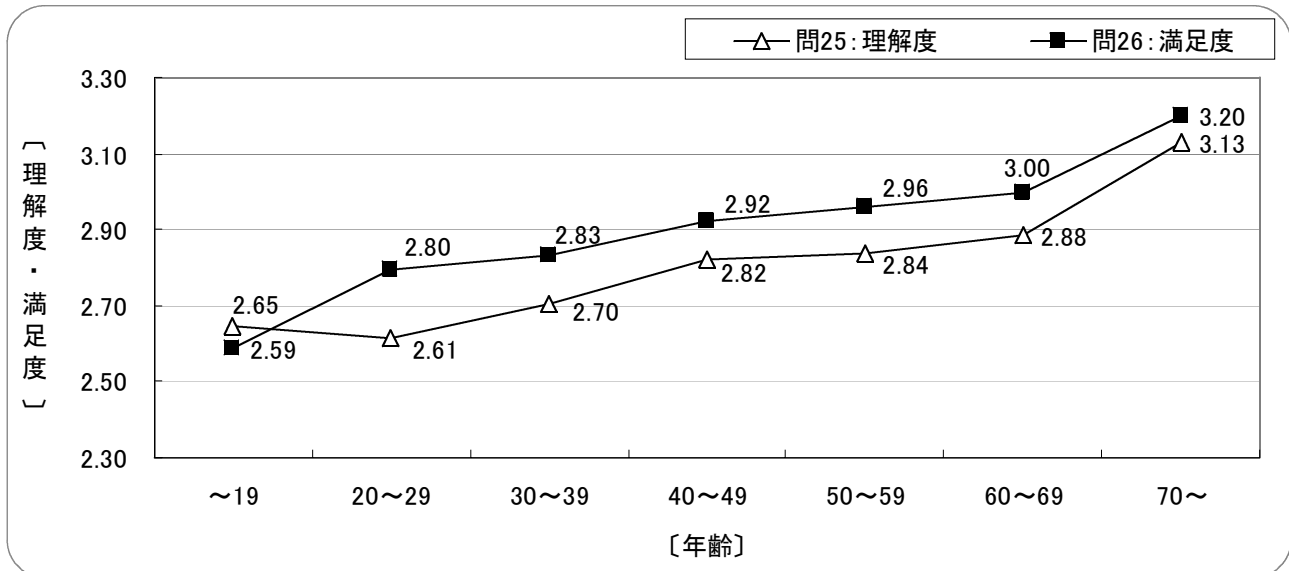


またそれ以外でも看護師等や会社員、パート・アルバイトなどが問12、問13について相対的に高い値であるのに対して、個人・自営業、教員、無職などでは低い値を示している。専攻の違いやとっている科目の差異など、さまざまな条件は考えられるが、印刷教材に親和性の高いグループ、低いグループがあり、そのことが評価結果に出てきている、ということだけは確かなようである。

(3) 学生の属性および特性との関連

以下では、学生の属性・特性と全体評価である問 25（理解度）と問 26（満足度）との関係を見ていく。

図11 学部・年齢と問25（理解度）、問26（満足度）の関係

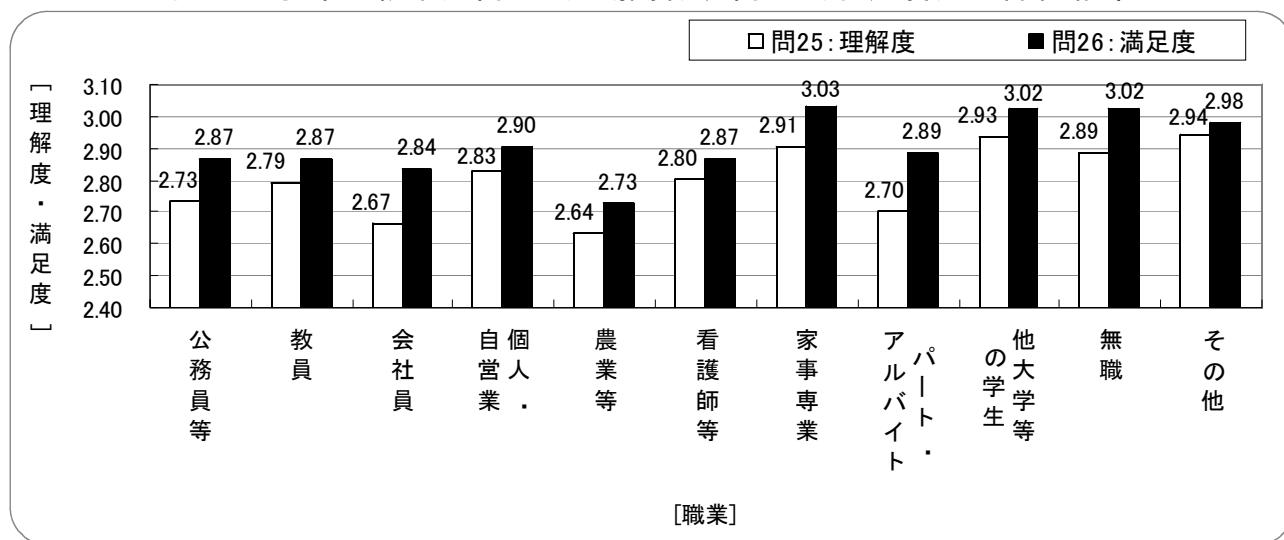


問 26 に関しては、満足度の指標として示しているが、問 1～問 26 の全体の平均値（付録(2)参照）と相関が 0.9 以上と非常に高いため、評価の全体的傾向を代替するものとしても考えることができる。年齢と問 25（理解度）、および問 26（満足度）との関係を表したものが図 11 である。一見して明らかであるのは、やはり年齢が高くなるにつれて理解度・満足度ともに肯定的な評価になるということである。10 代に関しては前述のとおり回答者数が非常に少なく（17 名）その影響も考えられるが、20 代と 60 代を比べても理解度は 2.61 → 3.13（+ 0.52）、満足度は 2.80 → 3.20（+ 0.40）のように著しく上昇している。その背景には多くの要因が考えられるが、年代と共に理解力が高まるという仮説を採らないとするならば、例えば、時間的余裕との相関や肯定的回答への指向性の差、あるいは時間的余裕とも関わるが、理解できそうな科目しか選択しないという態度を取れるか否かの違い等々の事由を挙げることは可能であろう。さらに検討を要する結果である。

ついで、職業別に問 25（理解度）および問 26（満足度）を見たものが図 12 である。図を見ると、家事専門の理解度・満足度が高く、他大学等の学生および無職の理解度・満足度がそれについていることがわかる。それに対して、農業等では、理解度・満足度ともに著しく低くなっている。会社員とパート・アルバイトの理解度の低さも気になるところである。これらの項目に関しては、昨年度の試行結果とは若干異なるデータとなって

いるが、職業的な特性が理解度・満足度の評価に大きな影響を依然与え続けていることは確かなようである。

図12 学部・職業別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



性別と問25（理解度）、問26（満足度）の関係を表したものが図13である。理解度・満足度ともに女性が若干肯定的な評価をしているが、満足度を含め男女間に見るべき有意な差はない。また、学生種別と問25（理解度）、問26（満足度）の関係を表したのが図14である。全科履修生、選科履修生、科目履修生では若干選科履修生の理解度・満足度が高く、科目履修生の理解度・満足度が若干低いことが見て取れる。

専攻別に見ると（図14）、「人間の探究」に所属する学生の理解度・満足度が相対的に高く、「発達と教育」に所属する学生がそれに次いでいる。それに対し、「産業と技術」「自然の理解」「社会と経済」の理解度と満足度が相対的に低い。これまでに実施された類似の調査では、「産業と技術」と「自然の理解」の理系の学生の評点が低いことが指摘されていたが、今回の調査でも同様の結果が出たことになる。

図13 学部・性別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果

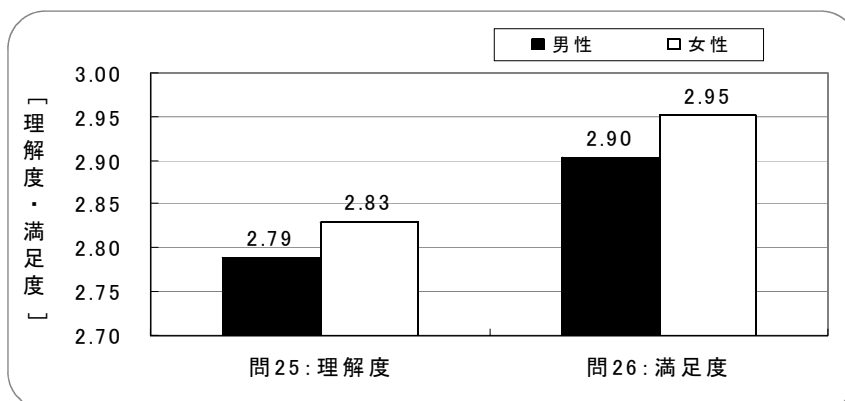
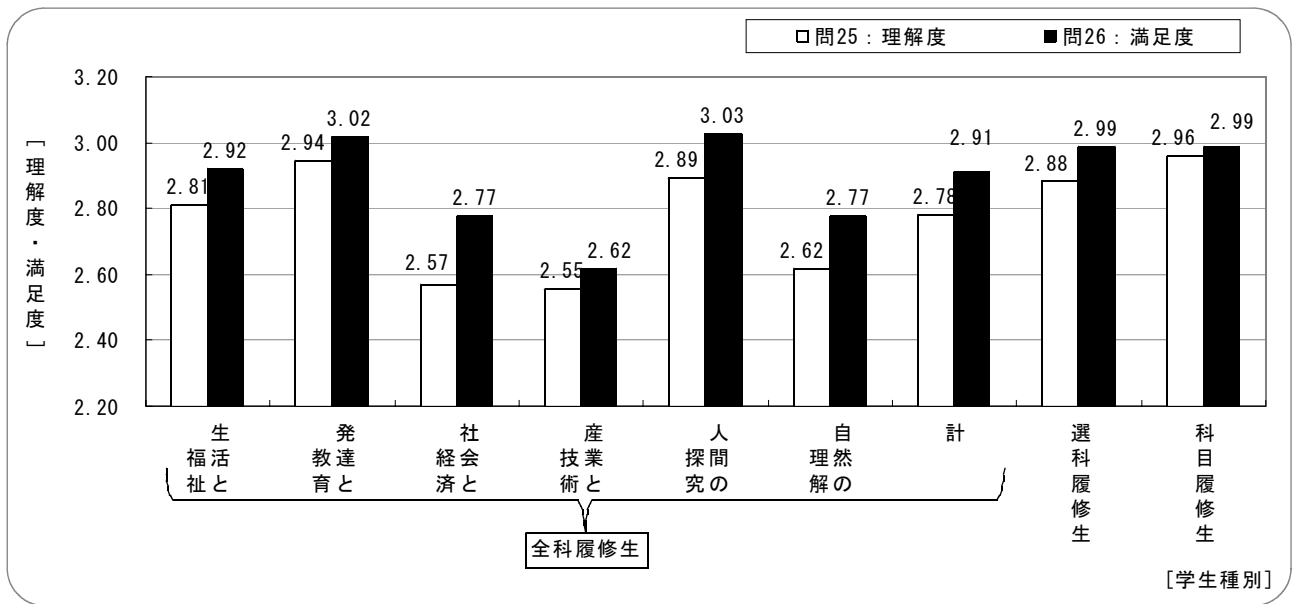


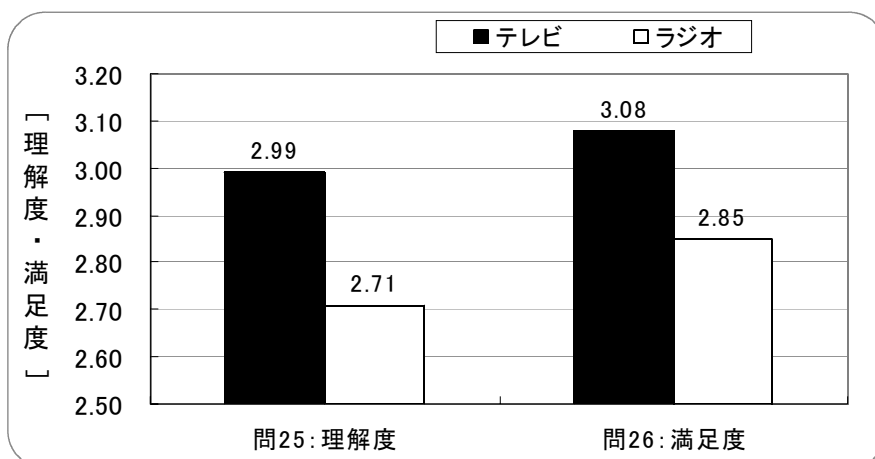
図14 学部・学生種ごとの問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



(4) 科目特性との関連

学部科目の検討の最後に、メディアと科目の所属別に理解度・満足度を見ていく。まず、メディア別に問25（理解度）、問26（満足度）の関係を表したものが図15である。理解度・満足度ともにテレビ科目のほうがラジオ科目よりも上回っている。理解度に関しては0.28、満足度に関しては0.23の差が生じている。昨年度の試行では、メディアによる有意な差異は見られなかったが、今後の結果を注視していくべきであろう。

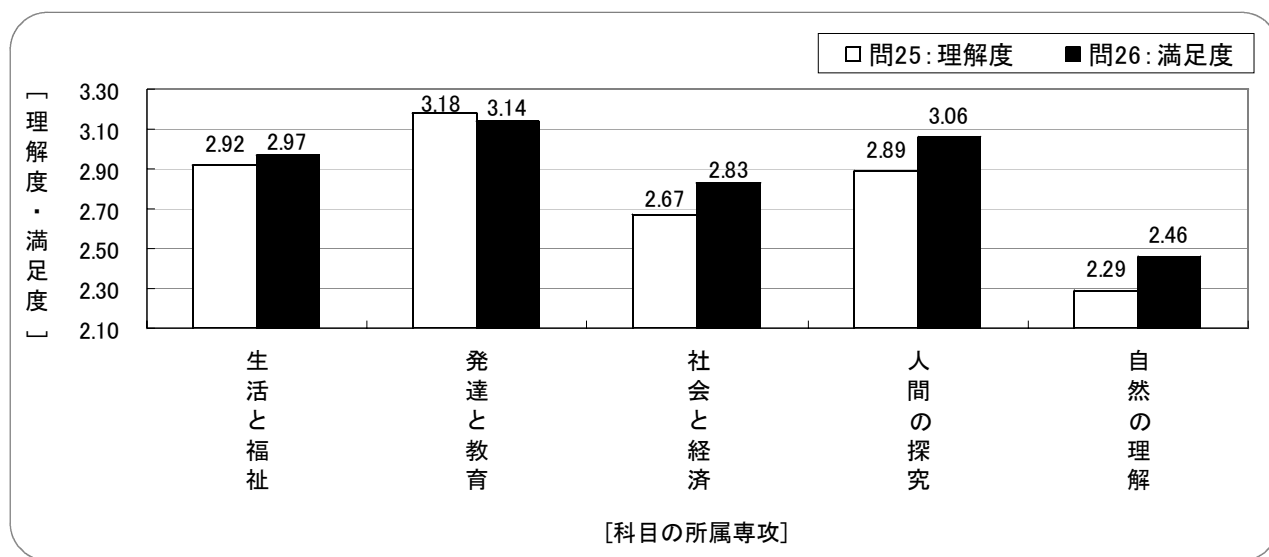
図15 学部・メディア別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



次に科目の所属専攻に注目しよう。問25（理解度）、問26（満足度）を科目の所属専攻別に示したものが図16である（図14が回答者である学生の所属であるのに対し、この図は科目の所属を示していることに注意）。まず理解度に注目して見てみると、「発達と教育」と「生活と福祉」の科

目平均が高い一方で、「自然の理解」と「社会と経済」では低いことがわかる。満足度に関しては「発達と教育」と「人間の探究」の科目平均が高く、理解度と同様「自然の理解」と「社会と経済」で低くなっている。両項目に関する「自然の理解」の数値の低さは際立っている。特に理解度が著しく低いことから、難しさが満足度の低さにつながっていると見ることができらるだろう。

図16 学部・科目の所属専攻別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



Ⅱ－2 大学院票結果の分析

Ⅱ－2－1 全体的傾向

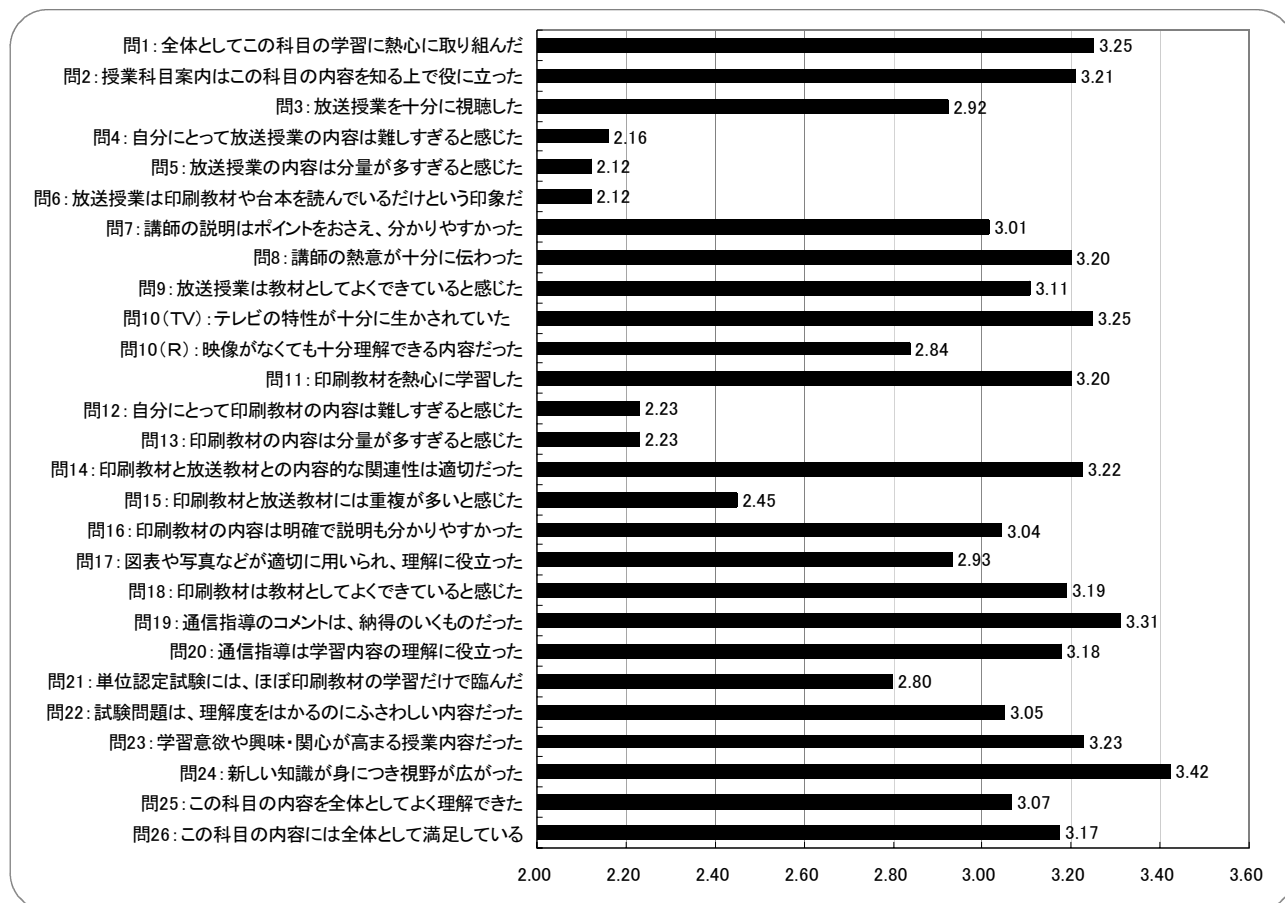
ついで、大学院科目に関する授業評価結果を見よう。本学では、修士選科生または修士科目生として登録すれば、誰でも大学院科目を受講できるため、必ずしもいわゆる「院生」が回答しているとは限らない。したがって、大学院生を対象とした評価結果よりも、学部生にシフトした意見になっている可能性がある。そのことを念頭に置いた上で、以下の結果を見ていただきたい。

大学院科目に関しても、まず項目別の平均値を俯瞰し、全体的な傾向を把握することにしよう。各項目の評価の平均点の有効回答者全体の傾向を示したものが図17である。評価の平均値を見ると、学部科目の場合と同様に、問5、問6、問4、問15の値は低いが、学部科目では印刷教材の内容の難しさや分量の多さ(問12、問13)を指摘する声がある程度あったのに対し、大学院ではその値が極めて小さいことも見て取れる。つまり、全体として見る限り、大学院生は学部学生と比べても本学の授業内容の難易度と量をそれほど負担に感じていないということが見て取れるのである。

一方で、値の高かったのが、問24の「視野が広がった」等の全体的評

価と問 19 の「通信指導のコメント適切」感、問 10 の「テレビ科目の適切」感、そして問 14 の「放送と印刷の関連適切」感、であった。学部の結果とほぼ一致する。通信指導のコメントは、学部科目よりも記述式の通信問題が多いことから、ある程度予想されたことである。

図17 大学院・項目別評価結果



また、問 3 の「放送授業を十分に視聴した」という項目の値は若干低い (2.92) が、それでも学部科目に比べれば 0.21 高くなっている。大学院科目の視聴状況は、明らかに学部科目よりも高くなっているのである。

問 10 のメディア別の評価 (上段の問 10 がテレビ科目の結果、下段の問 10 がラジオ科目の結果) の違いは、これも学部科目同様、テレビの方が高くなっている。ここでもラジオ科目の課題が学部科目と同様に見られるとあってよいだろう。

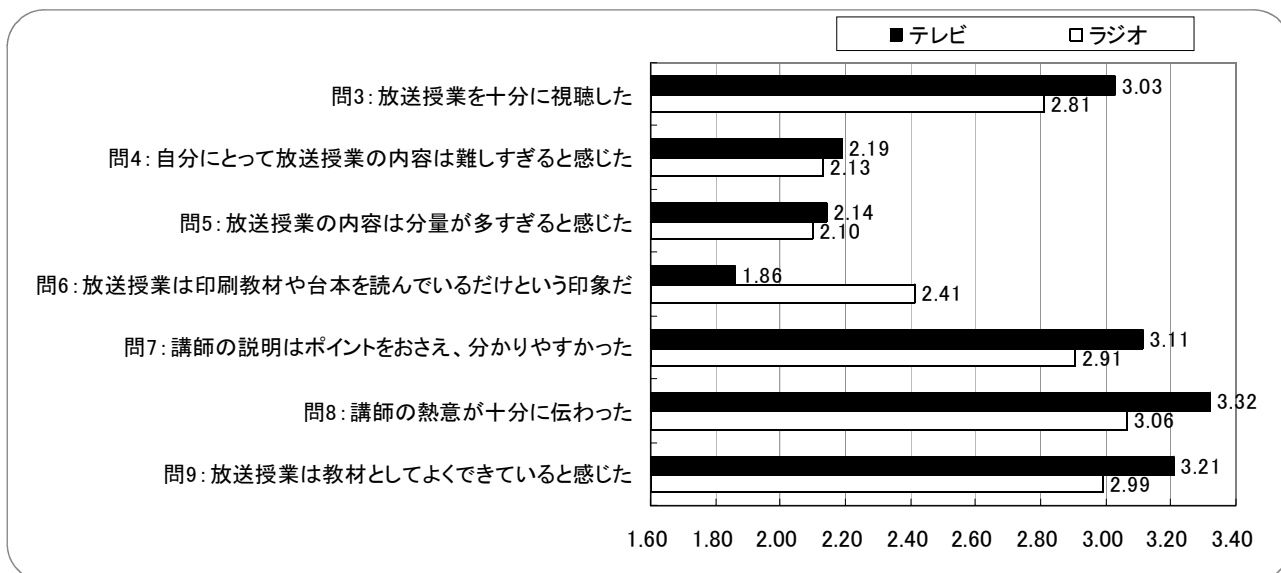
II-2-2 項目別の結果

(1) 放送授業に関する評価結果

大学院でも学部同様に、①全体的な学習への取り組み状況、②放送授業への評価、③印刷教材への評価、④通信指導と単位認定試験に関する評価、⑤全般的評価、の5つのグループごとに各質問項目をまとめながら見てい

くことにする。まず、全体的な取り組み状況と放送授業への評価を統合して、問3「放送授業を十分に視聴した」から問9「放送授業は教材としてよくできている」の結果をメディア別に図18で見よう。

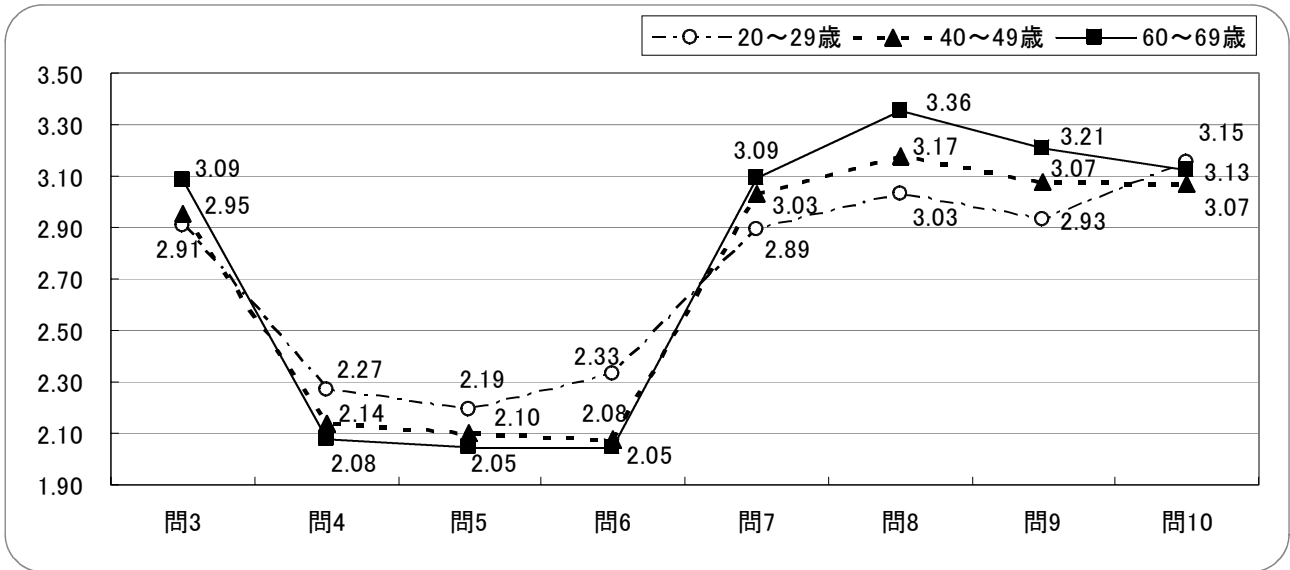
図18 大学院・メディア別放送授業評価結果



問3では、テレビ科目の評点が3.03と、学部科目に比しても高い水準であるのに対し、ラジオ科目の評点は2.81と0.21も低くなっている（ただし学部科目よりは高い）。つまり、ここでもラジオ科目を受講している学生は何らかの事情によりテレビ科目よりも視聴時間が短い（または視聴回数が少ない）ということが推測される。問4の「難しさ」と問5の「分量」の評価は、学部科目と異なり、メディアによる明確な差異は認められない。ところが、問6「放送は印刷教材や台本を読んでいるだけと感じた」では、テレビ科目に比してラジオ科目でその指摘がとりわけ多いことがわかる。

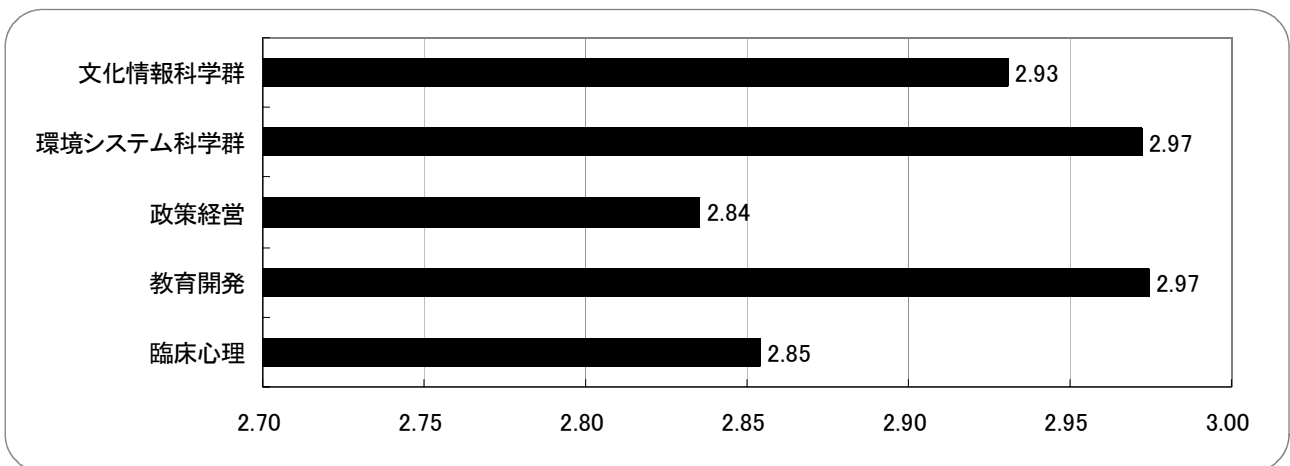
一方、問7の「講師の話のわかりやすさ」や問8の「講師の熱意が伝わった」でも、全体平均から見ればテレビ・ラジオともに高い値を示しつつも、いずれもラジオ科目よりテレビ科目の評点の方がやや高い。このグループの最後の問9「放送は教材としてよくできている」は、放送授業の総合評価ともいふべき項目だが、ここでもテレビ科目が高い評価を得ていることがわかる。こうした結果から、大学院科目に関してもラジオ科目の構造的な課題を見ることができるのである。

図19 大学院・年齢階層別放送授業評価結果



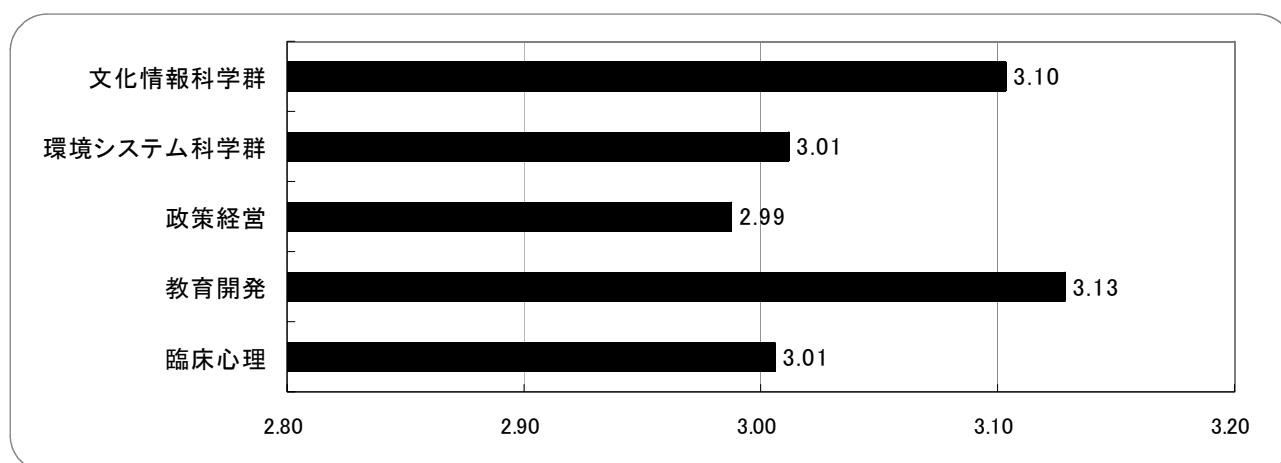
放送授業の評価結果を3段階の年齢階層別に示したものが図19である。図を見ると全体を通して年代が高くなれば高くなるほど肯定的な評価が行われていることが確認できる。散らばりの大ききで見ると、問6「放送は印刷教材や台本を読んでいるだけと感じた」と問8「講師の熱意が伝わった」に関して年代による散らばりが大きいことがわかる。

図20 大学院・科目の所属プログラム（群）別「問3：放送授業を十分に視聴した」の評価結果



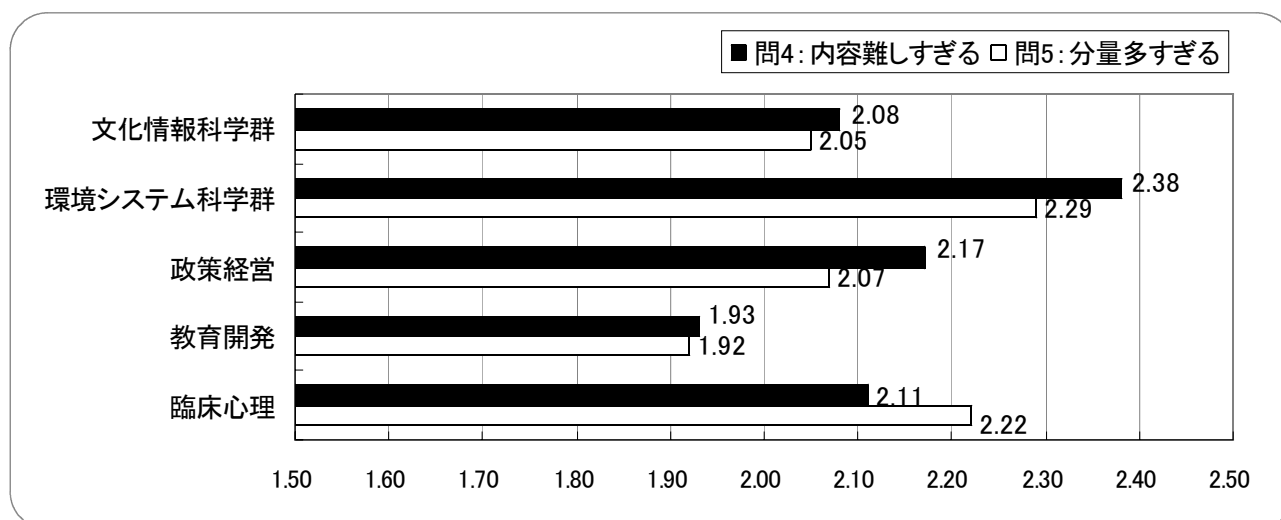
さらに問3について、科目の所属プログラム（群）別に見てみると、「政策経営」の数値が最も低く、次いで「臨床心理」の平均が低いことがわかる（図20参照）。また、「環境システム科学」や「教育開発」では視聴状況がいい。これについては授業の放送時間帯などさらに細かく分析してみなければわからないところもあるが、「政策経営」の所属学生には中堅の公務員や会社員等が多いということも関係しているのではないと思われる。

図21 大学院・科目の所属プログラム（群）別「問10：(TV)テレビの特性が十分に生かされていた or (R)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価結果



一方、年代による評価の違いがほとんどなかったのが問10「テレビまたはラジオに適した内容」という評価である。（もともと、その絶対値は学部科目よりかなり高い。）そこで、これについても科目の所属プログラム（群）別（回答者の所属プログラム（群）でないことに注意）に見てみると（図21）、最も値が低いのが「政策経営」の科目平均（2.99）で、次いで「環境システム科学」と「臨床心理」の科目平均（3.01）である。逆に「教育開発」と「文化情報科学」は高い水準を示している。こうした「政策経営」諸指標の低さの根底には、何か有意な要因があると考えられる。今後の検討すべき課題である。

図22 大学院・科目の所属プログラム（群）別問4、問5の評価結果

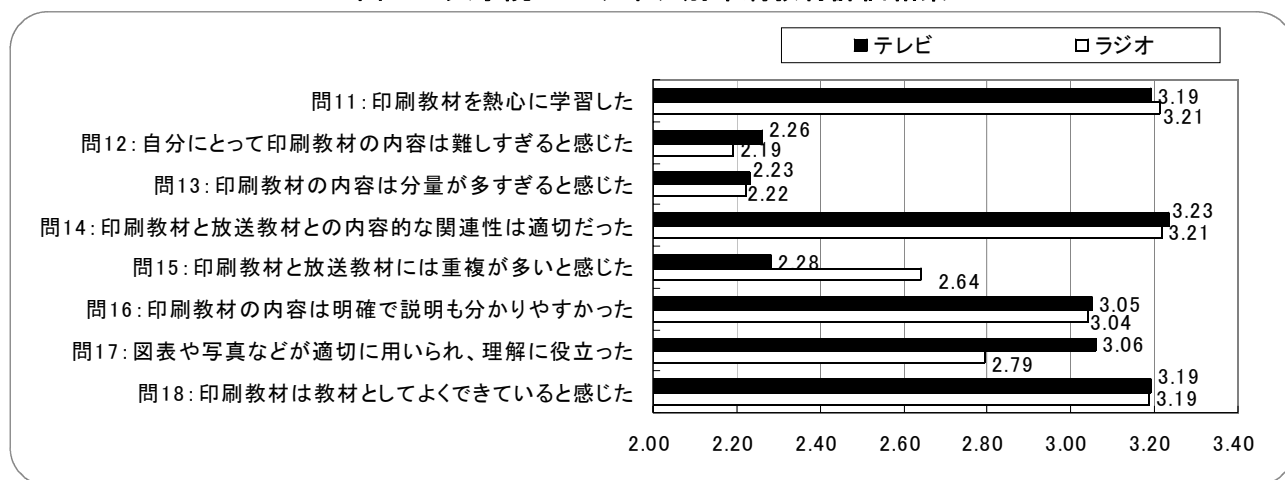


この項の最後に、放送授業の内容の難しさと分量に関して科目の所属プログラム（群）別に見ておく。まず、問4の「内容の難しさ」に関しては、「環境システム科学」に所属する科目が際だって高い数値を示している。次いで「政策経営」に所属する科目の数値が高いが、「環境システム科

学」との差は大きい。一方、「教育開発」では内容の難しさに関する指摘が著しく少ないが、これは、内容的な易しさよりも受講者の大半が現職の教員だということの方の効果が高いのではないかと思われる。「臨床心理」の科目は、難易度はそれほどではないものの、分量に関する数値が高い。難易度に比して分量が多いという臨床心理学の科目特性がよく表れているといえよう。

(2) 印刷教材に関する評価結果

図23 大学院・メディア別印刷教材評価結果

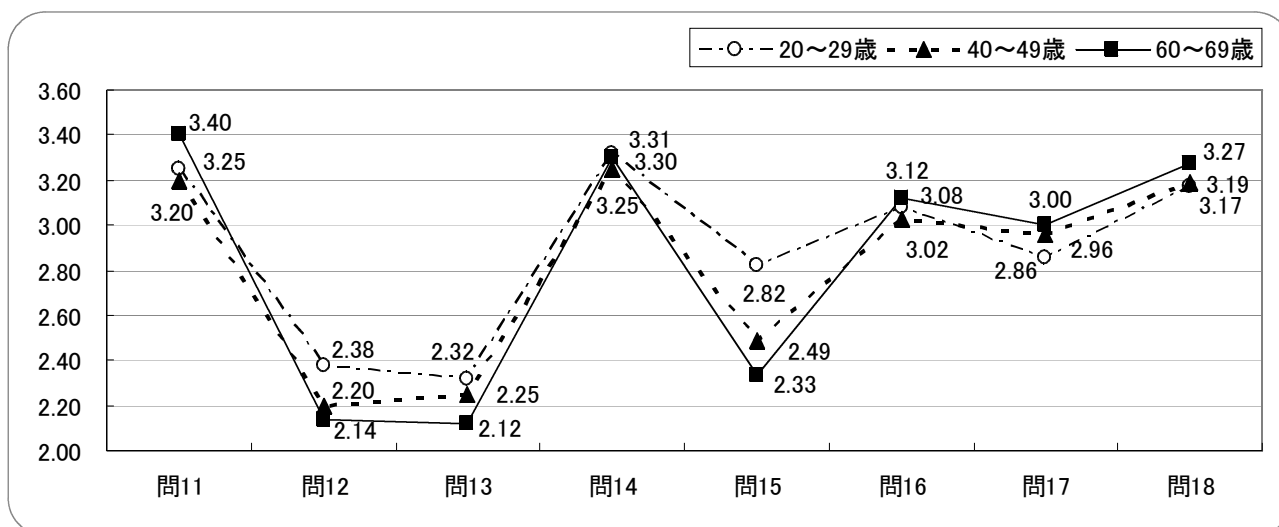


次に印刷教材に関する評価結果を見ていくことにしよう。メディア別に印刷教材の評価結果を示したものが図23である。

評価結果がメディア別に見て大きく異なるのは、問15「放送教材との重複」に関する評価である。テレビ科目とラジオ科目の差が0.36にも達している。学部科目では見られなかったこうした傾向は、学生による評価をすることで初めて知ることができたということである。問17「図表等の利用」は、学部科目同様、大学院科目でもテレビ科目とラジオ科目の印刷教材の間で大きな差が見られる。学部科目の場合と同じような背景が考えられるのではないだろうか。他の質問項目では、ほとんど有意な差は認められなかった。学部とのそうした違いの背景も考えておくべきであろう。

印刷教材の評価結果を3段階の年齢階層別に示したものが図24である。図を見ると放送授業のときと同様に全体を通して年代が高くなれば高くなるほど肯定的な評価が行われていることがわかる。散らばりに注目してみると、多くの項目で60代と40代が近似した値をとるのに対し、20代がそれとは違った値を示す点は学部科目と同様である。ただ、学部科目に比べて、年代による差異はそれほど大きなものではないという印象を受けるのも事実である。

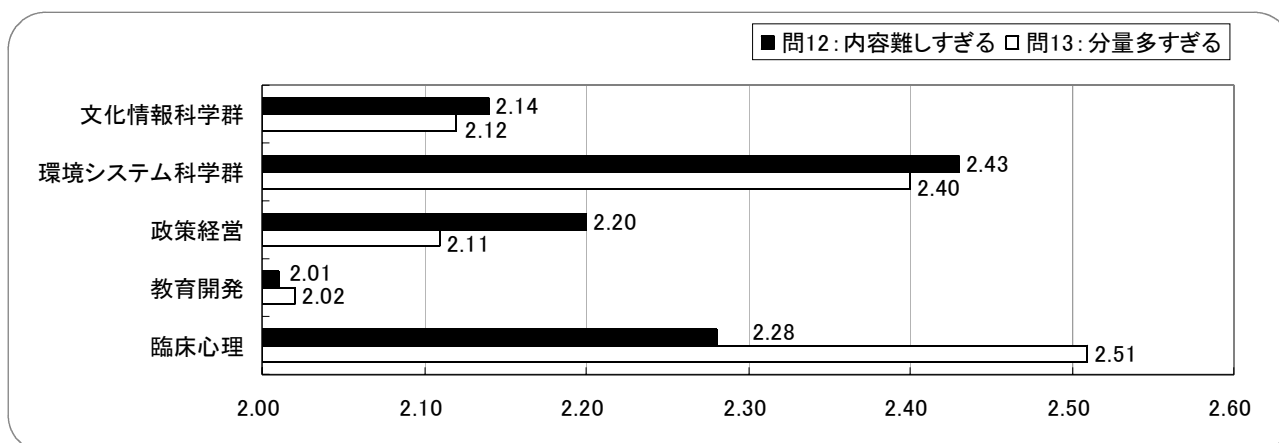
図24 大学院・年齢階層別印刷教材評価結果



項目の中で、年代による散らばりが大きくなっているのは、問15の「放送教材との重複」を指摘するものだけであった。この点は学部科目と大きく異なっている。重複に関しては、20代の学生が重複を強く感じるのに対し、60代の学生は、むしろそれを肯定的に捉える傾向すらある。このことは、後出の自由記述の内容を見ても明らかである。それ以外の項目では、学部科目と違って年代による散らばりは非常に小さい。その背景についても今後考察していくべきだと思う。

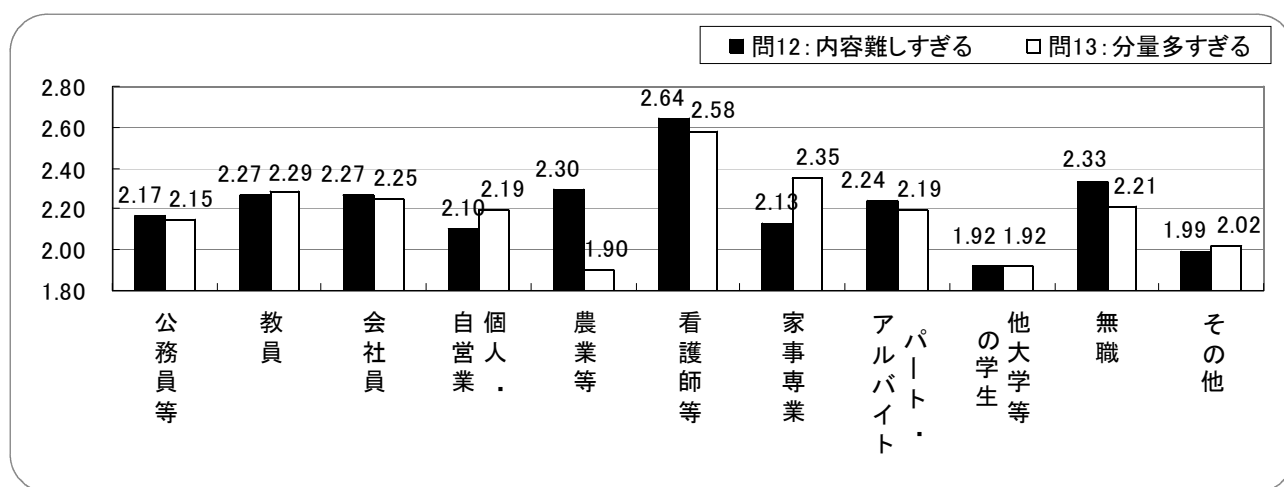
印刷教材の内容の難しさと分量に関して、科目の所属プログラム（群）別に見たものが図25である。放送授業の場合と同様、「環境システム科学」に属する科目について内容の難しさと分量の多さの指摘が多い。「臨床心理」がそれに続くが、その差は大きい。「臨床心理」で特徴的なのは、分量の多さに対する指摘が群を抜いていることである。これに関しては、放送授業(図22)でも全く同様の傾向を見ることができたが、印刷教材では、その差異の程度がいっそう著しくなっているのが目立つ。

図25 大学院・科目の所属プログラム（群）別問12、問13の評価結果



さらに細かく検討するため印刷教材の内容の難しさと分量に関して職業別に見たものが図 26 である。同一職業グループ内での問 12 と問 13 の評価は、農業等および家事専業を除いてそれほど差異はない。つまり、ここでも問 12 の評価と問 13 の評価はその職業内で同調しているといえよう。最も内容の難しさと分量の多さを指摘しているのは看護師等である。しかし、この結果は、科目の特性と職業との相性というより、その職業の内包する特殊な事情によるところが大きいのではないかと考えられる。というのも、看護師等や農業等、家事専業などの回答結果がそれを示唆しているように思えるからである。

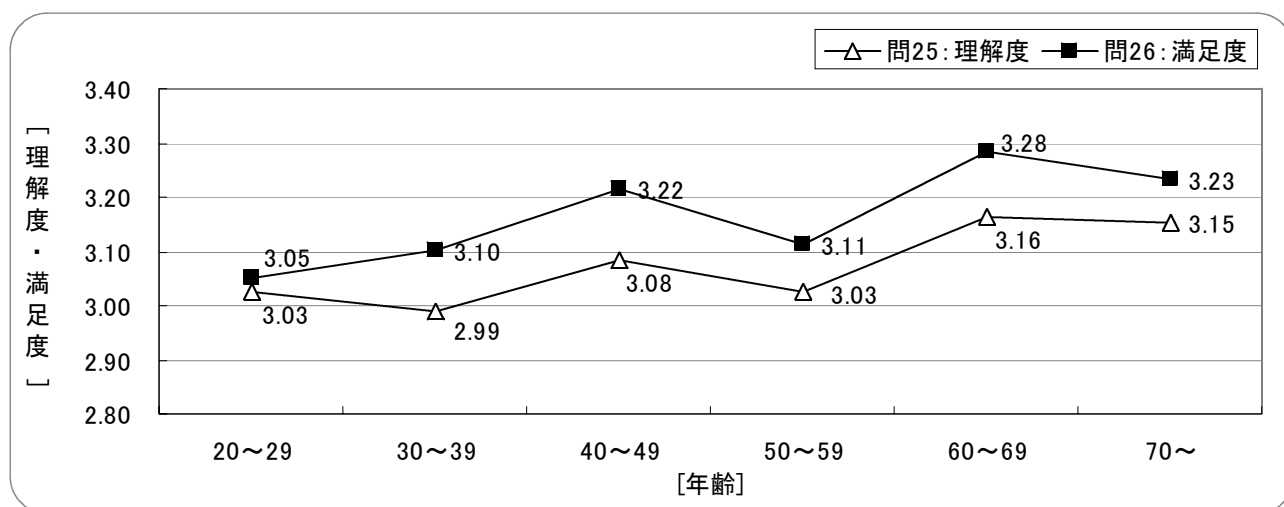
図26 大学院・職業別問12、問13の評価結果



(3) 学生の属性および特性との関連

以下では、学生の属性・特性と全体評価である問 25（理解度）と問 26（満足度）との関係を見ていく。

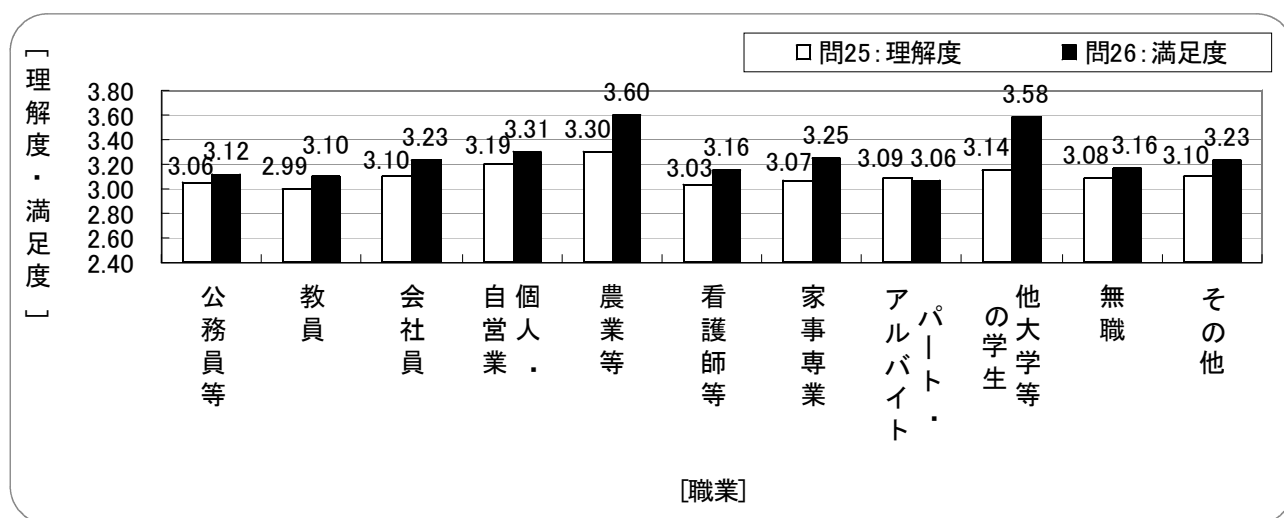
図27 大学院・年齢と問25（理解度）、問26（満足度）の関係



年齢と問 25（理解度）および問 26（満足度）との関係を表したものが図 27 である。一見して明らかであるのは、やはり年齢が高くなるにつれて理解度・満足度ともに肯定的な評価になるということであるが、学部科目の場合と異なり、その上がり方は変則的である。50代で一時大幅に低下しているのである。特に満足度の落ち込みは大きい。ここで何が起きているのか、この層にどのような特性の学生が多いのかは、今後詰めていくべき重要な問題であろう。

ついで、職業別に問 25（理解度）および問 26（満足度）を見たものが図 28 である。図 28 を見ると、農業等の理解度・満足度が高く、他大学等の学生および無職の理解度・満足度がそれについていることがわかる。自営業の値も高い。それに対して、教員、パート・アルバイト、家事専業などでは、理解度、満足度ともに低くなっている。このことは、学部科目の結果とは若干異なるものとなっている。その理由についてのさらなる考察が必要だろう。

図28 大学院・職業別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



性別と問 25（理解度）、問 26（満足度）の関係を表したものが図 29 である。学部科目とは逆に、理解度、満足度ともに、はっきりと男性の方が肯定的な評価をしている。また、学生種別と問 25（理解度）、問 26（満足度）の関係を表した図 30 を見ると、「臨床心理」の理解度、満足度が群を抜いていることがわかる。「臨床心理」では、卒業までに数度の合宿形式の現地教育などを行うため、放送科目の理解度・満足度も増すのではないかと思われるが、今回はその関わりまでは残念ながら尋ねることはできなかった。「教育開発」も、理解度は同様に高いものの、満足度では 0.2 以上水をあけられている。一方、ここでも「政策経営」の理解度・満足度が低いのが気になる。

図29 大学院・性別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果

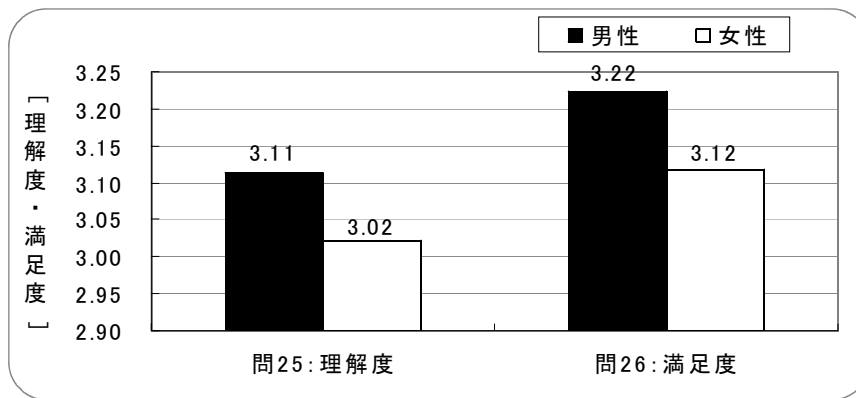
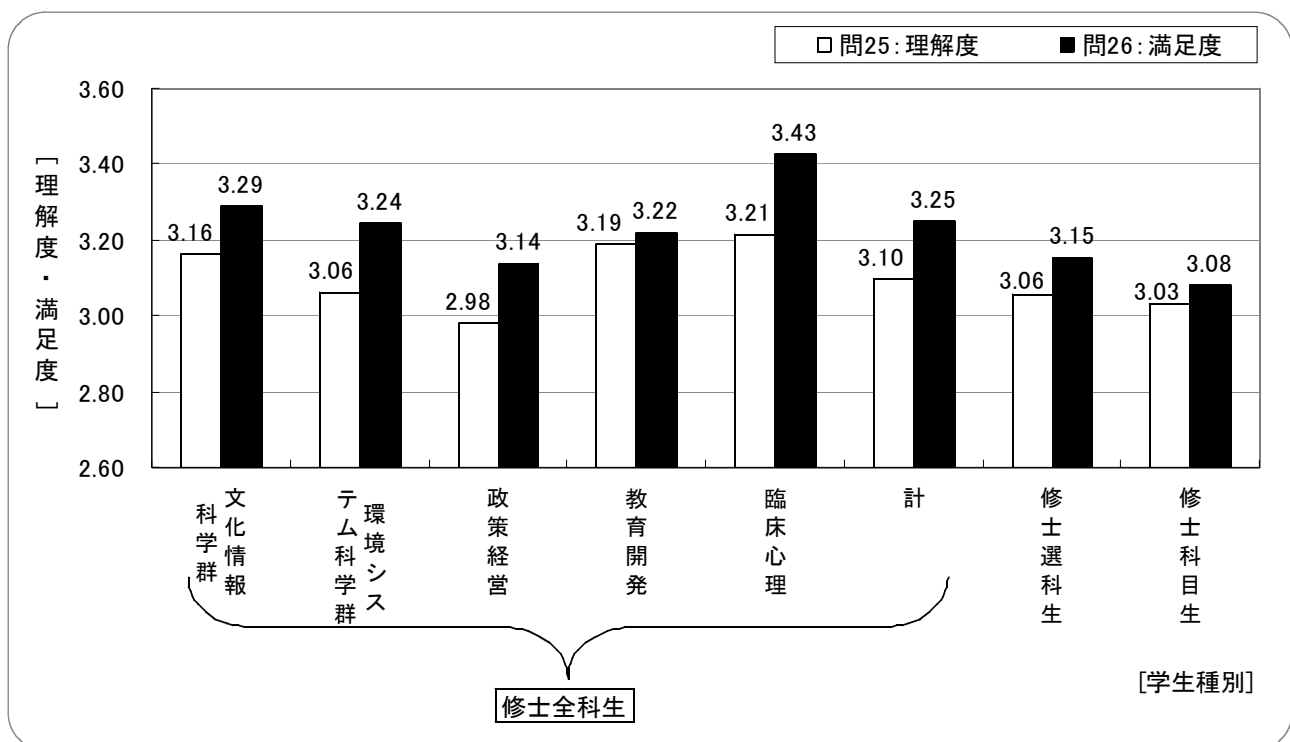


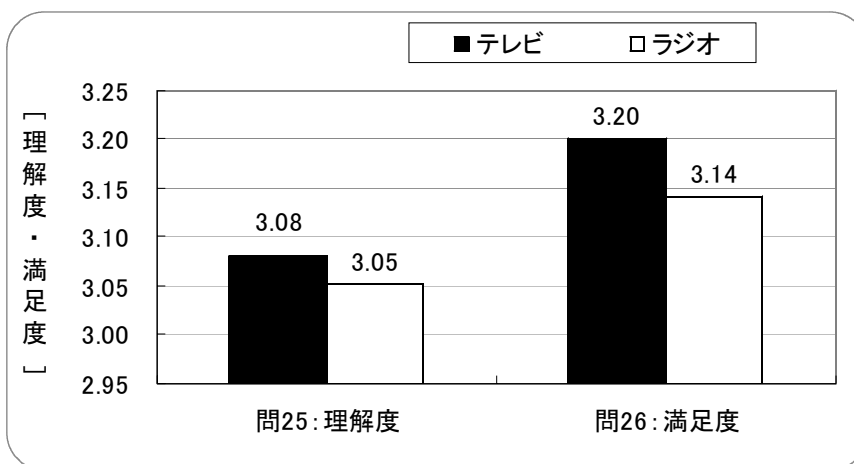
図30 大学院・学生種ごとの問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



(4) 科目特性との関連

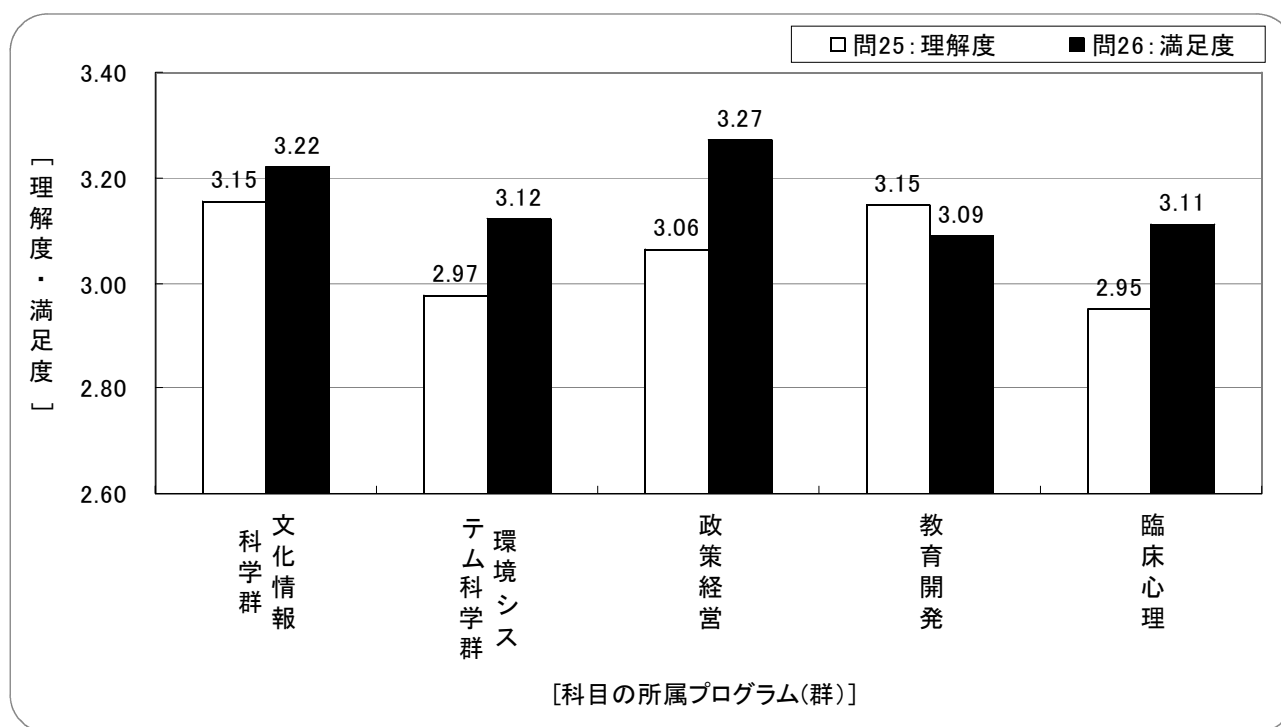
最後に、メディアと科目の所属プログラム（群）別に理解度・満足度を見ていく。まず、メディア別に問25（理解度）、問26（満足度）の関係を表したものが図31である。理解度・満足度ともにテレビ科目のほうがラジオ科目よりもやや上回っているが、その差は学部科目ほどではない（理解度の差は学部0.28に対して大学院0.03、満足度の差は学部0.23に対して大学院0.06）。学部比べ、より内容的な関わりで理解度・満足度を判断するということであろう。

図31 大学院・メディア別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



次に科目の所属プログラム（群）別に注目しよう。問25（理解度）、問26（満足度）を科目の所属プログラム（群）別に示したものが図32である。

図32 大学院・科目の所属プログラム（群）別問25（理解度）、問26（満足度）の評価結果



まず理解度に注目して見てみると、図30の学生の種別でも値の高かった「教育開発」と「文化情報科学」の科目平均が図32の科目の所属プログラム（群）別においても高い一方で、「臨床心理」と「環境システム科学」では低いことがわかる。とりわけ、学生の種別で評価の高かった「臨床心理」の値が低いことは注目すべきであろう。一方、満足度に関しては、いっそう特異な傾向を見ることができる。学生の種別ではあらゆる評価で低位であった「政策経営」の満足度が図32では、最も高くなっているのである。あえてその結果の意味を表現するならば、「政策経営」では、学

生に理解され、満足される科目を提供しているが、その所属学生の理解感、満足感は必ずしも高くはない、ということになるのか。非常に興味あるパラドックスであると思う。

Ⅲ 自由記述のまとめ

Ⅲ-1 総括

授業評価調査票の裏面は、自由記述欄とフェースシートで構成されている。平成17年度の試行においては、その回答率の高さと内容の重要さに鑑みて、従来は有効にまとめられることの少なかった自由記述部分についても、その頁を複写したものをそのまま主任講師に提供するだけに止めず、総括的なまとめを行った上で、積極的に体系化して表現するよう努めた。今年度も、その方針はそのまま踏襲することとし、以下のようにその記述内容を概括的に把握することとした。

表 1 および表 2 に示すように、自由記述部分への回答率は非常に高い。とりわけ「よかった点」に関しては、ほぼ 4 人に 3 人が回答を寄せていることがわかる。

表 1 学部・全回答者に対する自由記述欄回答数と回答率 (%)

全回答者数		全回答者数に対する回答率 (%)					
3,078		よかった点		改善点等		意見・感想	
		73.5		58.7		61.3	
自由記述の属性別回答者数・回答率							
属性		よかった点		改善点		意見・感想	
		回答者数	回答率 (%)	回答者数	回答率 (%)	回答者数	回答率 (%)
属性		2,262	100.0	1,808	100.0	1,887	100.0
学生種別	生活と福祉	287	12.7	206	11.4	245	13.0
	発達と教育	370	16.4	278	15.4	303	16.1
	社会と経済	373	16.5	321	17.8	312	16.5
	産業と技術	61	2.7	56	3.1	54	2.9
	人間の探究	446	19.7	352	19.5	368	19.5
	自然の理解	104	4.6	100	5.5	99	5.2
	選科	412	18.2	331	18.3	334	17.7
	科目	144	6.4	112	6.2	111	5.9
	NA	65	2.9	52	2.9	61	3.2
性別	男性	970	42.9	830	45.9	814	43.1
	女性	1,178	52.1	885	48.9	974	51.6
	NA	114	5.0	93	5.1	99	5.2
年齢別	19歳以下	12	0.5	11	0.6	11	0.6
	20歳代	216	9.5	189	10.5	168	8.9
	30歳代	385	17.0	328	18.1	329	17.4
	40歳代	425	18.8	326	18.0	349	18.5
	50歳代	478	21.1	368	20.4	395	20.9
	60歳代	490	21.7	383	21.2	412	21.8
	70歳以上	215	9.5	167	9.2	186	9.9
	NA	41	1.8	36	2.0	37	2.0
職業別	公務員等	171	7.6	144	8.0	137	7.3
	教員	62	2.7	53	2.9	51	2.7
	会社員	285	12.6	258	14.3	246	13.0
	個人・自営	144	6.4	116	6.4	131	6.9
	農業等	17	0.8	14	0.8	19	1.0
	看護師等	282	12.5	181	10.0	235	12.5
	家事専業	264	11.7	193	10.7	219	11.6
	パート等	241	10.7	197	10.9	195	10.3
	他大学学生	30	1.3	27	1.5	22	1.2
	無職	577	25.5	464	25.7	466	24.7
	その他	139	6.1	121	6.7	120	6.4
	NA	50	2.2	40	2.2	46	2.4

表2 大学院・全回答者に対する自由記述欄回答数と回答率 (%)

全回答者数		全回答者数に対する回答率 (%)					
1,589		よかった点		改善点等		意見・感想	
		77.3		58.1		64.3	
自由記述の属性別回答者数・回答率							
属性	よかった点		改善点		意見・感想		
	回答者数	回答率 (%)	回答者数	回答率 (%)	回答者数	回答率 (%)	
属性	1,229	100.0	924	100.0	1,021	100.0	
学生種別							
文化情報科学群	141	11.5	108	11.7	113	11.1	
環境システム科学群	113	9.2	89	9.6	83	8.1	
政策経営	70	5.7	54	5.8	63	6.2	
教育開発	24	2.0	20	2.2	23	2.3	
臨床心理	18	1.5	15	1.6	13	1.3	
選科	654	53.2	479	51.8	550	53.9	
科目	158	12.9	123	13.3	145	14.2	
N A	51	4.1	36	3.9	31	3.0	
性別							
男性	705	57.4	531	57.5	598	58.6	
女性	432	35.2	324	35.1	346	33.9	
N A	92	7.5	69	7.5	77	7.5	
年齢別							
19歳以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
20歳代	59	4.8	49	5.3	48	4.7	
30歳代	189	15.4	143	15.5	165	16.2	
40歳代	315	25.6	234	25.3	258	25.3	
50歳代	287	23.4	209	22.6	231	22.6	
60歳代	222	18.1	174	18.8	187	18.3	
70歳以上	130	10.6	96	10.4	113	11.1	
N A	27	2.2	19	2.1	19	1.9	
職業別							
公務員等	169	13.8	112	12.1	133	13.0	
教員	221	18.0	144	15.6	174	17.0	
会社員	205	16.7	170	18.4	189	18.5	
個人・自営	97	7.9	82	8.9	83	8.1	
農業等	10	0.8	7	0.8	7	0.7	
看護師等	34	2.8	23	2.5	20	2.0	
家事専業	91	7.4	67	7.3	69	6.8	
パート等	74	6.0	66	7.1	67	6.6	
他大学学生	9	0.7	8	0.9	6	0.6	
無職	180	14.6	137	14.8	153	15.0	
その他	111	9.0	89	9.6	101	9.9	
N A	28	2.3	19	2.1	19	1.9	

その結果、今年度も大量の文字型情報が集積されることとなった。そのまとめは、昨年の試行同様、一部分だけをサンプルとして抽出し、それを示して全体を推測してもらうという手段はとらず、さまざまな言葉遣いで多様に回答している自由記述から、表3のような形で語句を置換して整理した上で重要語句を抽出し、その比率を求め、比率の高いものから検索してそこから代表性のある記述を抜き出す、という手順で総括することとした。

表3 自由記述部分(改善点等)の重要語句の置換 (一部例示)

重要語句の置換例

置換前	特にない 特にありません 改善すべき点はない 改善すべき点を感じません 改善すべき点はありません これでよい 特になし	講義内容 内容 講義 話題 テーマ	よい 良い よかった すばらしい	単位認定試験 試験 テスト 再試 記述式 択一式 マークシート 併用式	通信指導 添削 通信	印刷教材 本 教科書 テキスト	放送授業 授業 放送教材 放送	図表 模型 表 写真 数式 グラフ データ 資料 年表 図版 絵 地図 パターン 関連図 参考文献	説明 解説
置換後	特になし	講義	よい	試験	通信指導	印刷教材	放送授業	資料	説明

重要語句の置換例

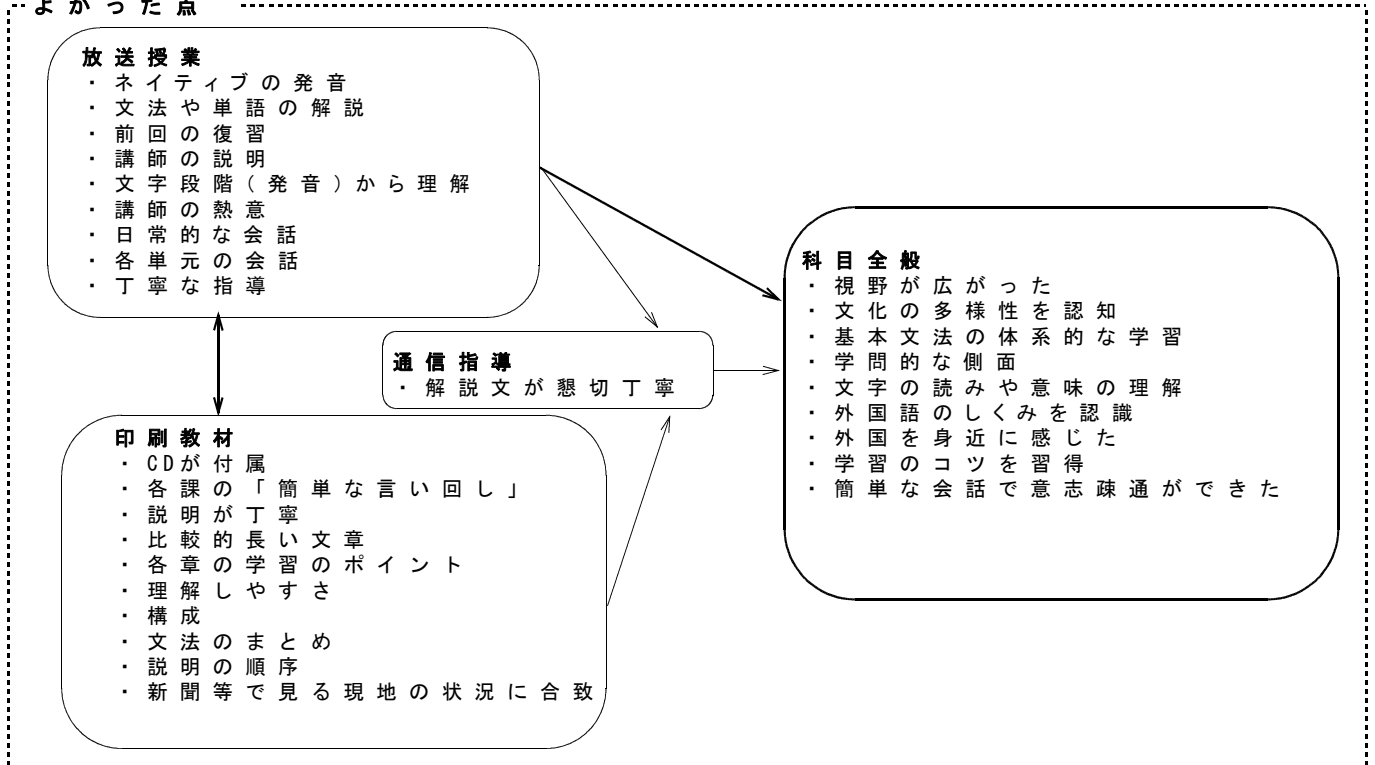
置換前	わかりづらい 理解しきれない 複雑 難解 難しい わかりにくい 理解できない 難しすぎ 理解出来ない むずかしい 意味不明 理解不足	講師 先生 教授 主任教授 主任講師 教師	棒読み 朗読 棒読 原稿読み 読んでいるだけ 読むだけ 読み上げているだけ 丸読み	専門用語 用語 重要語句	ラジオ R 音声	具体的 実例 演奏例 例題 解答例 くわしく 詳しく	テレビ 映像 TV	しゃべり 早口 発音	理解しやすい わかりやすい 納得 易しすぎる やさしい 簡単 平明
置換後	難しい	講師	棒読み	専門用語	ラジオ	具体的	テレビ	しゃべり	やさしい

その結果、自由記述中の「よかった点」「改善点」「教育システムへの全般的評価」等に関して、出現頻度の高い重要語句が得られた。それらの語句を組み合わせ、たとえば、「印刷教材」と「難しい」という語句の含まれる記述を検索する、「講義」と「印刷教材」と「棒読み」という語句の含まれる記述を検索する、といった手順により、数千の記述の中から一定の傾向を持った一団の回答を抽出することができたのである。もちろん、日本語の特性として、例えば「講義はよくある印刷教材の棒読みではなかった」といった記述がヒットすることも少なくない。そのような場合、最終的には実際に文字を読んで判断せざるを得ないことは事実である。しかし、ほんの一部の標本を読んで推測する場合に比して、格段に妥当性と効率が上昇したことは間違いのないところであろう。

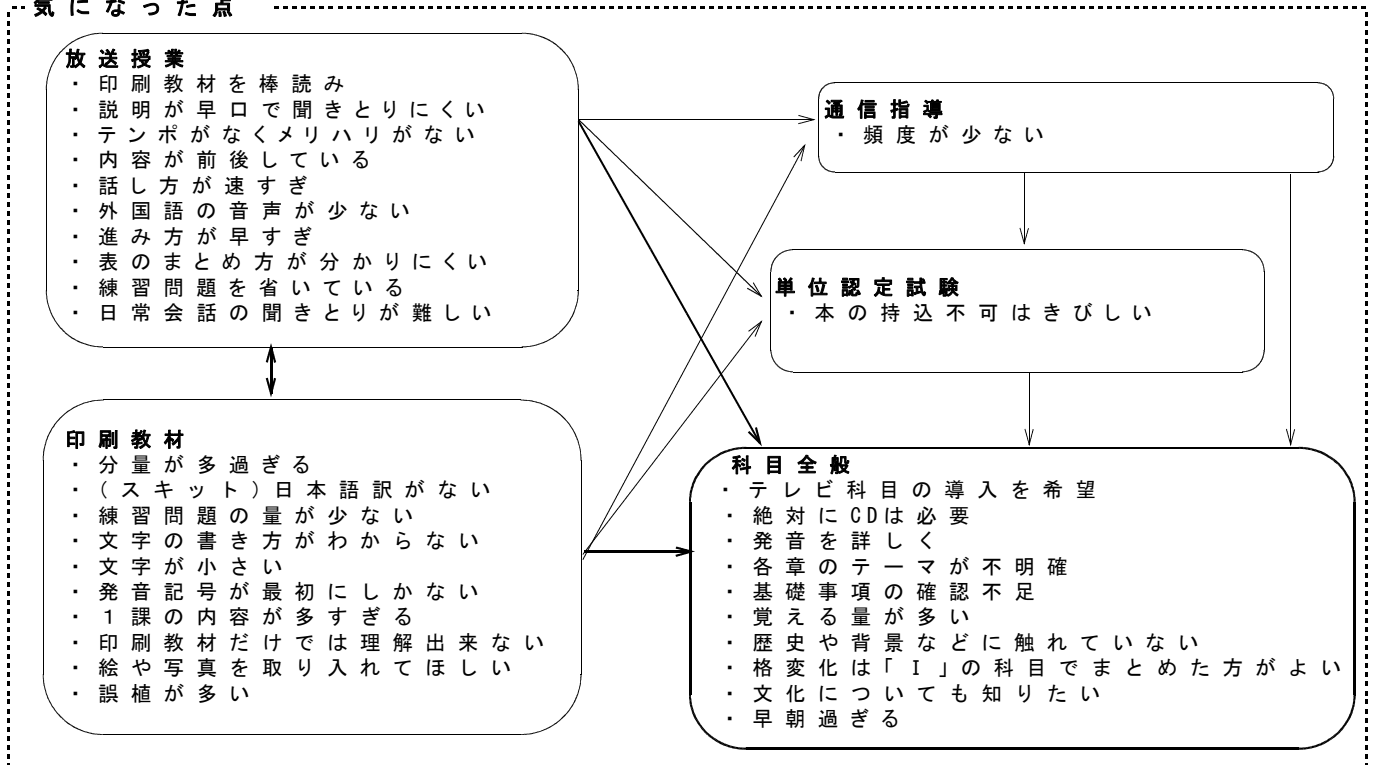
そのようにして、頻度の高い記述から順に選択した種々の意見を、科目所属専攻等の別に分け、①受講科目のよかった点、②受講科目の気になった点、そして、③改善に向けての提案や要求、という3グループごとに分けてチャート化したものが、次頁以降の図である。図には簡単な回答内容の要約を示したが、それに続く記述の頁にはそれぞれの具体的な回答の例を掲げてある。

外国語科目

よかった点



気になった点



改善点の提案

- テレビ科目に変更する。
- CDを付ける。
- 印刷教材にできるとだけ和訳をのせる。
- 話すペースを落としたり聞き取りやすくする。
- 外国人講師の発音練習を多くする。
- その言語を使用する国の文化や歴史にも触れる。

よかった点（外国語）

- 文法を中心とした解説が懇切丁寧で、非常によかったと思います。ことに一文字一文字について何回でも教えて頂き、大変有難かったです。お二人の先生で分担されていられたましたが、何れの先生も熱心に御指導下さいました。また、中国人の先生のお声もきれいではっきり分かりました。

（女性・70代以上）

- 何といっても副教材のCDが役立ちました。一通り授業を聴いた後は、印刷教材を見ながらCDを聞き、声に出して音読する方法を続けました。おかげで、単位認定試験の時は、問題文を目で追うと、その音が頭の中に聞こえてくるほどでした。今回で中国語の勉強はひと休みしようと考えていたのですが、もっと続けてみたくなり、「中国語Ⅲ」を来学期の科目登録に申請しました。

（女性・40代）

- この科目は、中国語入門Ⅰと合わせて中国語の初級文法を扱っていますが、文法をわかりやすく簡潔に説明しており、特に巻末の文法のまとめが、全体像を理解する上で有益だったと考えています。

（男性・50代）

- （市販の）他のロシア語教材に説明がない事項が、放送授業を聴いていてあったので良いと思った。

（男性・50代）

- 一般社会においてロシア語圏内の紹介等が少ないので。今はロシア語を学んで多少なりとも知る事が出来、未知の扉が少し開けたので良かったと思う。

（男性・70代以上）

- ロシア語の基本が少し分かったので、今後、旅行会話の勉強をするのに役立ちそうです。

（女性・20代）

- 今まで記号や顔文字を作るのに使用していたロシア語のアルファベットが、本当はどんな読みなのかがわかってよかった。

（女性・30代）

気になった点（外国語）

- 授業の進み方が早すぎ、詳しい説明がなく、「印刷教材を読んで下さい」が多かった。教授が早口であり、学生を指導していると言うよりは、自分だけで満足している感があったことは否めない。

（男性・60代）
- 練習問題が巻末に解答のみ書かれていたのですが、できれば放送授業の中で、なぜそうなるのかの理由を付けて解説していただければ良いと思います。

（男性・50代）
- 「外国語」は入門から上級編まで、全ての科目をTV放送にして欲しい。単語の発音は、やはりTVの画面（講師の口元の動き）をみて、習得出来れば良いと思う。ラジオ放送では、単語の読み書きは出来ても、会話（発音）で表現することが難しくなる。

（男性・30代）
- 初歩の語学科目は、テレビ科目とすべきだと思います。理由は、聴覚からだけではなく、話し方、発音のし方、表情などを目で見ながら学習の方が効果的と考えるからです。

（男性・50代）
- 各課ごとの練習問題のところに、巻末の答えのページが記載されていると使いやすいと感じた。

（女性・30代）
- 難しすぎる。分かりにくい。興味を引かない。テストも難しい。本の持込みがないのがきびしい。内容をもっと興味を引きつけ、使えるもの、身近なものにしてほしい（CD、DVD付きとか）。

（女性・30代）
- アルファベットに見慣れない文字があり、文字の形の見極めに苦労しました。テキストの初めに掲載されていた発音記号が間もなくテキスト上から消え、テープをくり返し聞いても全く消化されませんでした。

（女性・50代）

生活と福祉専攻科目

よかった点

放送授業

- ・主任講師による座談会
- ・真剣な雰囲気
- ・印刷教材内容以外の話
- ・CGや実験
- ・学習方法の教示
- ・説明の映像
- ・図表やグラフなどの解説
- ・映像によるイメージ
- ・親しみやすい話し方
- ・ポイントを押さえた講師の説明

印刷教材

- ・具体的な事例などの工夫
- ・内容の組立てに調べられる
- ・図表の読みやすさ
- ・辞書の用字が学習しやすい
- ・専門用語の注釈が豊富
- ・ドラマの患者のエピソード
- ・実際の不可解な題材
- ・必要不可欠な人間性を感じた

通信指導

- ・丁寧な説明

科目全般

- ・今まで知らなかった知識の獲得
- ・基礎知識が広がりやすかった
- ・視野が広がった
- ・知識が豊富になった
- ・看護師の試験に役立つ
- ・原因と対策を学べた
- ・今後への学習の進め方がわかった
- ・社員への安全衛生の指導に役立つ
- ・最新の情報の得られやすかった

気になった点

放送授業

- ・印刷教材をほぼ棒読み
- ・話し方が早い
- ・範囲が広すぎ45分では無理
- ・単調な話し方
- ・教材の順番と違う
- ・具体例の内容で見たい
- ・講師により内容の難易度が違う
- ・授業で使う図はすべて教材に記載すべき
- ・印刷教材の微妙なズレ

印刷教材

- ・ぶ厚い分量が多い
- ・難しい
- ・表現がわかりにくい
- ・図のミスが多い
- ・図表の空白が多い
- ・下段の図表は読み取りにくい
- ・イラストが重要ポイントがわかりづらい
- ・追補の字が小さい

通信指導

- ・2回にしてほしい
- ・印刷教材全体から出題

単位認定試験

- ・通信指導と内容が異なる
- ・問題数が少ない
- ・印刷教材が持ち込み不可

科目全般

- ・テレビの方が理解しやすい
- ・生の映像も必要
- ・専門語句は難解
- ・テキストが広い
- ・ポイントをしっかりと強調してほしい
- ・図解は本物のイメージから程遠い
- ・他の科目と重複する点がある
- ・発展の過程(歴史)のくだりが長い
- ・講師同士の経験の対話

改善点の提案

- 印刷教材の内容をコンパクトにまとめる。
- 印刷教材の図表や重要なポイントをカラー化する。
- 話し手は抑揚、テンポ、声の出し方を工夫する。
- テレビ科目を多くする。
- 現場の映像や具体例を多く放送する。
- 複数講師間の講義に連携をとる。

よかった点（生活と福祉）

- この授業で何度も泣いてしまった。この教科書は看護師として、人としての大切なことが全てつまっていると思った。今までいろんな参考書を読んだが、これほどまでに具体的で心から学んだ内容は他にはなかった。一生大切に使用していきたいと思います。

（女性・30代）

- 実際の患者さんのエピソードがかかれており、患者さんの気持ちや立場に立った看護のあるべき姿が学べて良かった。

（女性・20代）

- 通信指導が細かく、丁寧な説明で、とてもわかりやすく理解することができました。

（女性・30代）

- 仕事に直接役立つ内容であった。

（女性・30代）

- 最新の情報を得ることが出来た。放送大学の授業はつねに更新されるのがよい。特に後で送られた追加資料も大いに活用できた。

（女性・40代）

- 日常生活との関連性がわかり、役に立ちました。先生によってはとてもメリハリのある話し方と説明で、楽しく受講できました。

（女性・40代）

- 先生方が親しみやすい話し方だったので、本だけでは伝わらない部分が伝わり、とても良かった。

（女性・50代）

- 各回の講座の中に説明を映像にしてくれたものもあり、わかりやすかった。

（女性・30代）

- 学習方法や何を学習すべきかということをお教えいただいたので学習に入りやすかった。

（女性・40代）

気になった点（生活と福祉）

- ラジオ放送だったので、ただ単に聞いて終わってしまった感じであり、時々説明と印刷教材の進む場所がどこだか探すといった感じであった。やはり、テレビで画像があると理解しやすいと思う。

（女性・30代）

- 教材に載っていない言葉を先生が話されると、なかなか理解できない。ラジオなので音をはっきりしないとそこから読みとるのが困難。

（女性・30代）

- 放送授業が印刷教材をそのまま読んでいるようなところがあり、もう少し工夫してほしいと思いました。

（女性・50代）

- 是非、TVで放送して欲しいと思います。印刷教材もより深く掘り下げてあり良いのですが、面接授業で頂いたプリントはとても分かり易かったので、同じ様に歴史年表を載せたり、行政サービスなどを絵入りにして頂くとより理解がし易いと思いました。

（女性・30代）

- 印刷教材には記載されているが、放送では省いた部分は、何故省いたのか、講師の専門性や全体からみた重要度との関係等、話して欲しかった。

（女性・40代）

- 専門用語が多すぎて、医療関係者には分かりやすくても、素人から見ると何を言ってるのか、理解に時間がかかる。

（女性・20代）

- 分野の幅が広く、内容も難しく思った。必要な項目だったのでだろうが、理解するのに苦勞する箇所もあったため、教科書以外にも問題集のような教材が別にあったら勉強しやすかったと思う。

（女性・40代）

- 単調な話し方が子守り歌に聞こえてしまうことがあります。

（女性・40代）

発達と教育専攻科目

よかった点

放送授業

- ・ 具体的な例による説明
- ・ 現場の先生のお話
- ・ 事例の再現ドラマ
- ・ 対話形式講義
- ・ 内容を細かく説明
- ・ 著名講師など幅広い方々の講義
- ・ 単調すぎない
- ・ 臨場の現場を垣間見た
- ・ 身近な事柄

通信指導

- ・ 丁寧なコメント

印刷教材

- ・ 実践事例が多い
- ・ 内容が具体的
- ・ 訳注の説明
- ・ 分かりやすさ
- ・ 概念の理解
- ・ 長所、短所がまとまっていた
- ・ 実用性がある
- ・ 全体像が把握できる

科目全般

- ・ 見が広がりやすかった
- ・ 基礎が系統立ち理解しやすい
- ・ 仕事上役に立つ視座が分かった
- ・ 歴史的背景が分かった
- ・ 知見の公平な教授
- ・ 新しい知識が増えた
- ・ 考え方が変わった
- ・ 保育士試験の勉強に役立つ

気になった点

授業案内

- ・ 科目紹介内容よりも難しい

放送授業

- ・ ただ印刷教材を読んでいるだけ
- ・ 滑舌が悪く聞き取りづらい
- ・ 事例をもっと多く
- ・ 話し方がスピーディーが早い
- ・ 難しい言葉を使いすぎる
- ・ 印刷教材と内容が離れ過ぎ
- ・ 実際の映像やインタビューが少ない
- ・ 図表は消えるのが早すぎる
- ・ 生徒の叫びや声の聴きたい
- ・ 表情や言葉に工夫がない

通信指導

- ・ コメントが抽象的
- ・ 模範例を示してほしい
- ・ コメントがなんとなく冷たい

単位認定試験

- ・ 再試験に配慮してほしい

印刷教材

- ・ 索引がほしい
- ・ 分量が多すぎ
- ・ 学習課題が多すぎる
- ・ 写真や参考文献を載せたい
- ・ まとめ（1回）ごとにしたい
- ・ 1章（1回）ごしの資料が違った
- ・ 図表が理解しにくい
- ・ 放送授業と資料が多い
- ・ 欄外記載

科目全般

- ・ テレビ科目ながらもっとわかりやすい
- ・ 範囲が広すぎる
- ・ 専門用語に對するフォロワーがほしい
- ・ 教授する人数ではなく1人にすべき
- ・ 映像的な分野は概要のみ
- ・ 専門的なたんまりすぎ
- ・ 他山の石の内容がめんどろ
- ・ サブタイトルがあれこれ
- ・ 放送の時間帯を変えてほしい

改善点の提案

- 印刷教材は分量を少なくして索引を付ける。
- 可能な限りテレビ科目に変更する。
- 通信指導のコメントは具体的にす。
- 過度に専門的な分野は概要を話すにとどめる。
- 授業科目案内に難易度を示す。

よかった点（発達と教育）

- 新しい考え方や見方を知ることができた。そして、そのことで学習を継続していく必要性を再確認し、意欲が高まった。具体的な例によって説明されている部分が多く、わかりやすかった。

（女性・30代）

- この科目を受講しなければ、絶対知り得なかった内容について学ぶことができた。難しかったが、講義の内容そのものについては、意義深いものがあった。

（女性・40代）

- 生活する中で、様々な場面で心理学的に分析することによって、作業効率や安全性を高めることができるなど色々な角度から物事を把握し、解決していくという考え方を改めて学ぶことができたこと。

（男性・30代）

- 現場で働かれているカウンセラーの先生のお話が、先生本人の口から伺うことが出来たところが参考になりました。

（女性・40代）

- 著名な講師や色々な立場の方など、一人の講師の方だけではなく、幅広い方の講義内容となっていて大変よかった。

（女性・30代）

- 道徳授業の具体的な方法（理性、感性、行動）が実際の授業風景から詳しく学べました。

（女性・50代）

- 文部科学省の方針を押えるだけでなく、道徳教育の歴史や様々な知見を公平に教授し、受講者に（ある意味批判的意見も含めて）自分の考え方を持ってもらいたいという、教授の先生方の熱意が伝わってきて、非常に有意義な講義でした。

（男性・40代）

- 心理学の歴史など、今まで興味を持った事がなかったが、放送授業がおもしろく、興味を持てるようになった。印刷教材を読むだけでは、そうは思えなかったと思う。

（女性・40代）

気になった点（発達と教育）

- 滑舌が悪い人の放送授業は聞き取りづらいです。
(男性・30代)
- 提出課題（通信指導）で、レポートをどのように書けば良いかわからず、自分なりに考えて提出しても「内容がテーマに合っていないので教材の勉強をやり直せ」とのこと。どこをどうすれば良いのか具体的にわからない。勉強のやりようがない。模範例を示してほしい。
(女性・50代)
- テレビの映像をうまく使えていなかったと思う。教科書に書いてあることを放映するのも良いが、それでは映像としての特性があまりいかされていないと思う。
(男性・20代)
- 印刷教材に「索引」が無くて困った。用語を探す時に困る。
(女性・20代)
- ロールプレイングの回が多すぎる感がありました。しかも数回連続していたので見ているうちに正直飽きてきました。2回位は連続しても良いですが講義の回をところどころに差しはさんで頂きたいなと思いました。
(女性・30代)
- 欄外記載が多い。それが重要なことを記述していることもあり、本文にとり込むほうがよい。
(女性・40代)
- 印刷教材に、何度か同じことが書かれていると感じた。
(女性・60代)
- 放送(TV)でもっと写真や映像など、視覚的に興味の広がるものにしてほしい。教授の顔がずっとうつっている必要はないと思う。
(女性・40代)

社会と経済専攻科目

よかった点

放送授業

- ・ポイントを絞った内容
- ・多角的な講師の解説
- ・担当講師の熱意に圧倒された
- ・落着いた雰囲気
- ・時系列で具体的な材料
- ・矛盾を教

通信指導

- ・解説が非常に丁寧
- ・課題が難しい
- ・古典に触れられた

印刷教材

- ・各章名が多用
- ・多面的にまとめた
- ・主要事例を文論で
- ・体系的に把握
- ・充実した内容

科目全般

- ・知識が身につく
- ・見方が多様な視点
- ・身近な問題がテーマ
- ・新聞・TV等でも得られない内容
- ・全問題意識を解き得た
- ・学問全体構造が理解できた
- ・専門的書を読み取れる
- ・思想の転換を促す

気になった点

放送授業

- ・教材を読んでいるだけの印象
- ・余りにも「エー」が多い
- ・もっと映像を活用してほしい
- ・話し方の強弱がない
- ・話の途中でどもりすぎ
- ・専門的過ぎて理解に苦慮
- ・印刷教材の資料を書き写す時間が短い
- ・45分の教材内容が多過ぎる

通信指導

- ・コメントの字がくずれていて読めない

単位認定試験

- ・ポイントがわかりにくい
- ・問題数が多すぎる
- ・印刷教材を使用可にして欲しい

印刷教材

- ・範囲が広すぎ
- ・文体的に多過ぎる
- ・全体的に多過ぎる
- ・専門用語が多用
- ・主要判例が現代的
- ・原文の少
- ・字

科目全般

- ・事例やインタビューをもっと
- ・専門的過ぎる解説をほしかった
- ・講師の語りすぎ
- ・各章とから深掘りしてほしい
- ・主題が重複している
- ・他の科目と重複の講座が欲しい
- ・入門レベルの講座の改善
- ・ラジオ科目の時間

改善点の提案

- 事例紹介やインタビューを多くする。
- 話し手は抑揚、テンポ、声の出し方を工夫する。
- 専門的な話題には詳細な解説をすく。
- 通信指導のコメントは丁寧に書く。
- 初歩的なレベルの講座を設ける。

よかった点（社会と経済）

- 様々な事柄・物事を見たり聞いたりする時の見方・考え方が変わった（視野が広がった）。
(女性・30代)
- 法律の解釈って、ウラのウラがあると気づいた。「明文改憲」「解釈改憲」が起る根源がわかり、文章の読み方がわかった。
(女性・60代)
- 印刷教材は、同一テーマの他書とは明確に「差別化」がなされており、切り口が独創的・斬新的であった。
(男性・40代)
- 「印刷教材の棒読み、重複」が、大変すばらしかった。これらは否定的にとらえられるが、法学の理解には法令の条文の暗記が欠かせない。音声を繰り返し聞くことで、正確な理解につながった。
(男性・30代)
- 通説判例と著者のとる学説が明確に分けて示されている点。
(女性・40代)
- 経済を図表、数学で解いていくことを学びました。
(男性・60代)
- 経済学を学ぼうと視野を広げ、今までとは違う焦点、論点を見出すことができたと思います。経済学の他の科目での理解不足な点等を補ってくれたと実感しました。
(男性・30代)
- 講師の口調に活気があり、気持ちが引き締められた。明確で説得力のある語りだった。
(男性・30代)
- 民族・宗教・政治と非常に重いテーマを、報道活動の専門家の実体験をしたゲストとの講義の進行は、問題点を理解するのに役立った。現地の音楽テープは、人々の一般的な生活を反映していると思っているので、文字や文章にない感情が伝わる効果があって良いと思った。
(女性・60代)

気になった点（社会と経済）

- 画面には先生の姿が写っていても、先生はずっと下を向き書類を読んでいる。そうすると私も印刷教材を見続けてしまい、時々画面に写真や説明が出てきても気付かない。せつかくのテレビ放送なので、もっとその環境を活用して欲しい。

（女性・40代）
- 放送授業中、画面上の資料を書き写す時間が短く、ビデオをとらないと解りません。教科書にない資料の場合は長く画面に出して欲しいと思います。

（女性・50代）
- 共通科目なので、入門のレベルの講座が欲しかった。

（男性・20代）
- ただ早口で台本（教材）の棒読みでは「放送」の意味がない。受講生の理解の助けにはどこをどの様にどのレベルで解説すれば理解に効果があるかを考えて再検討してほしい。

（男性・60代）
- 学問用語特有の言葉の意味が初心者には理解しにくい。それと図の意図するところが理解できない。注釈を出来るだけ多く掲載して初心者が取り組みやすい教材にしてもらいたい。

（男性・60代）
- 内容の理解のためには図や動画が必要なのに、なぜラジオの講義なのか理解できない。

（男性・50代）
- 放送授業と印刷教材の内容が重複のないように工夫されていましたが、授業の内容が広範囲に及ぶこともあり、もう少し放送授業が印刷教材の理解を補助する内容でも良かったのではと思います。

（男性・30代）
- 引用文が文語文で、更に古語もふんだんに使われていて理解できない。一部の引用文でもよいから口語訳して解説してほしい。

（男性・60代）

人間の探究専攻科目

よかった点

放送授業

- ・ ゲストとの対談
- ・ 講師の熱意と誠意
- ・ 上手な朗読
- ・ 穏やかな口調
- ・ 映像が教材に浮かぶ話し方
- ・ 印刷師のときの方の提起
- ・ 教室で講義のしやすさ
- ・ はっぴーな音
- ・ 絵

印刷教材

- ・ 現代語訳の工夫
- ・ 引用文・注釈の工夫
- ・ 分量が多い
- ・ 写真等が豊富
- ・ エピソードの挿入
- ・ 多面的な視点
- ・ 順序立てて理解
- ・ 変遷の理解

科目全般

- ・ 視点や思考方法
- ・ 新しい知識
- ・ 最新の考え方
- ・ 個別の切り口
- ・ 色々の学問の幅
- ・ 理解・解釈・観
- ・ 人考え
- ・ 視点を広げたい
- ・ 概念のわりがり
- ・ 視点が広がり
- ・ 視点が広がり
- ・ 視点が広がり

気になった点

放送授業

- ・ 棒読み授業
- ・ 事例が少ない
- ・ 図を使わずに要点をまとめてほしい
- ・ 講師の熱意を示してほしい
- ・ 話した方が速く出てくる
- ・ 抽象的・あいまいな表現が多い
- ・ 図式・見取り図を増やしてほしい
- ・ 図が分りにくい

通信指導

- ・ 難しい
- ・ コメントの字が解読しづらい
- ・ 記述式にしてほしい

単位認定試験

- ・ テキスト持込にしてほしい
- ・ 試験終了後に問題がほしい
- ・ 出題には偏りがある

印刷教材

- ・ 内容量の多すぎ
- ・ 索引の必要性を痛感
- ・ 文章の多用が表現が硬い
- ・ 専門用語が難解
- ・ 描写が難解
- ・ 各章の表紙が重複
- ・ 文書の表紙が解りづら
- ・ 時代別の表紙を付ければ理解し易い
- ・ 側注の数字やマークが小さすぎる

科目全般

- ・ テレビ番組の方がより良く理解できる
- ・ 範囲が広すぎるとあんなに良かった
- ・ 分業担当はあつた
- ・ 基礎編と応用編の二部構成の方がよい
- ・ あらゆる本を知らせてほしい
- ・ 各章のトータルが重複
- ・ タイトルが専門的
- ・ テーマを絞ってほしい

改善点の提案

- テレビ番組に変更する。
- 各回のテーマを絞る。
- 印刷教材の文章は平易にする。
- 専門用語をできるだけ少なくする。
- 話し手は滑舌に注意する。
- 単位認定試験では適切な出題をする。

よかった点（人間の探究）

- ふだん考えたこともないテーマについて、世界で主流となっている考え方を
知ることができたことで、少しだけ視野が広がったような気がします。
(女性・50代)
- 生命の倫理について最新の考え方が理解できた。
(男性・50代)
- 担当講師の熱心な話しぶりに、ついつい引き込まれる思いで聴講させて頂
きました。印刷教材も順序立てて論理的によく書かれており、今後の学習に
も十分に活用して行きたいと思っています。
(女性・40代)
- 小説（第5章～11章）は、音声も聞きやすく、内容も章毎にまとまってい
て、授業にひき込まれ、集中できました。
(女性・60代)
- 映像が浮かんでくる様な話し方をして下さっていてすごく良かったです。
(女性・20代)
- 全体を通して年代別、ジャンル別に分かれていて理解しやすかったと思
います。
(女性・70代)
- 時代ごとの日本語の姿を把握することができて、非常に有意義であったと
思います。特に、各時代の日本語研究を専攻されている教授陣による執筆は、
他に見られないものだと思います。
(男性・70代)
- 知識の修得にとどまらず、仏教の歴史、思想を通じ自らの生き方、「生命」
のとらえ方などに示唆を得たこと。
(男性・40代)

気になった点（人間の探究）

- この科目に限らないが、特にラジオの場合は印刷教材と放送授業の内容がほぼ同じなので、放送授業を聴かなくなってしまう。話し方も印刷教材を読むという雰囲気ではなく、生のことばでしゃべってほしい。
(女性・50代)
- 索引がついているともっとよかったですと思いました。
(女性・30代)
- 倫理学とは何かという基礎的な部分と、人工授精などの生命操作における、個別具体的な状況での倫理学とが混在していた点。基礎編と応用編の完全二部構成の方が、わかりやすいと思いました。
(男性・30代)
- 図式・見取図をもう少し増やして欲しい。
(男性・20代)
- 抽象的・あいまいな表現や言葉づかいが多かった。難しい哲学の本でも読んでいるかのような感じで、何を述べているのかわからないところが多かった。現在、私達が普段使っているような話し方を希望します。
(女性・20代)
- 通信指導の字が解読しづらくて困りました。
(女性・20代)
- 放送で教材を飛ばす時、ページ数などを指摘して頂けるとありがたい。
(女性・50代)
- 文章による説明を補うような図解がもう少しあっても良かった。
(男性・60代)
- 人名・地名等多く出るため、映像の方がイメージしやすいように思います。
(男性・20代)

自然の理解専攻科目

よかった点

放送授業

- ・各回の最後のお話のまとめ
- ・雑学的な内容を取り上げ
- ・初心者のための取り上げ
- ・新規事項の状況の説明
- ・最近の方法と教材のバランス
- ・印刷

通信指導

- ・コメントで参照ページを指示

印刷教材

- ・具体例での説明
- ・分量が多い充実
- ・証明用例の学習のヒント
- ・専門的な用語の解説
- ・様々なタイプの問題
- ・基礎的な記述
- ・新しい

科目全般

- ・視野の広がり
- ・新しい数学的考察
- ・身近な現象の理解
- ・全体的な流れの把握
- ・根本的な考え方の再認識
- ・職場で必要となる知識
- ・自然現象のモデルで説明
- ・自然現象のモデルで説明
- ・自然現象のモデルで説明

気になった点

科目案内

- ・必要な数学のレベルを示すべき
- ・内容を詳細に書いた方がいい

放送授業

- ・教科書をまわす読み
- ・聞き取りにくい
- ・CGを取り入れるなどしてほしい
- ・図解が少なすぎる
- ・余談が欲しい
- ・式の意味を詳しく解説してほしい
- ・具体的な身近な例をあげてほしい
- ・専門用語の多すぎは時間の浪費
- ・放送と教科書の図を同一にしてほしい

印刷教材

- ・人物数が多い
- ・分量が多い
- ・かなりレベルが高い
- ・絵や写真を掲載してほしい
- ・式に省略が多い
- ・例題に対する答が簡潔過ぎ
- ・もう少し要約してほしい
- ・年表を付録すべき
- ・時代の流れが前後していた
- ・放送授業との整合性がとれていない

科目全般

- ・テレビ放送の方が良いのでは
- ・基本科目と内容は浅すぎる
- ・人名が多すぎる
- ・内容が多すぎる
- ・細部に入り過ぎ
- ・基礎的事項の説明を詳しく
- ・アウトライン的な説明もほしい
- ・数式の変形や展開を詳しく
- ・副読本的や補助教材が欲しい

通信指導

- ・説明をもっと詳しく記載してほしい

改善点の提案

- 科目案内で受講に必要な基礎学力を周知させる。
- できればテレビ科目に変更する。
- CGを有効に活用する。
- 数式の変形や展開を詳述する。
- 図解などで式の意味を明解にする。
- 放送授業と印刷教材の整合性をとる。

よかった点（自然の理解）

- 通信指導の解答コメントに「○章の○ページを見る」と書いてあったので、教科書を読みかえす工夫がされていると思った。

（女性・10代）
- 学校で習ったような生物の知識につながる、さまざまな説の論争がありおもしろかった。また、章の最後に放送では「まとめ」として、その章をふりかえることでよりよく理解できた。

（不明・不明）
- 職場での統計解析に役立つと思う。

（男性・30代）
- 通信指導のコメントで、この科目だけでなく挫折しかけた学習意欲をもちなおすことができた。この科目を受講したからできた体験であり、よかったと思う。

（男性・40代）
- 現象を客観的にとらえることで、数式で示すことができれば、真の現象が再認識されるとともに、新たな発見のあることが判った。

（男性・40代）
- 普段基礎数学（微積や線型代数）を勉強して、何の役に立つのかわからないうでいたが、この科目のような応用数学で利用されていることがわかった。ただ、そういった基礎がないと十分に理解できないように感じた。

（男性・30代）
- 統計学の中級の入り口から新しいトピックまでながめることができたのは良かった。テキストも詳しく書かれていたので、長く活用できそうである。

（男性・30代）
- 印刷教材が分量をたっぷりとってあって、証明等も充実していてよかった。座右に置いておきたい本である。

（男性・50代）

気になった点（自然の理解）

- ラジオでは説明しきれない点が多く感ぜられた。特に最近の話題については、ラジオの限界を感じた。

（不明・60代）
- 一つの学問の歴史を一冊の本にまとめるのは、やはり少し無理というか、広く浅くという感じがした。

（男性・50代）
- 印刷教材で省略している証明・解法等について放送授業で言及してもらえるとありがたい。

（男性・50代）
- 例題に対する答が簡潔過ぎて、わからなかった。基礎の割には難しく感じました。ラジオではなく、テレビで数字等を書きながら説明して欲しかった。

（女性・40代）
- インターネットなどで学習のフォローをもっとしてほしい。

（男性・20代）
- 受講科目の順番を指導して下さい。

（男性・70代）
- 印刷教材には関連知識や発展的内容を盛り込んでもう少し充実させて欲しい。

（男性・50代）
- 公式の導出、式の変形をもう少し詳しく印刷教材に示して欲しかった。

（男性・70代）
- 印刷教材はもう少し簡単な事例で、図や表、計算事例などをもり込んだ内容にしてほしかった（文字が多すぎるのと、本が厚すぎた）。

（男性・40代）

改善するための提案（学部の全専攻を通じて）

放送教材(テレビ)に関して：

- もっとわかりやすく、図を使ったり、要点をまとめてほしい。
(男性・20代)
- 放送授業中、画面上の資料を書き写す時間が短く、ビデオをとらないと解りません。教科書にない資料の場合は長く画面に出して欲しいと思います。
(女性・50代)
- 印刷教材を読み上げているだけで分かりづらい。具体的な事例などを用いて説明して欲しい。
(男性・20代)
- TV放送の方が学習しやすいと感じました（TV放送の方を増やしてほしいです）。
(女性・不明)
- 講義が淡々としていたのが気になります。テレビの画面を活用してほしいと思いました。
(女性・60代)

放送教材(ラジオ)に関して：

- この科目に限らないが、特にラジオの場合は印刷教材と放送授業の内容がほぼ同じなので、放送授業を聴かなくなってしまう。話し方も印刷教材を読むという雰囲気ではなく、生のことばでしゃべってほしい。
(女性・50代)
- 放送大学の授業は全てテレビにしてほしい。映像のある方が理解しやすい。
(女性・50代)
- 印刷教材のくり返しでなく、各々のエピソードや、文章にできないものなどを放送してほしい。
(女性・50代)

- 早口な講師の方がいらっしゃるので、聞きづらい時がある。学生と一緒にする時は、学生の話し方もわかりやすくしてほしい。

(女性・60代)

印刷教材に関して：

- 索引のページを設けて欲しいです。用語を調べるのに便利です。
(男性・60代)
- 印刷教材にもう少し工夫が欲しい。写真などを入れると見る側もより見やすく、興味深いものになると思う。
(女性・20代)
- 難しい用語には、注釈をつけて欲しい。
(男性・60代)
- 各章に小問題を作成し、解答と解説を付けてほしい。
(男性・50代)
- 学生に必ず理解してほしいところを（ポイントなど）を太字などで強調していただけると良いと思う。教科によっては学習目標やキーワードなどを提示しているが、本文中にポイントやキーワードなどが強調されていれば、より理解が増すのではないかと思われる。

(女性・30代)

- 印刷教材をもっと詳しく説明してある副読本的、補助教材が欲しい。

(男性・60代)

通信指導に関して：

- 通信指導の設問をテキスト全体から出してほしい（テキストの後半はないので）。

(女性・30代)

- 通信指導のレポート形式の評価が合か否かわからないと、試験準備にとりかかる時間配分の段取りが狂ってしまう。早めに合否のわかる返し方をしてほしい。

(女性・40代)

単位認定試験に関して：

- 印刷教材の持ち込みを許可してほしいと思います。
(女性・30代)
- 復習、確認のため、解答を出して欲しい。
(男性・50代)
- 単位認定試験をもっと簡単にしてほしい。もしくは、持込可のものを増やしてほしい。
(女性・20代)
- 単位認定試験のあと、答案を返してほしい。手元に返って来て確かめて、はじめて勉強に成ると思う。切望します！！
(女性・50代)

その他：

- インターネットによる双方向の授業があればいいと思う。
(女性・20代)
- ラジオだけでなく、TV講座も期間限定でなく、学習センターがいつでも利用できる様に、ネットの利用を積極的にお願したい。
(女性・40代)
- 面接授業をもっとふやして欲しい。
(女性・60代)
- 放送大学は学生間同士の情報交換ができないので、もっと大学が情報開示をしてもらいたい。たとえば、単位認定試験問題の正答、受験者数、合格率（各科目ごとの成績分布）など。また、こういう意見を自由に言える投書箱のようなものを常時開設してほしい。
(男性・70代)
- 科目を履修登録する前に、印刷教材の難度、レベルがわかるよう、学習センターにサンプル（見本）を置いて欲しい。
(男性・50代)

文化情報科学群科目

よかった点

放送授業

- ・多分野にわたる研究者の出演
- ・巧みな話し方
- ・内容の講義の深さ
- ・中立的な講義事例と考え方
- ・各分野の熱意
- ・最新の研究成果の紹介
- ・フィールドワーク的なレポート
- ・海外取材の充実

印刷教材

- ・各章の「研究課題」
- ・各章の「研究へのヒント」
- ・様々なトピックス
- ・要点を具した説明
- ・例が参考文献の提示
- ・簡潔なまとめた内容
- ・小論文の書き方の学習

通信指導

- ・丁寧なコメント
- ・コメントの分量が多い

科目全般

- ・視野の広がりが受ける
- ・知事刺激の役割
- ・新しい知識をかきとる
- ・幅広い分野の視点から
- ・歴史の認識の点から
- ・外国情に立脚した視点からのまとめ

気になった点

放送授業

- ・教材の「棒読み」
- ・単調な語り
- ・映像資料が少ない
- ・話すスピードが速すぎる
- ・インタビューを入れた方が良い
- ・複数講師の説明が重複
- ・数式の説明が親切でない
- ・キーワードの提示がない
- ・授業の進め方に一貫性がない
- ・専門用語の解釈を丁寧に

印刷教材

- ・写真と図表が少ない
- ・難解な記述が多い
- ・重複する部分が多い
- ・厚すぎる
- ・参考文献が多すぎる
- ・表のタビがわかりにくい
- ・章の図表を示してほしい

通信指導

- ・コメントが不親切
- ・模範解答がほろい
- ・専門的すぎると内容を見て欲しい
- ・着想や視点など

単位認定試験

- ・授業内容との妥当性に疑問

科目全般

- ・テレビの教育効果が高まる
- ・最新の統計資料が少ない
- ・放送教材の印刷教材が同一
- ・講師が多岐にわたる
- ・講義の増加が足りない
- ・具休例のしやがえ方
- ・一貫した理論や考問
- ・問題設定が中途半端

改善点の提案

- テレビ科目を更にする。
- 話しやすいように棒読みを減らす。
- 難解な記述を避け、平易な表現を用いる。
- 最新の統計資料を多用する。
- 最新の統計資料を多用する。

よかった点（文化情報科学群）

- 毎回の課題を調べるため、週10冊程度、参考文献の中から選び、読み、非常に時間をかけて努力した。やる気のある人にはこたえられない講座だと思う。また、レポートのコメントも群を抜いて丁寧で細やかで、学習意欲を高めてくれたので、講師陣の諸先生に大変感謝している。大学院の講座らしかった。

（女性・40代）

- これまで受講した科目の中で、最も学習意欲が高まったものの一つです。フランス語と文学を中心としたフランスの文化を、「旅」というテーマによって結びつける興味深い内容を持つもので、通常なら取り組みにくい分野を楽しく学習できました。もっと勉強したいという気持ちになりました。

（女性・60代）

- 先進国と開発途上国との関連という巨視的な視点から、北欧、北米、日本国内などの国内問題まで、さらには先住民個々の内面へ、というマクロからミクロへのパースペクティブが非常にダイナミックであった。研究者のフィールドからの視点、特に個々の迷いや悩みなどの点も含め、学問としての全体像がとらえられた。

（男性・30代）

- メディアの作用について学んだことによって、平面的に見えていた世の中の動きが、奥行きを持って見えるようになりました。また、ますます情報化する社会で溺れない術（メディア・リテラシー）を学ぶことが出来たことが良かったです。

（女性・30代）

- 自分の仕事にかなり関係しており、業務上の理解や考え方が深まった。

（男性・40代）

- 日本語を材料として、日常の言語についての新しい視点を与えられた。特に、新方言と呼ばれる新しい現在進行中の言語変化と、やはり言葉との違い、又それが何を意味するのかが興味深かった。

（男性・40代）

気になった点（文化情報科学群）

- レポートの添削が、まるで初等教育の添削みたいで不満だった。着想・視点などの内容を見て欲しい。広辞苑記載の漢字表現まで直されたのには驚いた。

（男性・50代）

- テキストが共著であるということで、言い回し・表現が全体を通して統一されていない。通常の共著に比べて、統一感が著しく欠ける感じが強くて読みづらい。

（男性・50代）

- 印刷教材と同じ内容を話しているとしても、映像（見る・聞く）と印刷教材の（読む）とでは感覚は別もの。全く違う内容になると、学習する量と学習時間を確保するのがむずかしくなると思う。

（女性・70歳以上）

- もっとテーマを絞って欲しい。体験の羅列ではなく、一貫した論理や考え方を示してもらえたら、もっと理解しやすかったと思う。

（女性・40代）

- 少数の例でもよいから、個別の具体的な問題について、もう少し突っ込んだ分析例が欲しい。

（男性・50代）

- もう少し統計資料（最新の）が多いとよいと思う。

（男性・50代）

- 通信指導のコメントが丁寧ではない。明確に良かった点、改善すべき点を述べてほしい。「よく書けています」程度のコメントではせっかく記述式にしても、自分の記述能力の向上にはつながらない。

（女性・20代）

- ラジオ講座は映像の助けがないからこそ、一層伝え手には創意工夫が求められると思う。

（女性・30代）

環境システム科学群科目

よかった点

- 放送授業**
- ・ 現地の映像対話や討論
 - ・ 講師の熱意調査の紹介
 - ・ 最新実験場での映像インタビューの整合性
 - ・ 実現場印刷体的な説明
 - ・ 各講師の個性

- 印刷教材**
- ・ 各章の「研究課題」の整理に役立つ
 - ・ 構成考文献の紹介
 - ・ 基本的、基礎的な内容
 - ・ 学術的、な裏づけ
 - ・ キーワードの抽出
 - ・ イラストでの説明
 - ・ 最近のテーマ
 - ・ 歴史の記述

科目全般

- ・ 視野の広い研究の概況を把握
- ・ 最先端の役割の獲得
- ・ 最新仕事の知識の受予の参考
- ・ 数新学的論文や現況の認識の獲得
- ・ 修歴実生の活分野と関連性の理解

気になった点

- 放送授業**
- ・ 表情が硬く話を増やしてほしい
 - ・ CGの映たどどしい
 - ・ 数式の変形の仕方を画像で見たい
 - ・ インタビュー形式の映像が少ない
 - ・ 討論や実習の良さや迫力が伝わらない
 - ・ 実験や実習の観察的要素を加えてほしい
 - ・ イメージの文字が読みにくい
 - ・ 視覚的機能を活用してほしい

- 印刷教材**
- ・ 研究課題に触れてほしい
 - ・ 分量が多い系列がバラバラ
 - ・ 記号の意味をよたよた
 - ・ 索引が複雑で見つけにくい
 - ・ 重力が一分野切
 - ・ 不適切な記述の箇所がある

授業科目案内

- ・ 必要な化学知識を明示してほしい
- ・ 化学知識が必要という記載がない

単位認定試験

- ・ 正解の解説がない
- ・ 問題数が時間の割には多い

科目全般

- ・ テレビの良方が多い
- ・ 範囲が広い方がよい
- ・ 実例が少ない興味を惹く工夫がほしい
- ・ 学習者が豊かになる工夫がほしい
- ・ 一貫性が豊かすぎる比較検討すべき
- ・ 課題等が豊富で内容が相違
- ・ 科目名が一方的

改善点の提案

- テレビ科目を多くする。
- 話し手は表情や話し等の注意を。
- 視覚的機能（CG等）を活用する。
- テーマを絞る。
- 実験等履修者の注意を。
- 授業科目案内には、多用科目を提示する。

よかった点（環境システム科学群）

- ラジオ放送での印刷教材の正しい読みあわせは、非常に役に立った（これを重複と解釈していない）。
(男性・60代)
- 数学という世界の一端を垣間見ることができたような気がします。結論が先にあり証明は後から、そして真実の一端を示す数式は美しいのだという、今まで聞いたこともない展開に、驚きと感動を覚えました。また、通信指導の問題が解けたかもしれない、と思った瞬間には、その数学の世界が一瞬見えたような気がしました。
(男性・40代)
- 最新の学識を、テレビの画像、映像を通して学べたこと。
(男性・30代)
- 講師自身のフィールドワークの成果の話は貴重であった。
(男性・50代)
- 最先端の研究の概況を知ることができ、とても刺激になった。研究の方法や装置のVTRによる紹介、分子構造のCGなどは、テレビならではのことで非常に良かった。
(男性・40代)
- TV授業の映像が分かりやすく、見ていて飽きなかった。
(男性・40代)
- 生活に密着した内容であり、実際に役立つ事柄が多かった。
(女性・40代)
- 「食」というキーワードから、諸々の知識獲得につながる構成がよかった。
(女性・30代)
- 現場インタビューを交えながらの説明で理解度が増し、新しい知見が得られた様な感があります。
(男性・70歳以上)

気になった点（環境システム科学群）

- テレビでの表情が硬く、話し方が棒読みのようでした。
(男性・50代)
- テレビに映しだされる図の字が小さくて、読みとるのが大変なことがありますので、大きく映すなどもう少し配慮していただければと思います。
(男性・30代)
- 内容が高度で多岐にわたるため学習が困難。ラジオの講義では無理があるように思う。講義担当者と質疑応答がインターネット等でできるとありがたいが。
(男性・60代)
- 数理系の場合は、数式の展開などTV授業が望ましい。
(男性・60代)
- この科目だけに限るものではなく、すべての科目に言えることとして、印刷教材の章末に簡単な理解度を確認できるような練習問題等を入れていただけるとありがたいと思います。
(男性・30代)
- 改訂のペースは早いとありがたいと思います。改訂があれば、テキストだけでも購入したいと思っています。
(男性・40代)
- 調査法については羅列的な紹介にとどまらず、実情・欠点・課題などを比較、検討して突っ込んだ講義をしてもらいたい。
(女性・50代)
- 教科書を読んでいて、ミスプリと思える所が少しあり質問したが、十分に校正して正誤表のいない教科書にしてほしい。
(男性・70歳以上)
- 印刷教材の図表、写真、その他にできる限り「カラー表示」を取り入れると、内容がいつそう理解しやすくなり助かります。
(男性・70歳以上)

政策経営プログラム科目

よかった点

- 放送授業**
- ・ 実務者や専門家のインタビュー
 - ・ 外国の事例を説明
 - ・ 歴史か国師の熱心な解説
 - ・ 他国講師の対比
 - ・ 落ちケ先の映像の調
 - ・ 講師の知識の広さと深さ

- 印刷教材**
- ・ 巻末の「研究課題」
 - ・ 諸外国との比較学習
 - ・ 具体的な記述の入手
 - ・ 新しい情報新鮮味
 - ・ 現代的な新鮮味
 - ・ 理解しやすい内容

- 科目全般**
- ・ 視野の広がりが立つ
 - ・ 新しさを知らぬハルハルの学習
 - ・ 企業家や生活への活用
 - ・ 全日分像の把握
 - ・ 今後の学習の判断や批評の指針

気になった点

- 放送授業**
- ・ 印刷教材の棒読み
 - ・ インタビューが少ない
 - ・ 数師の具体的な解説がない
 - ・ 説明が聞きにくい
 - ・ 成功例や失敗例を盛り込んでほしい
 - ・ 英単語の使用頻度が多い
 - ・ 印刷教材とリンクしていない
 - ・ グラフ(図)の説明に工夫が欲しい
 - ・ 最初に問題提起してほしい

- 単位認定試験**
- ・ 模擬解答がほしい
 - ・ 難易度が高い

- 印刷教材**
- ・ 分量が多い
 - ・ 追加資料(追補)がほしい
 - ・ 事例を増やしてほしい
 - ・ 専門用語の解説が不十分
 - ・ 裏付け(章末)に課題がほしい
 - ・ 重要参考文献が少ない
 - ・ 最終章がまとまらず

- 科目全般**
- ・ テレビ化してほしい
 - ・ 各論にたいしては踏み込んでほしい
 - ・ 変動にたいしては速い修正を希望
 - ・ 専門用語が難しい
 - ・ 内容が網羅的すぎる
 - ・ 現状がたまたまの連続した内容が少ない
 - ・ 海外取の論点が不明

改善点の提案

- テレビ科目に変更する。またとめ速論舌
- 印刷教材はコンパクトにする。またとめ速論舌
- 法律等が改変されなく具を避ける。またとめ速論舌
- 一般論教材の棒読みを避ける。またとめ速論舌
- 印刷教材の分量を減らす。またとめ速論舌
- 印刷教材の分量を減らす。またとめ速論舌
- 印刷教材の分量を減らす。またとめ速論舌
- 印刷教材の分量を減らす。またとめ速論舌

よかった点（政策経営プログラム）

- 本科目では米国及びEU3カ国の企業統治について、歴史や現行制度の法令について、かなり詳細に解説している。これは、日本の企業統治との比較や影響を把握する上で有益であったと思う。市販の書籍ではあまり取り上げていない視点で、本科目のユニークな点だと評価している。

（女性・40代）

- テーマごとに、日本のトップクラスの専門家にインタビューを行う講義は、現在の日本の経済政策を理解する上で非常に有効であり、新しい知識が身につく視野が広がった。

（男性・50代）

- 地球をシステムとして学ぶ上で、テレビの映像が優れていて、本当に理解に役立った。人間が生きている時間・空間では、把握が不可能な映像を見て、物の見方・考え方に変化が生じた。

（男性・60代）

- 先進の事例を実施した市町村担当者へのインタビューが多く、現場の方の生の声を聞くことができた。各担当講師がそれぞれの専門分野を担当することで、放送教材がよくまとまっていたと思う。

（女性・30代）

- 自分が住んでいる県や市の行政に対して、これまでは何気なく要求や不満を投げかけていたが、地方自治政策を受講したことで、我が街の行政を大所高所から考えられるようになり、各種審議会委員やモニターとしても、体系的な見地から意見を述べられるようになった。

（女性・60代）

- 経済学の視点から、物事の考え方、見方の本質や視座を学びとることができた。大学院の科目なので、単に事実や説明にとどまらず、講師の意見も明確に述べられていて良い。

（男性・30代）

気になった点（政策経営プログラム）

- 印刷教材の棒読みでした。もっと取材した感じを示して欲しかったです。ラジオはほとんど棒読みの（印刷教材）教科がほとんどです。そこを直してもらわないと困ります。ラジオの存在そのものを生かしていない、もったいないです。

（不明・30代）
- 何よりもラジオでの講師の声が聞きとりにくいと感じました。教材の中身を読むだけなら、アナウンサーに録音してもらった方が良いと思います。

（男性・30代）
- 各所に研究課題が示されていて学習の助けになるが、内容がやや煩雑であり、難しいものも含まれている。また、模範的回答例のない点が問題である。各章すべてではないにしても幾つかやってみて、その回答を送付して、指導・助言を得られればよいと思う。

（男性・40代）
- 印刷教材に誤りが多すぎる。これだけの量の正誤表をつけるなら、もう一度作り直すべきでは。

（女性・20代）
- ぜひテレビ放送にして欲しかった。ビデオ画像、グラフ、表などを番組中で利用しながら説明して欲しかった。経済政策は、GDP、金利などの相関を論ずる内容が多いので、テレビで説明されれば理解しやすく面白みが出ると思う。

（男性・50代）
- グラフ（図）の説明に工夫が欲しい。テレビであれば判り易い説明が出来ようがラジオ放送のため理解が難しい。

（男性・70歳以上）
- 各章にポイントのまとめのようなものがあれば助かる。

（男性・60代）
- 数式については、具体的な数値を入れて解説して欲しい。

（男性・40代）

教育開発プログラム科目

よかった点

授業科目案内
・講義内容の明示

放送授業

- ・語りかけるような口調
- ・対談形式の「まとめ」
- ・多岐にわたる例示
- ・体験談の情報入手
- ・最新情報の具体的な解説
- ・問題点の印刷教材の掲載順

- 印刷教材
- ・分りやすい書き込み
 - ・実際の表の「研究課題」が多い
 - ・図表の「データ」が多い
 - ・新教材の分量
 - ・多くの参考文献
 - ・知識の整理に役立つ

科目全般

- ・視野の広がりに役立つ
- ・様々な役割実践の確立
- ・幅の広い視点での確認
- ・日常のなごり役立ち
- ・新研究のなごり役立ち
- ・多様な生徒の指導に役立つ
- ・次の学習への動機づけ

気になった点

放送授業

- ・印刷教材の棒読み
- ・抽象的表現が少ない
- ・専門用語の説明が不足
- ・図表の少ない
- ・現場での体験を取り入れてほしい
- ・比喩を重ねる回りくどい表現
- ・事例を多くしてほしい
- ・印刷教材のズレ
- ・ゆっくり講義してほしい

通信指導

- ・模範解答がほしい
- ・コメントが少ない

単位認定試験

- ・科目全体にわたる出題でない

印刷教材

- ・分量が多すぎる
- ・重複する内容が多い
- ・学術的記載が難しい
- ・定義が多岐にわたる
- ・執筆がバラバラ
- ・デモが少なくてほしい
- ・話し言葉の章
- ・各章の最後

科目全般

- ・テレビ教材の活用
- ・具体例を増やしてほしい
- ・目的を明確に
- ・講師の更なる研修
- ・実践的な内容
- ・疑問に
- ・教員を増やしてほしい
- ・材料を増やしてほしい
- ・しつこく繰り返してほしい
- ・授業の頻度を増やしてほしい
- ・ほしめがほしい
- ・いい例がない
- ・しりとりがない
- ・話し言葉がほしい
- ・助言が得られない

改善点の提案

- 放送授業の棒読みを避け、話し言葉で説明する。
- 抽象的表現を減らし、具体例を増やす。
- 印刷教材の分量を減らし、重複する内容を削除する。
- 通信指導の模範解答とコメントを増やす。
- 単位認定試験の出題範囲を科目全体に広げる。
- 印刷教材の執筆を統一し、話し言葉の章を増やす。
- 科目全般のテレビ教材の活用を推進する。
- 具体例を増やし、目的を明確にする。
- 講師の研修を充実させる。
- 実践的な内容を盛り込む。
- 教員を増やし、話し言葉の活用を促す。
- 材料を増やし、授業の頻度を増やす。
- ほしめを増やし、話し言葉の活用を促す。
- いい例を増やし、話し言葉の活用を促す。
- しりとりを増やし、話し言葉の活用を促す。
- 話し言葉を増やし、話し言葉の活用を促す。
- 助言を増やし、話し言葉の活用を促す。

よかった点（教育開発プログラム）

- 教育現場で長く仕事をしていると、どうしても現象面に目がいき、その対応にエネルギーがさかれてしまう。しかし、今一度原点にたちかえり、また、広い角度からとらえ正していく作業を受講しながらすすめることができた。
(女性・50代)
- 教育という分野を教育・文化という幅広い視点から見直せたこと。常に教育委員会所管の“教育センター”の教育技術論や質問を許さない講習、また決まりきった押しつけの内容を考えると、巨視的な視点で多角的に考えられたことがよかったと考えています。
(男性・50代)
- 教育という営みをとらえるための多様な視点が得られたこと。
同時に、学問的取組みの現状に対する理解の機会が与えられたこと。
現場実践と学問的研究との関係について考えさせられたこと。
(男性・60代)
- 教育に関する様々な問題を解決するカギがこの教育文化論の講座に含まれていて、教師として生徒を指導していく上で大変参考になりました。
(男性・50代)
- テキストには新しいデータが多く取り入れられていて、大変興味深いものでした。現代社会の見方を「教育」という視点から、様々な切り口で与えてくれました。
(女性・30代)
- 学校という場に対する新しい視点を学ぶことができ、有意義でした。問題意識を深める上で、とても役に立ったと思います。
(女性・40代)
- かなり多くの参考文献が一つの情報として示されており、勉強の手がかりとなった。
(女性・不明)

気になった点（教育開発プログラム）

- 印刷教材と放送授業の関係については、もう少し工夫していただきたい。
読んで分かる部分は、印刷教材どおりに台本を読まれるとややがっかりします。また、対談部分については、逆に印刷教材にレジュメ程度は記載して欲しいと思います。

（男性・50代）
- 印刷教材の中で意味の分らない単語（特にカタカナ）が出てくると調べるのが難しく、スペルを適当に考え英和辞書を引いたがわからないものもあった（学部のもはそういうのが少ないが院は多い）。意味の説明があるとありがたいと思った。

（女性・40代）
- テレビ教材にして、もう少し視覚に訴えるべきものが用意されると、理解もより深まると思う。

（女性・50代）
- 抽象的な表現がわかりにくかった。もう少し具体的に説明していただきたいかった。

（女性・30代）
- 通信指導の返却されたもののコメントが、「考察が足りない」という一言だけだった。指摘はその通りと思っているが、どんな点がという解説が欲しかった。

（男性・40代）
- 事例（ケース）の紹介が少ない分、臨場感に乏しかった。詳細まで含めて多くの事例を扱うのは難しいと思うが、簡略化してでも多くのケースに接することが、実務上の役に立つのでは、と思われた。

（男性・40代）
- 15章の中で重複している内容があったので（重複していることは、それだけ大切なことだとは思いますが）、もう少し印刷教材をコンパクトにまとめてもらえたらありがたいです。

（女性・20代）

臨床心理プログラム科目

よかった点

放送授業

- ・各分野の専門家の話が多い
- ・実証的、事例的内容が多い
- ・先生方がいきなり熱い話をする
- ・映像がよい
- ・クイズや質問が多い
- ・現代の抱えている問題への展望
- ・今後の展望

質問票

- ・的確な答え

通信指導

- ・丁寧な書き込みの指導

印刷教材

- ・幅広い知識の獲得
- ・引用や参考文献のまとまり
- ・概要の理解
- ・新歴史的な流れの理解
- ・全体的な把握
- ・具体的な事例の把握

科目全般

- ・仕事に役立つ
- ・実践的
- ・視野が広い
- ・知識の整理
- ・修論の構成
- ・幅広い分野への理解
- ・卒業後の深まり

気になった点

放送授業

- ・テキストの棒読みがわかりやすい
- ・TV画面の意見が少くない
- ・専門家のインタビューが映像がない
- ・講師の入り替わりが多い
- ・ポインツの臨床場面の紹介が少ない
- ・海外でやると教える姿が伝わらない
- ・印刷教材の内容が重複

授業科目案内

- ・詳細を掲載してほしい

単位認定試験

- ・択一式で容量すぎる
- ・時間が足りない
- ・考え方が問うべき

印刷教材

- ・記述が長い
- ・分量が多い
- ・具体例や事例(カウンセリング事例等)が少ない
- ・引用や参考文献が多すぎる
- ・不必要のワードを強調すべき
- ・各章の関連性が薄い
- ・各章ごとの分量が大きい
- ・人名索引がない
- ・各章の読み込みが不足

科目全般

- ・他科目との重複が多い
- ・テレビ番組の経験が豊富
- ・実践的
- ・他の分野との関係が不明
- ・深夜に放送
- ・内容がわかりにくい
- ・内容が重複している
- ・内容が不明確
- ・内容が不実
- ・内容が不実
- ・内容が不実

改善点の提案

● テレビ番組の収録内容を整理し、必要に応じてカットする。

● 各回の授業内容を事前に配布し、学習の効率を上げる。

● 印刷教材の分量を減らし、重要な事例や理論を重点的に解説する。

● 他分野の知識を補完する教材を別途提供し、学習の幅を広げる。

● 単位の認定試験を択一式から記述式に変更し、実践的な能力を測る。

よかった点（臨床心理プログラム）

- 臨床心理学全体をとらえ、より専門的に勉強していく方向性をつかむのに役立った。講師の学問への姿勢が伝わり、専門家になっていこうという意欲が高まった。ゲストも含め、多くの先生の話を知ることができたのが良かった。

（女性・40代）
- 知識が得られ、実践の場で大変役立っている。

（女性・60代）
- コンパクトにまとめられており、繰り返しテキストを学ぶことで基礎的な知識が身につくように思われる。

（男性・50代）
- 心理学を学ぶと、個人の内界で生じるプロセスに焦点をあてがちになるが、この科目を受講することによって、外界の影響も重要であることを理解した。このことは人間を理解する際には、多角的視野が必要であることの認識にもつながり、個人の内界を見つめるときにも多様な視点を意識することを促した。

（男性・40代）
- ごくありふれた日常の中に研究の対象となる素材が存在していることに気づかされたこと。

（男性・40代）
- パーソナリティと社会心理学、集団過程、組織内キャリアについては、日常の仕事を遂行していく上で役立った。非行・犯罪の理解や被害者・被災者の援助については、新たな知識を習得でき、視野を広げることができてよかった。

（女性・50代）
- 視野が広がった。物事を違った見方でとらえることができた。

（女性・不明）

気になった点（臨床心理プログラム）

- 講師によっては文字通り、印刷教材の棒読みなので、放送授業の位置づけの明確化、改善をお願いいたします。印刷教材を読めばよい内容、印刷教材内でも強調すべき、もしくは留意すべき点、印刷教材外のトピックスや事例など、授業のメリハリが欲しいです。

（男性・40代）
- 「印刷教材の棒読み」、「印刷教材と放送教材の重複」をなくすため、テレビ化、印刷教材のビジュアル化（カラー化、図表の多用等）を図って欲しい。

（男性・40代）
- アセスメントについては、具体的方法の映像を交えて講義を進めた方が理解しやすい。

（男性・50代）
- 章の最後に、学習課題としての問いをつけて欲しい。章の内容を知るだけでなく、よく検討することで、より理解が深まると思います。

（女性・20代）
- 個々の研究を紹介していただけるのはおもしろかったが、そこから、他の分野との関係についての明示があった方が関心を広げやすいのではないかと。

（女性・30代）
- 講師によって使用するフリップの量が違いますが、フリップを多用している先生の放送授業の方がよく頭に残りました。作成されるのは大変だと思いますが、できればフリップを多用していただきたいと思いました。

（女性・40代）
- 科目の特徴とは思いますが、扱う分野・範囲が広すぎるように感じました。

（女性・30代）

改善するための提案（大学院の全プログラム（群）を通じて）

放送教材(テレビ)に関して：

- 放送教材（テレビ）の中で用いられる図や表については、印刷教材に載っている時と載っていない時があるので、印刷教材の後ろに資料としてまとめてでも良いので、載せておいてほしいと思う。

（女性・40代）

- 講師の「えー」が多く、聞きづらかった。机に座るから「えー」が多くなるのでは？ 普通の大学の教壇を作り、学生を入れて講義を行い、それを後ろから録画すれば良いと思います。

（男性・20代）

- 学生間の質問のやり取りを講義の内容に取り入れてほしい。

（男性・20代）

放送教材(ラジオ)に関して：

- すべてテレビ教材として、インターネットで見られる様にしてほしい。ラジオ教材は印刷教材の棒読みが多く、聴いていて興味がもてない。

（男性・30代）

- ラジオの特徴を活かして工夫して欲しい。映像のない分、教科書を充実させ、図表や写真を多く用いたり、練習問題を多くしたりして、テレビ科目に対抗して欲しい。

（男性・60代）

印刷教材に関して：

- 近年、環境や制度は大きく変動してきており、できる限り印刷教材の内容や講義をそれに対応したものとして頂きたい。迅速に必要な応じた修正を加えて欲しい。

（男性・30代）

- 時代のイメージを持ちたいので、グラビア（カラー）を付けて欲しい。

（男性・60代）

通信指導に関して：

- 通信指導によるレポート提出の回数を2回にして欲しい（通信指導の提出から第15回が終わる認定試験までの期間が長いため）。

（男性・50代）

- 通信指導の模範解答が欲しい。どこが不足でどこを改善すべきか、今後の学習ポイントになる点の明示を希望します。

（女性・40代）

- 通信指導のコメントをもう少し多くしてほしい（なぜ評価がこうなったのか、少しでも分かる様にしてほしい）。

（男性・40代）

単位認定試験に関して：

- 単位認定試験の問題は、授業内容と整合したものにして欲しい。印刷教材ではごく僅かな説明、あるいは全く説明のない用語の多くについて「述べよ」の問題には驚いた。

（男性・70歳以上）

- 通信指導の点数も含めて科目の成績を評価してほしい。

（男性・30代）

その他：

- 大学院博士課程を設置してほしい。

（男性・60代）

- 各章の研究課題をこなしても、誰のチェックも受けられない。学習センターに文章の指導をしてくれる先生（指導者）を置いてほしい。中間の通信指導では返送が遅いし、再提出や書き直したものを見てもらうことができない。

（女性・40代）

- 大学を卒業して15年、いろいろなことを忘れてしまっている。この科目を学ぶために必要な復習をする方法や教材について指導してほしい。

（男性・30代）

- 継続科目登録をインターネットでできるようにしてほしい。放送授業（テレビ・ラジオ）のネット配信を進めてほしい。

（男性・30代）

- ラジオ、テレビによる講義の他に、インターネットを活用した講義を今以上に取り入れ、時代の最先端を行く放送メディアの教育を行ってほしいです。また、教育内容等だけでなく放送大学全般についてのアンケート調査も行い、全業務の改善に役立てていただきたいと思います。

（女性・30代）

- 生涯学習機能がますます必要となるため、もっと多種の科目を設定してほしい。多種多様な内容の網羅をお願いします。

（男性・50代）

- 学習センターをもっと仕事をしている人に利用しやすく、夜間、祝日にも開けてほしい。

（女性・50代）

- 再放送枠を夜間でもよいから設けてほしい。

（男性・50代）

- 科目登録のタイミングをもう少し後にしてほしい。今学期の単位が取れたかどうかで登録する科目を考えたい。どうしてもそれが不可能なら、単位認定試験に配点を明示するなどして、単位が取れたのかどうかを予測しやすくしてほしい。

（女性・30代）

- 学習センターで視聴する際、外国語の勉強ブースに工夫が欲しい（声を出して勉強したいができないから）。

（女性・50代）

- 既修得単位の多い全科入学者は1年で修士を取得できるようにしてほしい。

（男性・40代）

- 本大学の学部の面接授業で先生を囲んで雑談をしたり、課外授業に出たりした楽しい思い出が沢山ありますので、大学院でも面接授業を行うことを希望します。

（女性・70歳以上）

付録（１）平成１８年度学生による授業評価集計結果の概要等について

平成１８年度学生による授業評価集計結果の概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解の状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること。

(2) 調査方法 郵送法による質問紙調査

(3) 調査対象

① 対象科目

学 部	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	計
H17	10(39)	10(39)	9(42)	24(35)	27(82)	29(49)	109(286)
H18	4(39)	5(39)	10(42)	—(36)	11(81)	4(49)	34(286)

※「産業と技術」に属する科目については平成１８年度の調査対象の科目はなし。

※（ ）内の数値は各専攻毎の全開設科目数。

大学院	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営プログラム	教育開発プログラム	臨床心理プログラム	計
H18	7(16)	6(13)	4(17)	2(15)	2(6)	21(67)

※大学院の調査は平成１８年度より実施。

※（ ）内の数値は各群・プログラム毎の全開設科目数。

② 対象者 平成１８年度第１学期履修登録者

- ・対象科目の登録者から無作為抽出（１人当たり最大３科目まで）
- ・１科目あたり学部科目２５０人、大学院科目２００人を抽出（登録者数が上記の人数未満の科目は全数）

(4) 調査時期 質問紙配付・回収：平成１８年度第１学期単位認定試験終了後～８月下旬
調査結果の集計：８月下旬～９月下旬

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標 本 数 (人)			有効回答数 (人)			回 収 率		
	全体	学 部	大学院	全体	学 部	大学院	全体	学 部	大学院
H17	21,619	21,619	—	8,973	8,973	—	41.5%	41.5%	—
H18	11,429	8,008	3,421	4,667	3,078	1,589	40.8%	38.4%	46.4%

(2) 回答者の属性

学 部

	全 科 履 修 生							選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解	計		
H17	12.6%	12.0%	9.2%	10.7%	19.0%	11.7%	75.2%	16.2%	6.9%
H18	13.6%	15.3%	16.3%	3.0%	18.4%	4.7%	71.4%	18.9%	6.7%

	性 別		年 齢 別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H17	51.9%	44.4%	0.7%	14.1%	19.4%	17.0%	20.2%	19.3%	7.7%
H18	42.9%	51.5%	0.6%	11.2%	19.5%	20.0%	20.0%	18.6%	8.2%

※ 各属性については無記入があるため内訳の合計は100%にはならない。

大 学 院

	修 士 全 科 生						修士選科生	修士科目生
	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営プログラム	教育開発プログラム	臨床心理プログラム	計		
H18	11.0%	10.0%	6.2%	2.0%	1.8%	31.0%	52.4%	13.1%

	性 別		年 齢 別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H18	56.7%	36.1%	4.8%	18.1%	27.1%	22.8%	15.9%	9.4%

※ 各属性については無記入があるため内訳の合計は100%にはならない。

付録（１）平成18年度学生による授業評価集計結果の概要等について

（３）評価結果（４段階評価における評点平均）

学 部

① 項目別の状況

	全質問項目の平均			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H17	2.99	3.02	2.94	2.93	2.99	2.83	2.85	2.87	2.83	3.13	3.15	3.10	3.09	3.10	3.07
H18	2.84	2.95	2.78	2.76	2.88	2.69	2.77	2.88	2.70	2.87	2.93	2.84	3.00	3.13	2.92

②【問26】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		専 攻 別					
	全対象科目	TV	R	生活と福祉	発達と教育	社会と経済	産業と技術	人間の探究	自然の理解
H17	3.03(3.73～2.18)	3.05	3.00	3.06	2.90	3.18	3.05	3.13	2.90
H18	2.93(3.60～1.59)	3.08	2.85	2.97	3.14	2.83	—	3.06	2.46

※（ ）内の値は「最高値～最低値」である。

※「産業と技術」に属する科目については平成18年度の調査対象の科目はなし。

	性 別		年 齢 別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H17	3.04	3.03	2.67	2.86	3.00	2.96	3.10	3.12	3.26
H18	2.90	2.95	2.59	2.80	2.83	2.92	2.96	3.00	3.20

※ 質問票の質問項目は平成17年度と平成18年度では一部異なる。

大 学 院

① 項目別の状況

	全質問項目の平均			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
H18	3.03	3.09	2.97	2.99	3.09	2.87	2.96	2.99	2.93	2.95	3.00	2.89	3.22	3.26	3.19

②【問26】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		プログラム（群）別				
	全対象科目	TV	R	文化情報科学群	環境システム科学群	政策経営プログラム	教育開発プログラム	臨床心理プログラム
H18	3.17(3.47～2.77)	3.20	3.14	3.22	3.12	3.27	3.09	3.11

※（ ）内の値は「最高値～最低値」である。

	性 別		年 齢 別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
H18	3.22	3.12	3.05	3.10	3.22	3.11	3.28	3.23

※ 質問票の質問項目は平成17年度と平成18年度では一部異なる。

（参考）集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出して集計している。（なお、設問4、5、6、12、13、15、21については評価基準が逆であるため、数値を逆転【4→1、3→2、2→3、1→4】している。）

平成18年度学生による授業評価の調査結果一覧(単純集計) 専攻・プログラム別

学部	回収状況			放送授業										印刷教材										通信授業・単位認定試験					全体評価					合計 (問1~26)
	調査対象 人数	回答数	回収率	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	小計	問19	問20	問21	問22	小計	問23	問24	問25	問26	小計		
				問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16	問17	問18	小計	問19	問20	問21	問22	小計	問23	問24	問25	問26	小計		
	8,008	3,078	38.4%	3.06	3.08	2.71	2.54	2.60	2.78	2.80	3.01	2.93	2.72	2.76	3.06	2.42	2.47	3.15	2.58	2.85	2.56	3.04	2.77	3.20	3.14	2.04	3.05	2.87	3.01	3.24	2.81	2.93	3.00	
	-	-	-	3.53	3.54	3.13	3.54	3.53	3.73	3.34	3.63	3.32	3.36	3.35	3.38	3.48	3.40	3.42	3.51	3.46	3.24	3.56	3.25	3.69	3.51	2.97	3.38	3.14	3.77	3.63	3.56	3.60	3.67	
	-	-	-	2.37	2.46	2.31	1.40	2.03	2.13	1.78	2.22	2.07	1.58	1.94	2.44	1.43	1.85	2.79	2.24	1.78	1.69	1.93	2.06	2.62	2.44	1.69	2.79	2.51	1.86	2.24	1.44	1.59	1.78	
	2,837	1,115	38.0%	3.16	3.16	2.82	2.69	2.74	2.90	2.92	3.06	3.04	2.88	2.88	3.14	2.56	2.59	2.60	2.98	2.83	3.12	2.88	3.21	3.21	2.13	3.13	2.93	3.12	3.33	2.99	3.08	3.13		
	5,071	1,963	38.7%	3.01	3.03	2.64	2.45	2.51	2.71	2.73	2.98	2.86	2.63	2.69	3.01	2.34	2.39	3.14	2.57	2.77	2.41	2.99	2.70	3.19	3.09	1.98	3.00	2.84	2.94	3.18	2.71	2.85	2.92	
	1,000	366	36.6%	3.20	3.18	2.57	2.61	2.46	2.62	2.73	2.81	2.95	2.74	2.68	3.17	2.38	2.31	2.56	2.87	2.81	3.09	2.79	3.35	3.35	1.90	3.08	2.93	3.04	3.29	2.92	2.97	3.06		
	1,250	466	37.3%	3.15	3.18	2.81	3.02	2.92	3.02	3.00	3.14	3.04	2.90	2.98	3.17	2.88	2.68	3.21	2.63	3.13	2.86	3.14	2.96	3.08	3.03	2.17	3.16	2.86	3.15	3.37	3.18	3.14	3.21	
	2,447	895	36.6%	3.01	3.03	2.69	2.40	2.58	2.81	2.70	2.93	2.85	2.65	2.70	3.03	2.28	2.46	3.07	2.63	2.71	2.43	2.95	2.69	3.19	3.11	2.06	2.98	2.85	2.94	3.20	2.67	2.83	2.91	
	2,374	1,025	43.2%	3.10	3.10	2.79	2.59	2.60	2.81	2.96	3.20	3.03	2.86	2.85	3.08	2.49	2.52	3.26	2.56	2.96	2.48	3.17	2.82	3.27	3.19	2.00	3.08	2.90	3.11	3.29	2.89	3.06	3.09	
	937	326	34.8%	2.82	2.86	2.48	2.04	2.34	2.46	2.38	2.67	2.61	2.24	2.40	2.82	2.00	2.18	3.00	2.48	2.46	2.48	2.65	2.50	3.01	2.92	2.04	2.90	2.74	2.59	2.91	2.29	2.46	2.56	
	3,421	1,589	46.4%	3.25	3.21	2.92	2.84	2.88	2.88	3.01	3.20	3.11	3.05	2.99	3.20	2.77	2.77	3.22	2.55	3.04	2.93	3.19	2.96	3.31	3.18	2.20	3.05	2.95	3.23	3.42	3.07	3.17	3.22	
	-	-	-	3.44	3.46	3.24	3.36	3.30	3.50	3.45	3.63	3.41	3.55	3.26	3.45	3.26	3.25	3.38	3.09	3.26	3.32	3.43	3.15	3.61	3.58	2.73	3.26	3.16	3.52	3.61	3.35	3.47	3.46	
	-	-	-	2.78	2.72	2.43	1.42	1.88	2.09	2.43	2.77	2.58	1.72	2.21	2.76	1.36	1.83	3.08	2.01	2.58	2.13	2.75	2.39	2.83	2.72	1.77	2.69	2.67	2.96	3.08	2.17	2.77	2.82	
	1,813	831	45.8%	3.27	3.20	3.03	2.81	2.86	3.14	3.11	3.32	3.21	3.25	3.09	3.19	2.74	2.77	3.23	2.72	3.05	3.06	3.19	2.99	3.38	3.23	2.33	3.01	3.00	3.28	3.46	3.08	3.20	3.26	
	1,608	758	47.1%	3.23	3.22	2.81	2.87	2.90	2.59	2.91	3.06	2.89	2.84	2.87	3.21	2.81	2.78	3.21	2.36	3.04	2.79	3.19	2.83	3.23	3.12	2.06	3.10	2.89	3.17	3.38	3.05	3.14	3.19	
	1,051	512	48.7%	3.23	3.20	2.93	2.92	2.95	2.93	3.08	3.31	3.16	3.10	3.05	3.21	2.86	2.88	3.26	2.64	3.10	2.84	3.21	3.00	3.40	3.13	2.32	3.11	3.00	3.24	3.48	3.15	3.22	3.27	
	991	439	44.3%	3.26	3.17	2.97	2.62	2.71	2.77	2.88	3.11	3.06	3.01	2.89	3.19	2.57	2.60	3.21	2.45	2.93	3.04	3.13	2.89	3.38	3.29	2.12	3.02	2.96	3.20	3.38	2.97	3.12	3.17	
	579	265	45.8%	3.19	3.30	2.84	2.83	2.93	3.10	3.13	3.29	3.20	2.99	3.04	3.12	2.80	2.89	3.16	2.77	3.16	2.93	3.29	3.02	3.14	3.12	2.02	3.06	2.86	3.34	3.44	3.06	3.27	3.28	
	400	201	50.3%	3.31	3.30	2.97	3.07	3.08	2.72	3.04	3.13	2.99	3.13	3.01	3.31	2.99	2.98	3.23	2.38	3.05	2.86	3.14	2.99	3.12	3.09	2.14	3.06	2.86	3.10	3.33	3.15	3.09	3.17	
	400	172	43.0%	3.30	3.10	2.85	2.89	2.78	2.88	2.98	3.07	3.06	3.01	2.94	3.18	2.72	2.49	3.25	2.38	2.98	3.03	3.18	2.90	3.35	3.21	2.41	2.94	3.00	3.23	3.44	2.95	3.11	3.18	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」としている。
 但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各科目の欄の上段は評点の平均値を、また下段は所属する専攻の平均値からの乖離をそれぞれ示している。
 3. 「産業と技術」については平成18年度調査対象の科目はなし。

平成18年度学生による授業評価調査票

授業科目コード						
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

科目名

〔記入例〕

〔良い例〕 ●

〔悪い例〕 ○~~／~~ ○~~／~~ ○~~／~~

〔記入上の注意〕

1. HBの鉛筆をご使用ください。
2. 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してからご訂正ください。
3. 機械で読み取りますので、用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。

I この授業科目を学習して、あなたはどのような印象やご感想をお持ちになりましたか。
次の1～26のそれぞれについて、あてはまる程度を4段階で評価し、マークしてください。
(この面が済みましたら裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	○	○	○	○
2	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	○	○	○	○
<放送授業>					
3	放送授業を十分に視聴した。	○	○	○	○
4	自分にとって放送授業の内容は難しすぎると感じた。	○	○	○	○
5	放送授業の内容は分量が多すぎると感じた。	○	○	○	○
6	放送授業は印刷教材や台本を読んでいるだけという印象で物足りなかった。	○	○	○	○
7	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	○	○	○	○
8	講師の熱意が十分に伝わった。	○	○	○	○
9	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	○	○	○	○
10	(この科目がテレビ科目の場合) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	○	○	○	○
	(この科目がラジオ科目の場合) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
<印刷教材>					
11	印刷教材を熱心に学習した。	○	○	○	○
12	自分にとって印刷教材の内容は難しすぎると感じた。	○	○	○	○
13	印刷教材の内容は分量が多すぎると感じた。	○	○	○	○
14	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	○	○	○	○
15	印刷教材と放送教材には重複が多いと感じた。	○	○	○	○
16	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	○	○	○	○
17	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	○	○	○	○
18	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	○	○	○	○
<通信指導・単位認定試験>					
19	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	○	○	○	○
20	通信指導は学習内容の理解に役立った。	○	○	○	○
21	単位認定試験には、ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。	○	○	○	○
22	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	○	○	○	○
<全体評価>					
23	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	○	○	○	○
24	新しい知識が身につき視野が広がった。	○	○	○	○
25	この科目の内容は全体としてよく理解できた。	○	○	○	○
26	この科目の内容には全体として満足している。	○	○	○	○

裏面に続きます。

付録（１）平成18年度学生による授業評価集計結果の概要等について

Ⅱ 次の点について、気づいたことを自由にお書きください。

・この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

・この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

・この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見・ご感想があれば、どんなことでも結構ですので自由にお書きください。

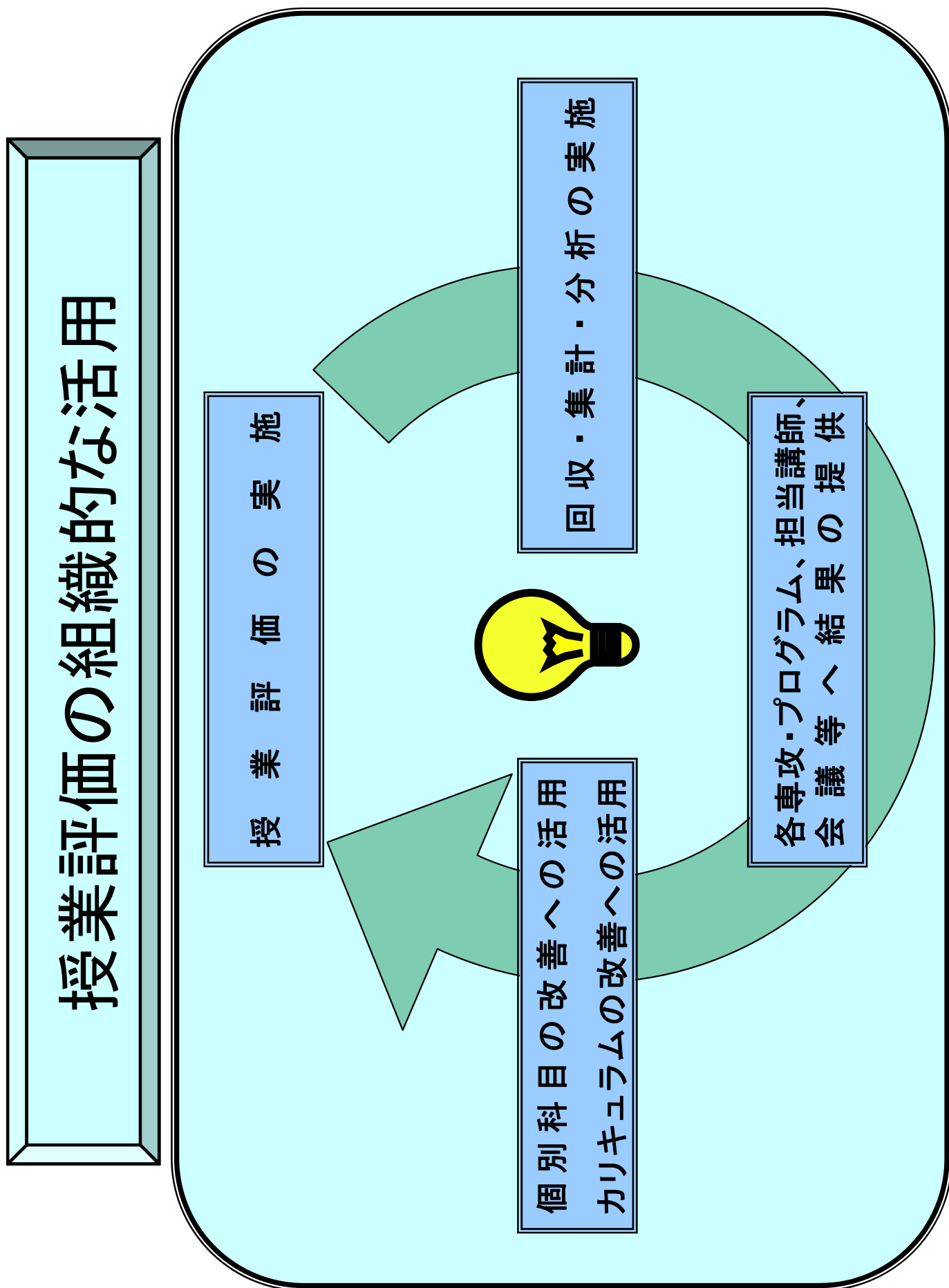
Ⅲ この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（右側の欄の数字にマークしてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。				
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。	①	②	③	
3. 通信指導を提出しなかった。				

Ⅳ あなたご自身についてお答えください。（右側の欄の数字にマークしてください。）

・学生種別	全科履修生（1. 生活と福祉 2. 発達と教育 3. 社会と経済 4. 産業と技術				①	②	③	④
	5. 人間の探究 6. 自然の理解） 7. 選科履修生 8. 科目履修生				⑤	⑥	⑦	⑧
・性別	1. 男性 2. 女性				①	②		
・年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳		3. 30～39歳 4. 40～49歳		①	②	③	④
	5. 50～59歳 6. 60～69歳		7. 70歳以上		⑤	⑥	⑦	
・職業	1. 公務員等 2. 教員		3. 会社員 4. 個人営業・自営業		①	②	③	④
	5. 農業等 6. 看護師等		7. 家事専業 8. パート・アルバイト		⑤	⑥	⑦	⑧
	9. 他大学等の学生 10. 無職		11. その他（ ）		⑨	⑩	⑪	

どうもありがとうございました。



付録(2) 学部 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

【1/11】

		問1						問2						問3						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	全 科 履 修 生	生活と福祉	3.13	38%	40%	15%	5%	1%	3.14	37%	39%	17%	4%	3%	2.61	22%	33%	25%	18%	2%
		発達と教育	2.99	31%	43%	20%	6%	1%	3.09	35%	39%	18%	4%	4%	2.67	27%	27%	23%	18%	4%
		社会と経済	2.99	36%	34%	20%	8%	1%	3.04	33%	39%	21%	4%	2%	2.66	29%	26%	24%	20%	1%
		産業と技術	2.99	37%	32%	18%	10%	3%	2.98	29%	40%	23%	4%	4%	2.62	28%	24%	27%	19%	2%
		人間の探究	3.09	36%	42%	15%	6%	2%	3.03	31%	42%	20%	4%	3%	2.76	31%	27%	25%	15%	2%
		自然の理解	3.02	32%	43%	20%	5%	0%	3.09	29%	48%	18%	1%	3%	2.68	29%	26%	26%	17%	1%
		小計	3.04	35%	40%	18%	6%	1%	3.07	33%	40%	19%	4%	3%	2.68	28%	28%	24%	18%	2%
	選科履修生	3.10	38%	38%	17%	6%	2%	3.09	33%	44%	16%	4%	4%	2.75	28%	33%	21%	16%	2%	
	科目履修生	3.18	40%	40%	15%	4%	0%	3.18	39%	42%	13%	4%	1%	2.85	35%	30%	19%	16%	1%	
	無記入	3.01	36%	34%	18%	8%	4%	2.99	34%	36%	20%	7%	3%	2.78	29%	31%	21%	15%	4%	
	計	3.06	36%	39%	17%	6%	1%	3.08	34%	41%	18%	4%	3%	2.71	29%	29%	23%	17%	2%	
	性別	男性	3.11	38%	40%	15%	6%	1%	3.06	33%	42%	19%	4%	2%	2.78	31%	30%	22%	15%	2%
		女性	3.02	34%	38%	20%	6%	1%	3.09	34%	41%	17%	4%	3%	2.64	27%	28%	24%	19%	2%
無記入		3.09	34%	41%	15%	5%	4%	3.09	35%	35%	21%	3%	6%	2.74	29%	26%	26%	14%	4%	
計		3.06	36%	39%	17%	6%	1%	3.08	34%	41%	18%	4%	3%	2.71	29%	29%	23%	17%	2%	
年齢	19歳以下	2.88	24%	47%	24%	6%	0%	2.94	29%	29%	35%	0%	6%	2.12	6%	24%	47%	24%	0%	
	20~29歳	2.88	28%	40%	22%	9%	1%	2.94	29%	41%	25%	4%	1%	2.41	21%	25%	27%	26%	1%	
	30~39歳	2.96	30%	43%	19%	8%	0%	3.05	33%	41%	19%	5%	2%	2.50	24%	25%	25%	24%	2%	
	40~49歳	3.01	35%	37%	21%	6%	1%	3.05	33%	41%	18%	5%	3%	2.63	25%	29%	25%	18%	2%	
	50~59歳	3.06	36%	39%	17%	7%	2%	3.11	35%	41%	16%	4%	4%	2.72	28%	30%	23%	16%	2%	
	60~69歳	3.24	42%	41%	12%	3%	2%	3.15	35%	42%	17%	2%	4%	2.99	35%	34%	19%	9%	3%	
	70歳以上	3.36	50%	33%	11%	2%	4%	3.17	36%	41%	15%	2%	6%	3.16	43%	31%	18%	5%	3%	
	無記入	2.93	31%	37%	20%	8%	3%	3.07	36%	36%	22%	3%	3%	2.74	31%	25%	29%	14%	2%	
計	3.06	36%	39%	17%	6%	1%	3.08	34%	41%	18%	4%	3%	2.71	29%	29%	23%	17%	2%		
職業	公務員等	2.98	32%	41%	19%	8%	0%	3.02	29%	48%	17%	5%	1%	2.53	24%	26%	27%	22%	2%	
	教員	3.07	34%	42%	19%	4%	0%	3.16	39%	40%	15%	4%	1%	2.58	18%	36%	24%	17%	4%	
	会社員	2.99	32%	40%	18%	8%	2%	2.99	31%	41%	17%	7%	4%	2.68	29%	27%	24%	18%	2%	
	個人営業・自営業	2.96	35%	35%	16%	11%	2%	3.06	35%	33%	19%	5%	7%	2.68	28%	29%	18%	20%	5%	
	農業等	3.09	27%	59%	9%	5%	0%	2.91	32%	32%	32%	5%	0%	2.48	9%	45%	23%	18%	5%	
	看護師等	3.05	33%	41%	20%	4%	2%	3.09	34%	41%	19%	3%	2%	2.47	19%	31%	26%	23%	2%	
	家事専業	3.10	38%	37%	16%	7%	2%	3.14	36%	41%	17%	3%	4%	2.92	36%	29%	21%	12%	2%	
	パート・アルバイト	3.01	34%	40%	18%	8%	1%	3.05	31%	45%	19%	4%	2%	2.61	26%	29%	22%	22%	1%	
	他大学等の学生	3.11	33%	47%	18%	2%	0%	3.16	42%	36%	18%	4%	0%	2.64	27%	29%	27%	18%	0%	
	無職	3.18	41%	38%	14%	5%	1%	3.12	35%	40%	19%	3%	3%	2.91	35%	30%	22%	11%	2%	
	その他	3.04	38%	33%	23%	5%	1%	3.07	32%	40%	20%	3%	5%	2.68	28%	25%	27%	16%	3%	
	無記入	3.08	36%	39%	13%	8%	5%	3.06	36%	34%	23%	3%	3%	2.87	38%	25%	22%	14%	2%	
	計	3.06	36%	39%	17%	6%	1%	3.08	34%	41%	18%	4%	3%	2.71	29%	29%	23%	17%	2%	
	通信指導・単位認定試験の 受検有無	受験	3.18	40%	41%	15%	3%	1%	3.12	35%	43%	17%	3%	2%	2.79	31%	30%	23%	15%	1%
未受験		2.70	19%	41%	29%	10%	1%	2.98	32%	37%	21%	6%	3%	2.45	18%	32%	25%	23%	2%	
通信指導未提出		2.01	12%	15%	27%	38%	8%	2.68	24%	25%	23%	14%	13%	1.94	9%	13%	28%	37%	12%	
無記入		3.03	35%	32%	19%	6%	6%	3.04	32%	29%	23%	3%	13%	2.79	29%	26%	26%	11%	8%	
計		3.06	36%	39%	17%	6%	1%	3.08	34%	41%	18%	4%	3%	2.71	29%	29%	23%	17%	2%	
計		3.078	1.105	1.206	533	190	44	3.078	1.034	1.263	563	121	97	3.078	878	893	717	523	67	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
 但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 学部 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[2/11]

属性別		問4						問5						問6						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	全 科 履 修 生	生活と福祉	2.46	14%	38%	26%	16%	6%	2.50	16%	31%	31%	16%	6%	2.78	11%	23%	34%	25%	7%
		発達と教育	2.72	11%	25%	36%	20%	8%	2.71	12%	24%	35%	21%	8%	2.87	9%	18%	38%	25%	10%
		社会と経済	2.38	22%	31%	28%	16%	4%	2.56	18%	27%	30%	21%	3%	2.83	11%	24%	30%	31%	4%
		産業と技術	2.30	28%	26%	27%	15%	4%	2.49	20%	24%	35%	16%	4%	2.58	16%	29%	28%	22%	5%
		人間の探究	2.62	13%	30%	33%	19%	5%	2.58	15%	28%	32%	19%	6%	2.81	10%	24%	34%	26%	5%
		自然の理解	2.34	23%	34%	26%	15%	3%	2.57	17%	28%	33%	19%	3%	2.72	15%	21%	36%	24%	4%
		小計	2.52	16%	31%	31%	17%	5%	2.58	16%	27%	32%	19%	6%	2.80	11%	23%	34%	26%	6%
	選択履修生	2.57	15%	31%	31%	19%	4%	2.64	15%	26%	34%	21%	4%	2.70	13%	26%	33%	24%	4%	
	科目履修生	2.64	14%	29%	30%	22%	4%	2.69	12%	28%	32%	23%	4%	2.80	13%	21%	33%	28%	5%	
	性別	男性	2.53	17%	30%	31%	19%	4%	2.64	14%	27%	33%	21%	4%	2.78	12%	24%	34%	26%	4%
女性		2.54	15%	31%	30%	18%	6%	2.57	16%	28%	32%	19%	6%	2.80	11%	23%	33%	26%	7%	
無記入		2.60	11%	31%	33%	16%	8%	2.53	20%	23%	28%	20%	9%	2.65	16%	21%	33%	22%	8%	
計		2.54	16%	30%	31%	18%	5%	2.60	15%	27%	32%	20%	5%	2.78	12%	23%	33%	26%	6%	
年齢		19歳以下	2.18	29%	35%	24%	12%	0%	1.94	24%	59%	18%	0%	0%	2.29	29%	24%	35%	12%	0%
		20~29歳	2.46	18%	32%	29%	17%	4%	2.50	20%	28%	29%	19%	4%	2.67	15%	24%	34%	23%	4%
		30~39歳	2.52	16%	29%	32%	16%	6%	2.57	14%	29%	32%	18%	7%	2.72	12%	25%	34%	23%	7%
		40~49歳	2.57	15%	29%	32%	18%	6%	2.65	13%	26%	36%	19%	6%	2.84	10%	22%	35%	27%	6%
	50~59歳	2.57	15%	30%	30%	20%	5%	2.66	14%	25%	33%	22%	6%	2.77	10%	26%	33%	25%	7%	
	60~69歳	2.52	16%	33%	30%	17%	4%	2.57	16%	27%	34%	18%	4%	2.81	12%	23%	32%	28%	5%	
	70歳以上	2.66	12%	30%	31%	22%	4%	2.63	17%	27%	28%	25%	4%	2.95	11%	17%	33%	35%	4%	
	無記入	2.46	20%	31%	27%	19%	3%	2.50	22%	25%	25%	22%	5%	2.65	14%	25%	32%	20%	8%	
計	2.54	16%	30%	31%	18%	5%	2.60	15%	27%	32%	20%	5%	2.78	12%	23%	33%	26%	6%		
職業	公務員等	2.62	15%	28%	31%	22%	4%	2.77	11%	23%	40%	22%	5%	2.73	14%	22%	36%	23%	6%	
	教員	2.71	10%	26%	35%	20%	8%	2.67	12%	26%	33%	20%	8%	2.70	13%	24%	29%	23%	10%	
	会社員	2.42	20%	30%	32%	14%	3%	2.62	14%	28%	33%	20%	4%	2.72	12%	27%	34%	23%	4%	
	個人営業・自営業	2.66	15%	25%	30%	23%	7%	2.67	13%	27%	31%	22%	8%	2.78	12%	23%	28%	28%	9%	
	農業等	2.10	32%	27%	23%	9%	9%	2.25	32%	18%	27%	14%	9%	2.86	14%	9%	50%	23%	5%	
	看護師等	2.47	14%	35%	30%	14%	7%	2.45	17%	32%	31%	14%	7%	2.76	10%	24%	36%	23%	7%	
	家事専業	2.52	17%	31%	30%	18%	5%	2.59	16%	25%	35%	19%	5%	2.94	7%	21%	35%	30%	7%	
	パート・アルバイト	2.49	16%	33%	28%	17%	6%	2.48	17%	32%	26%	18%	6%	2.67	15%	28%	24%	27%	6%	
	他大学等の学生	2.51	20%	31%	27%	22%	0%	2.53	20%	27%	33%	20%	0%	2.44	18%	36%	31%	16%	0%	
	無職	2.58	15%	30%	33%	18%	4%	2.63	15%	27%	32%	22%	4%	2.83	12%	20%	37%	28%	4%	
	その他	2.70	11%	31%	24%	26%	8%	2.69	16%	21%	28%	25%	9%	2.82	10%	24%	27%	29%	9%	
	無記入	2.56	16%	28%	36%	17%	3%	2.61	16%	23%	39%	17%	5%	2.90	11%	17%	36%	30%	6%	
	計	2.54	16%	30%	31%	18%	5%	2.60	15%	27%	32%	20%	5%	2.78	12%	23%	33%	26%	6%	
	受験有無	受験	2.58	14%	31%	32%	19%	4%	2.61	15%	28%	33%	20%	4%	2.79	11%	24%	34%	26%	5%
未受験		2.38	19%	33%	29%	13%	7%	2.55	18%	25%	31%	19%	8%	2.68	14%	23%	31%	23%	8%	
通信指導未提出		2.17	33%	19%	18%	15%	15%	2.46	22%	20%	22%	19%	15%	2.80	10%	20%	28%	24%	17%	
無記入		2.58	18%	26%	26%	23%	8%	2.71	13%	23%	32%	23%	10%	2.88	6%	24%	34%	26%	10%	
計		2.54	16%	30%	31%	18%	5%	2.60	15%	27%	32%	20%	5%	2.78	12%	23%	33%	26%	6%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 学部 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[9/11]

	評点平均	小計(問19~22)						問23						問24						
		選択肢別の回答割合						選択肢別の回答割合						選択肢別の回答割合						
		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		
学生種別	生活と福祉	2.89	38%	35%	13%	6%	9%	3.03	30%	46%	15%	6%	3%	3.24	42%	41%	12%	3%	2%	
	発達と教育	2.87	32%	36%	14%	8%	11%	3.05	31%	45%	13%	7%	4%	3.28	44%	39%	10%	3%	3%	
	社会と経済	2.85	34%	31%	15%	7%	13%	2.88	32%	35%	20%	12%	1%	3.11	39%	39%	14%	7%	1%	
	産業と技術	2.62	23%	33%	18%	8%	17%	2.84	34%	28%	23%	14%	1%	3.02	37%	37%	17%	9%	1%	
	人間の探究	2.89	37%	33%	12%	6%	12%	3.08	38%	36%	19%	5%	2%	3.33	49%	36%	10%	3%	2%	
	自然の理解	2.91	31%	33%	12%	9%	15%	2.92	32%	38%	18%	11%	1%	3.12	37%	41%	13%	6%	2%	
	小計	2.87	34%	34%	13%	7%	12%	3.00	33%	39%	17%	8%	2%	3.23	43%	39%	12%	4%	2%	
	選科履修生	2.90	35%	35%	11%	5%	14%	3.02	33%	39%	18%	7%	3%	3.24	42%	41%	11%	4%	2%	
	科目履修生	2.84	33%	33%	14%	7%	13%	3.06	33%	44%	19%	4%	0%	3.33	47%	40%	11%	2%	0%	
	無記入	2.86	32%	28%	14%	8%	18%	3.01	34%	36%	14%	9%	7%	3.26	46%	32%	9%	6%	6%	
	計	2.87	34%	34%	13%	7%	12%	3.01	33%	39%	17%	8%	3%	3.24	43%	39%	12%	4%	2%	
	性別	男性	2.82	31%	34%	15%	7%	14%	2.99	33%	39%	18%	8%	2%	3.20	42%	40%	13%	5%	1%
		女性	2.91	37%	34%	12%	6%	11%	3.02	33%	40%	17%	7%	3%	3.27	44%	39%	11%	4%	2%
		無記入	2.89	35%	30%	13%	8%	14%	2.98	33%	37%	16%	9%	5%	3.22	45%	35%	11%	6%	4%
計		2.87	34%	34%	13%	7%	12%	3.01	33%	39%	17%	8%	3%	3.24	43%	39%	12%	4%	2%	
年齢	19歳以下	2.87	41%	34%	9%	4%	12%	2.76	35%	18%	35%	12%	0%	3.12	41%	35%	18%	6%	0%	
	20~29歳	2.73	34%	31%	15%	8%	11%	2.89	29%	40%	16%	12%	2%	3.11	40%	37%	16%	6%	1%	
	30~39歳	2.84	33%	35%	13%	7%	11%	2.91	30%	39%	20%	10%	3%	3.20	41%	40%	12%	5%	2%	
	40~49歳	2.86	32%	36%	14%	7%	11%	3.01	32%	40%	19%	6%	3%	3.22	42%	40%	12%	4%	2%	
	50~59歳	2.89	33%	34%	13%	6%	14%	3.01	32%	40%	17%	7%	3%	3.28	42%	43%	10%	2%	2%	
	60~69歳	2.92	38%	34%	12%	5%	12%	3.07	35%	41%	15%	7%	2%	3.27	47%	37%	11%	5%	1%	
	70歳以上	3.05	36%	27%	12%	5%	20%	3.27	46%	35%	14%	3%	2%	3.39	52%	33%	9%	2%	3%	
	無記入	2.84	32%	31%	14%	10%	13%	2.93	29%	39%	15%	10%	7%	3.12	41%	34%	15%	7%	3%	
	計	2.87	34%	34%	13%	7%	12%	3.01	33%	39%	17%	8%	3%	3.24	43%	39%	12%	4%	2%	
職業	公務員等	2.83	29%	37%	14%	6%	14%	2.90	28%	42%	18%	9%	2%	3.10	35%	45%	13%	6%	1%	
	教員	2.73	27%	37%	16%	8%	12%	2.92	26%	40%	24%	5%	4%	3.17	37%	45%	12%	4%	1%	
	会社員	2.78	29%	34%	15%	8%	14%	2.93	32%	36%	19%	10%	2%	3.18	40%	41%	11%	6%	2%	
	個人営業・自営業	2.85	32%	34%	13%	8%	13%	2.94	35%	33%	19%	11%	2%	3.22	45%	35%	11%	6%	3%	
	農業等	2.72	34%	35%	14%	2%	15%	3.05	36%	36%	23%	5%	0%	3.18	41%	45%	5%	9%	0%	
	看護師等	2.86	38%	40%	12%	5%	5%	2.96	27%	45%	20%	6%	3%	3.20	36%	47%	12%	3%	2%	
	家事専業	2.96	36%	33%	12%	7%	12%	3.11	38%	38%	16%	6%	2%	3.36	50%	36%	10%	3%	2%	
	パート・アルバイト	2.92	34%	32%	11%	8%	14%	3.05	36%	39%	15%	8%	2%	3.22	43%	39%	11%	5%	2%	
	他大学等の学生	2.84	45%	32%	9%	5%	9%	3.02	29%	53%	9%	9%	0%	3.27	42%	47%	7%	4%	0%	
	無職	2.90	36%	31%	13%	6%	15%	3.06	35%	39%	17%	7%	3%	3.29	48%	34%	12%	4%	2%	
	その他	2.90	37%	28%	13%	6%	16%	3.07	36%	38%	17%	6%	4%	3.32	49%	33%	15%	1%	3%	
	無記入	2.91	40%	27%	14%	10%	9%	3.05	34%	41%	11%	9%	5%	3.25	48%	28%	13%	6%	5%	
	計	2.87	34%	34%	13%	7%	12%	3.01	33%	39%	17%	8%	3%	3.24	43%	39%	12%	4%	2%	
	受験指導・単位認定試験の	受験	2.86	39%	38%	14%	7%	1%	3.06	35%	41%	17%	6%	1%	3.30	46%	40%	11%	3%	0%
		未受験	3.09	17%	20%	8%	3%	52%	2.86	27%	38%	21%	10%	3%	3.04	33%	41%	18%	6%	2%
通信指導未提出		1.92	1%	1%	2%	3%	93%	2.37	15%	20%	19%	22%	22%	2.60	19%	28%	15%	18%	20%	
無記入		2.92	35%	25%	11%	10%	19%	3.00	34%	32%	18%	8%	8%	3.14	45%	23%	16%	8%	8%	
計		2.87	34%	34%	13%	7%	12%	3.01	33%	39%	17%	8%	3%	3.24	43%	39%	12%	4%	2%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 学部 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

【10/11】

		問25						問26						小計(問23~問26)						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	全学履修生	生活と福祉	2.81	19%	48%	25%	6%	2%	2.92	27%	44%	20%	7%	3%	3.00	29%	44%	18%	6%	3%
		発達と教育	2.94	28%	44%	16%	9%	3%	3.02	33%	41%	15%	8%	3%	3.07	34%	42%	14%	7%	3%
		社会と経済	2.57	18%	37%	26%	17%	2%	2.77	29%	33%	22%	14%	2%	2.83	29%	36%	21%	13%	1%
		産業と技術	2.55	22%	29%	31%	17%	1%	2.62	24%	33%	23%	19%	1%	2.76	29%	32%	23%	15%	1%
		人間の探究	2.89	26%	42%	25%	6%	2%	3.03	34%	38%	19%	6%	2%	3.08	37%	38%	18%	5%	2%
		自然の理解	2.62	19%	37%	30%	13%	2%	2.77	28%	33%	25%	12%	2%	2.86	29%	37%	21%	11%	2%
		小計	2.78	23%	41%	24%	10%	2%	2.91	30%	38%	20%	10%	2%	2.98	32%	39%	18%	8%	2%
	選科履修生	2.88	27%	41%	20%	9%	3%	2.99	31%	42%	18%	7%	3%	3.03	33%	41%	17%	7%	3%	
	科目履修生	2.96	28%	46%	19%	6%	0%	2.99	30%	47%	16%	7%	0%	3.08	34%	44%	16%	5%	0%	
	無記入	2.76	21%	42%	18%	13%	6%	2.93	29%	40%	13%	12%	6%	2.99	33%	37%	13%	10%	7%	
	計	2.81	24%	42%	23%	10%	2%	2.93	30%	40%	19%	9%	2%	3.00	33%	40%	18%	8%	2%	
	性別	男性	2.79	23%	43%	23%	10%	1%	2.90	30%	39%	20%	10%	2%	2.97	32%	40%	18%	8%	2%
		女性	2.83	24%	41%	23%	9%	3%	2.95	30%	40%	18%	8%	3%	3.02	33%	40%	17%	7%	3%
無記入		2.83	27%	38%	20%	12%	4%	3.00	35%	37%	15%	10%	4%	3.01	35%	37%	15%	9%	4%	
計		2.81	24%	42%	23%	10%	2%	2.93	30%	40%	19%	9%	2%	3.00	33%	40%	18%	8%	2%	
年齢	19歳以下	2.65	18%	41%	29%	12%	0%	2.59	12%	47%	29%	12%	0%	2.78	26%	35%	28%	10%	0%	
	20~29歳	2.61	18%	40%	27%	14%	1%	2.80	27%	38%	21%	13%	1%	2.85	28%	39%	20%	12%	1%	
	30~39歳	2.70	22%	38%	26%	12%	2%	2.83	27%	38%	22%	11%	3%	2.91	30%	38%	20%	9%	2%	
	40~49歳	2.82	23%	44%	21%	10%	3%	2.92	29%	42%	17%	10%	2%	2.99	31%	42%	17%	7%	2%	
	50~59歳	2.84	23%	42%	24%	8%	3%	2.96	29%	42%	19%	7%	3%	3.02	32%	42%	17%	6%	3%	
	60~69歳	2.88	26%	43%	21%	8%	2%	3.00	33%	39%	19%	7%	1%	3.06	35%	40%	17%	7%	1%	
	70歳以上	3.13	35%	45%	14%	4%	2%	3.20	44%	34%	14%	6%	2%	3.25	44%	37%	13%	4%	2%	
	無記入	2.72	24%	34%	27%	12%	3%	2.95	32%	36%	14%	12%	7%	2.93	31%	36%	18%	10%	5%	
計	2.81	24%	42%	23%	10%	2%	2.93	30%	40%	19%	9%	2%	3.00	33%	40%	18%	8%	2%		
職業	公務員等	2.73	23%	38%	25%	12%	2%	2.87	26%	42%	20%	9%	2%	2.90	28%	42%	19%	9%	2%	
	教員	2.79	23%	39%	27%	8%	2%	2.87	25%	42%	22%	8%	2%	2.94	28%	42%	21%	6%	2%	
	会社員	2.67	19%	39%	28%	12%	2%	2.84	28%	38%	22%	11%	2%	2.90	30%	39%	20%	10%	2%	
	個人営業・自営業	2.83	25%	40%	23%	10%	3%	2.90	33%	33%	19%	12%	3%	2.97	35%	35%	18%	10%	3%	
	農業等	2.64	18%	50%	9%	23%	0%	2.73	23%	36%	32%	9%	0%	2.90	30%	42%	17%	11%	0%	
	看護師等	2.80	18%	50%	23%	7%	2%	2.87	21%	51%	20%	7%	2%	2.96	25%	48%	19%	6%	2%	
	家事専業	2.91	29%	38%	20%	9%	3%	3.03	34%	38%	17%	7%	3%	3.10	38%	38%	16%	6%	2%	
	パート・アルバイト	2.70	22%	39%	23%	14%	2%	2.89	32%	35%	20%	12%	2%	2.96	33%	38%	17%	10%	2%	
	他大学等の学生	2.93	29%	49%	9%	13%	0%	3.02	29%	51%	13%	7%	0%	3.06	32%	50%	9%	8%	0%	
	無職	2.89	26%	43%	21%	8%	2%	3.02	35%	39%	16%	8%	2%	3.07	36%	39%	16%	7%	2%	
	その他	2.94	30%	38%	24%	6%	3%	2.98	37%	31%	20%	10%	3%	3.08	38%	35%	19%	6%	3%	
	無記入	2.87	27%	39%	20%	9%	5%	3.11	39%	39%	6%	11%	5%	3.07	37%	37%	13%	9%	5%	
	計	2.81	24%	42%	23%	10%	2%	2.93	30%	40%	19%	9%	2%	3.00	33%	40%	18%	8%	2%	
	受験指導・単位認定試験の	受験	2.88	25%	44%	22%	7%	0%	2.99	32%	42%	19%	7%	0%	3.06	35%	42%	17%	6%	0%
未受験		2.61	19%	33%	30%	13%	4%	2.79	25%	36%	24%	11%	4%	2.82	26%	37%	23%	10%	3%	
通信指導未提出		2.09	8%	21%	17%	31%	22%	2.21	14%	19%	15%	30%	22%	2.32	14%	22%	17%	25%	22%	
無記入		2.81	27%	32%	19%	13%	8%	2.97	32%	39%	10%	13%	6%	2.98	35%	31%	16%	10%	8%	
計		2.81	24%	42%	23%	10%	2%	2.93	30%	40%	19%	9%	2%	3.00	33%	40%	18%	8%	2%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
 但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 学部 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

【11/11】

		合計(問1～問26)						
		評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答	
学生種別	全 科 履 修 生	生活と福祉	2.83	27%	39%	21%	9%	5%
		10,920	2,895	4,214	2,345	931	535	
		発達と教育	2.89	26%	36%	21%	10%	7%
		12,246	3,168	4,463	2,614	1,197	804	
		社会と経済	2.75	27%	33%	22%	13%	4%
		13,026	3,487	4,331	2,919	1,732	557	
		産業と技術	2.63	22%	34%	25%	13%	5%
		2,418	541	829	606	317	125	
		人間の探究	2.89	29%	35%	21%	9%	5%
		14,742	4,228	5,231	3,133	1,398	752	
		自然の理解	2.76	25%	35%	23%	12%	5%
		3,770	957	1,313	885	436	179	
		小計	2.82	27%	36%	22%	11%	5%
		57,122	15,276	20,381	12,502	6,011	2,952	
選科履修生	2.88	28%	37%	21%	9%	5%		
15,106	4,158	5,623	3,122	1,425	778			
科目履修生	2.90	29%	37%	21%	10%	4%		
5,330	1,525	1,962	1,101	530	212			
無記入	2.84	27%	34%	19%	10%	9%		
2,470	673	844	471	254	228			
計	2.84	27%	36%	21%	10%	5%		
80,028	21,632	28,810	17,196	8,220	4,170			
性別	男性	2.83	26%	36%	22%	11%	4%	
	34,372	9,074	12,415	7,578	3,769	1,536		
	女性	2.85	27%	36%	21%	10%	6%	
	41,236	11,325	14,881	8,744	3,991	2,295		
無記入	2.83	28%	34%	20%	10%	8%		
4,420	1,233	1,514	874	460	339			
計	2.84	27%	36%	21%	10%	5%		
80,028	21,632	28,810	17,196	8,220	4,170			
年齢	19歳以下	2.62	27%	38%	25%	7%	2%	
	442	121	169	111	31	10		
	20～29歳	2.68	24%	36%	24%	12%	4%	
	8,996	2,195	3,198	2,118	1,122	363		
	30～39歳	2.76	25%	36%	23%	11%	5%	
	15,600	3,874	5,649	3,557	1,705	815		
	40～49歳	2.84	25%	37%	22%	10%	5%	
	16,042	4,072	5,917	3,601	1,604	848		
	50～59歳	2.88	27%	36%	21%	10%	6%	
	15,990	4,320	5,804	3,344	1,609	913		
60～69歳	2.91	30%	36%	20%	9%	5%		
14,898	4,452	5,436	2,949	1,368	693			
70歳以上	3.04	34%	32%	18%	10%	6%		
6,526	2,196	2,090	1,203	620	417			
無記入	2.77	26%	36%	20%	10%	7%		
1,534	402	547	313	161	111			
計	2.84	27%	36%	21%	10%	5%		
80,028	21,632	28,810	17,196	8,220	4,170			
職業	公務員等	2.79	23%	37%	23%	12%	5%	
	6,890	1,611	2,561	1,584	800	334		
	教員	2.80	23%	38%	23%	10%	6%	
	2,574	600	966	588	265	155		
	会社員	2.76	25%	36%	23%	11%	5%	
	10,660	2,613	3,842	2,469	1,192	544		
	個人営業・自営業	2.83	28%	32%	21%	12%	7%	
	4,914	1,364	1,588	1,028	604	330		
	農業等	2.73	27%	36%	24%	9%	5%	
	572	153	204	135	50	30		
	看護師等	2.79	24%	41%	22%	8%	4%	
	11,622	2,826	4,766	2,594	923	513		
	家事専業	2.92	30%	35%	20%	10%	5%	
	8,398	2,532	2,931	1,679	810	446		
	パート・アルバイト	2.79	27%	36%	21%	11%	5%	
8,086	2,182	2,886	1,668	912	438			
他大学等の学生	2.79	31%	38%	19%	11%	1%		
1,170	359	447	225	123	16			
無職	2.91	29%	35%	21%	10%	5%		
18,460	5,445	6,428	3,839	1,839	909			
その他	2.90	29%	33%	21%	11%	7%		
5,018	1,444	1,631	1,058	537	348			
無記入	2.90	30%	34%	20%	10%	6%		
1,664	503	560	329	165	107			
計	2.84	27%	36%	21%	10%	5%		
80,028	21,632	28,810	17,196	8,220	4,170			
通信指導・単位認定試験の 受検有無	受検	2.88	29%	38%	21%	10%	2%	
	65,754	18,843	24,838	14,133	6,343	1,597		
	未受検	2.72	21%	33%	23%	10%	12%	
	7,566	1,613	2,482	1,754	788	929		
	通信指導未提出	2.39	15%	19%	19%	18%	29%	
	5,096	752	978	992	909	1,465		
無記入	2.85	26%	32%	20%	11%	11%		
1,612	424	512	317	180	179			
計	2.84	27%	36%	21%	10%	5%		
80,028	21,632	28,810	17,196	8,220	4,170			

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
 但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
 2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[1/11]

		問1							問2							問3						
		評点平均	選択肢別の回答割合						評点平均	選択肢別の回答割合						評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答	4		3	2	1	無回答	4	3		2	1	無回答			
学生種別	文化情報科学群	3.31	49%	33%	13%	3%	2%	3.21	39%	42%	14%	2%	3%	3.01	44%	25%	17%	13%	1%			
	環境システム科学群	3.30	46%	41%	9%	4%	1%	3.21	35%	49%	12%	1%	3%	3.06	42%	32%	18%	9%	0%			
	政策経営	3.21	47%	29%	20%	3%	1%	3.30	44%	42%	12%	1%	1%	2.78	29%	35%	19%	15%	2%			
	教育開発	3.31	44%	47%	6%	3%	0%	2.84	22%	44%	25%	6%	3%	2.75	34%	22%	28%	16%	0%			
	臨床心理	3.46	57%	36%	4%	4%	0%	3.25	39%	50%	7%	4%	0%	3.04	32%	43%	21%	4%	0%			
	小計	3.29	48%	36%	12%	3%	1%	3.21	37%	45%	13%	2%	3%	2.97	39%	30%	19%	12%	1%			
	修士選科生	3.25	45%	37%	13%	4%	1%	3.20	38%	43%	14%	3%	2%	2.97	37%	31%	20%	10%	2%			
	修士科目生	3.13	40%	38%	13%	7%	1%	3.26	42%	42%	11%	3%	2%	2.71	30%	25%	26%	16%	3%			
	無記入	3.23	48%	29%	21%	2%	0%	3.23	43%	43%	9%	5%	0%	2.66	30%	18%	30%	16%	5%			
	計	3.25	46%	37%	13%	4%	1%	3.21	38%	44%	13%	3%	2%	2.92	36%	30%	21%	11%	2%			
性別	男性	3.28	48%	35%	13%	3%	1%	3.24	40%	44%	12%	2%	2%	2.96	38%	29%	20%	11%	2%			
	女性	3.20	43%	39%	12%	5%	1%	3.16	36%	43%	15%	3%	3%	2.88	35%	31%	21%	13%	1%			
	無記入	3.27	44%	37%	15%	2%	3%	3.16	38%	43%	10%	6%	3%	2.86	34%	26%	27%	10%	3%			
	計	3.25	46%	37%	13%	4%	1%	3.21	38%	44%	13%	3%	2%	2.92	36%	30%	21%	11%	2%			
年齢	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	20~29歳	3.16	42%	36%	16%	5%	1%	3.19	38%	45%	9%	5%	3%	2.91	36%	29%	19%	13%	3%			
	30~39歳	3.06	35%	42%	17%	6%	0%	3.21	40%	41%	15%	2%	2%	2.73	32%	26%	23%	18%	1%			
	40~49歳	3.28	45%	40%	12%	2%	1%	3.18	36%	46%	14%	2%	2%	2.95	36%	32%	20%	10%	2%			
	50~59歳	3.14	42%	36%	14%	7%	2%	3.16	36%	43%	14%	3%	4%	2.90	35%	31%	20%	12%	1%			
	60~69歳	3.50	62%	27%	9%	2%	0%	3.26	42%	43%	11%	2%	1%	3.09	41%	32%	17%	8%	3%			
	70歳以上	3.42	54%	34%	9%	2%	2%	3.34	46%	41%	9%	1%	3%	3.10	46%	23%	23%	6%	2%			
	無記入	3.13	37%	40%	23%	0%	0%	3.07	30%	53%	10%	7%	0%	2.43	17%	27%	40%	17%	0%			
計	3.25	46%	37%	13%	4%	1%	3.21	38%	44%	13%	3%	2%	2.92	36%	30%	21%	11%	2%				
職業	公務員等	3.15	39%	40%	16%	4%	1%	3.19	36%	47%	13%	2%	2%	2.94	35%	31%	25%	8%	1%			
	教員	3.22	43%	40%	11%	5%	0%	3.19	39%	41%	15%	3%	3%	2.88	33%	31%	25%	10%	1%			
	会社員	3.19	41%	39%	16%	3%	1%	3.24	38%	46%	11%	2%	3%	2.84	34%	30%	18%	16%	3%			
	個人営業・自営業	3.34	50%	37%	11%	2%	1%	3.30	42%	43%	11%	1%	2%	3.16	49%	24%	17%	8%	2%			
	農業等	3.80	80%	20%	0%	0%	0%	3.80	90%	0%	10%	0%	0%	3.50	50%	50%	0%	0%	0%			
	看護師等	3.23	42%	45%	8%	5%	0%	3.15	37%	40%	22%	0%	2%	2.67	23%	38%	20%	18%	0%			
	家事専業	3.23	45%	37%	14%	4%	0%	3.12	38%	40%	16%	5%	1%	2.93	34%	35%	23%	9%	0%			
	パート・アルバイト	3.23	48%	32%	13%	6%	1%	3.08	33%	46%	15%	5%	1%	2.86	36%	27%	22%	14%	1%			
	他大学等の学生	3.07	36%	50%	0%	14%	0%	3.29	29%	71%	0%	0%	0%	2.29	36%	7%	7%	50%	0%			
	無職	3.41	56%	28%	12%	2%	2%	3.22	40%	42%	12%	3%	3%	3.09	43%	27%	19%	8%	3%			
	その他	3.33	51%	30%	13%	3%	2%	3.28	41%	43%	11%	1%	3%	3.03	41%	27%	18%	10%	4%			
	無記入	3.00	35%	35%	23%	6%	0%	3.06	35%	45%	10%	10%	0%	2.32	16%	26%	32%	26%	0%			
	計	3.25	46%	37%	13%	4%	1%	3.21	38%	44%	13%	3%	2%	2.92	36%	30%	21%	11%	2%			
	通達指導・単位認定試験の 受験有無	受験	3.39	51%	39%	9%	1%	0%	3.24	40%	43%	13%	2%	2%	3.04	40%	31%	19%	8%	1%		
未受験		2.81	27%	37%	26%	10%	1%	3.13	31%	48%	15%	2%	3%	2.48	22%	24%	31%	21%	2%			
通信指導未提出		2.18	14%	18%	33%	29%	6%	2.99	26%	43%	14%	6%	11%	2.15	14%	17%	28%	31%	10%			
無記入		3.17	43%	31%	26%	0%	0%	3.07	38%	38%	17%	7%	0%	2.69	24%	38%	21%	17%	0%			
計		3.25	46%	37%	13%	4%	1%	3.21	38%	44%	13%	3%	2%	2.92	36%	30%	21%	11%	2%			

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[2/11]

		問4						問5						問6					
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合				
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答
学生種別	文化情報科学群	2.93	7%	21%	38%	30%	4%	2.90	9%	20%	39%	28%	4%	2.99	7%	18%	39%	31%	5%
	環境システム科学群	1.75	13%	37%	66%	52%	7%	1.75	15%	35%	69%	49%	7%	1.75	12%	31%	69%	54%	9%
	政策経営	2.67	8%	35%	36%	19%	3%	2.77	8%	29%	38%	22%	4%	2.93	9%	18%	39%	29%	5%
	教育開発	1.59	12%	55%	58%	30%	4%	1.59	12%	46%	60%	35%	6%	1.59	14%	29%	62%	46%	8%
	臨床心理	2.67	14%	21%	42%	18%	4%	2.76	9%	23%	41%	19%	7%	3.07	6%	15%	38%	34%	7%
	小計	98	14%	21%	41%	18%	4%	98	9%	23%	40%	19%	7%	98	6%	15%	37%	33%	7%
	修選科生	2.84	6%	22%	50%	19%	3%	3.00	3%	16%	59%	22%	0%	2.86	6%	19%	47%	19%	9%
	修選科目生	32	2%	7%	16%	6%	1%	32	1%	5%	19%	7%	0%	32	2%	6%	15%	6%	3%
	無記入	3.30	0%	11%	46%	39%	4%	3.00	4%	21%	46%	29%	0%	2.93	0%	32%	43%	25%	0%
	計	28	0%	3%	13%	11%	1%	28	1%	6%	13%	8%	0%	28	0%	9%	12%	7%	0%
	性別	2.81	8%	25%	39%	24%	3%	2.85	8%	23%	41%	24%	4%	2.97	7%	18%	40%	30%	5%
	男性	492	41%	123%	194%	117%	17%	492	38%	115%	201%	118%	20%	492	34%	90%	195%	146%	27%
女性	2.87	6%	25%	42%	24%	4%	2.91	7%	21%	42%	26%	4%	2.85	8%	23%	39%	26%	4%	
無記入	833	48%	207%	347%	198%	33%	833	56%	173%	353%	214%	37%	833	69%	193%	323%	214%	34%	
年齢	2.78	9%	25%	40%	21%	5%	2.84	9%	22%	38%	25%	7%	2.73	12%	23%	37%	22%	6%	
19歳以下	208	18%	52%	84%	44%	10%	208	19%	45%	79%	51%	14%	208	25%	48%	77%	46%	12%	
20~29歳	2.80	7%	23%	41%	20%	9%	2.80	5%	29%	36%	21%	9%	2.96	4%	21%	43%	25%	7%	
30~39歳	56	4%	13%	23%	11%	5%	56	3%	16%	20%	12%	5%	56	2%	12%	24%	14%	4%	
40~49歳	2.84	7%	25%	41%	23%	4%	2.88	7%	22%	41%	25%	5%	2.88	8%	22%	39%	26%	5%	
50~59歳	1,589	111%	395%	648%	370%	65%	1,589	116%	349%	653%	395%	76%	1,589	130%	343%	619%	420%	77%	
60~69歳	2.86	7%	23%	43%	23%	4%	2.88	7%	22%	41%	25%	5%	2.88	9%	21%	39%	27%	5%	
70歳以上	901	61%	209%	384%	209%	38%	901	64%	197%	373%	223%	44%	901	78%	185%	354%	239%	45%	
無記入	2.82	7%	28%	38%	24%	4%	2.89	7%	21%	42%	25%	5%	2.87	8%	23%	38%	27%	5%	
計	573	39%	160%	215%	137%	22%	573	40%	123%	238%	144%	28%	573	44%	133%	216%	152%	28%	
職業	2.78	10%	23%	43%	21%	4%	2.77	10%	25%	37%	24%	3%	2.89	7%	22%	43%	25%	3%	
公務員等	115	11%	26%	49%	24%	5%	115	12%	29%	42%	28%	4%	115	8%	25%	49%	29%	4%	
教員	2.84	7%	25%	41%	23%	4%	2.88	7%	22%	41%	25%	5%	2.88	8%	22%	39%	26%	5%	
会社員	1,589	111%	395%	648%	370%	65%	1,589	116%	349%	653%	395%	76%	1,589	130%	343%	619%	420%	77%	
個人営業・自営業	2.87	6%	24%	44%	23%	3%	2.94	5%	21%	47%	24%	4%	2.93	9%	18%	42%	28%	4%	
農業等	228	14%	54%	100%	53%	7%	228	11%	47%	107%	55%	8%	228	20%	40%	96%	64%	8%	
看護師等	2.84	7%	24%	42%	23%	4%	2.82	8%	23%	44%	21%	4%	2.83	7%	23%	45%	20%	5%	
家事専業	302	21%	72%	128%	69%	12%	302	24%	69%	132%	64%	13%	302	20%	69%	137%	60%	16%	
パート・アルバイト	2.74	9%	21%	48%	16%	6%	2.81	7%	23%	43%	20%	7%	2.90	8%	22%	34%	29%	7%	
他大学等の学生	282	26%	60%	135%	44%	17%	282	20%	66%	122%	55%	19%	282	23%	61%	96%	82%	20%	
無職	3.06	3%	23%	35%	35%	4%	2.97	7%	22%	37%	32%	3%	2.87	15%	14%	37%	31%	3%	
その他	123	4%	28%	43%	43%	5%	123	8%	27%	45%	39%	4%	123	18%	17%	46%	38%	4%	
通程指導・単位認定試験の受験有無	2.70	0%	50%	30%	20%	0%	3.20	10%	10%	30%	50%	0%	3.50	0%	10%	30%	60%	0%	
受験	10	0%	5%	3%	2%	0%	10	1%	1%	3%	5%	0%	10	0%	1%	3%	6%	0%	
未受験	2.47	7%	47%	32%	10%	5%	2.70	8%	28%	40%	17%	7%	2.86	8%	22%	38%	25%	7%	
通信指導未提出	60	4%	28%	19%	6%	3%	60	5%	17%	24%	10%	4%	60	5%	13%	23%	15%	4%	
無記入	2.81	8%	30%	33%	27%	3%	2.83	10%	24%	35%	27%	5%	2.90	6%	22%	44%	24%	4%	
計	104	8%	31%	34%	28%	3%	104	10%	25%	36%	28%	5%	104	6%	23%	46%	25%	4%	
受検	2.88	7%	28%	33%	31%	1%	2.88	11%	20%	38%	30%	1%	2.73	12%	29%	34%	26%	0%	
未受検	2.88	7%	28%	33%	31%	1%	2.88	11%	20%	38%	30%	1%	2.73	12%	29%	34%	26%	0%	
通信指導未提出	94	7%	26%	31%	29%	1%	94	10%	19%	36%	28%	1%	94	11%	27%	32%	24%	0%	
無記入	3.30	0%	14%	21%	36%	29%	3.10	7%	14%	14%	36%	29%	2.73	0%	43%	14%	21%	21%	
計	14	0%	2%	3%	5%	4%	14	1%	2%	2%	5%	4%	14	0%	6%	2%	3%	3%	
受検	2.74	7%	33%	36%	22%	2%	2.86	9%	22%	39%	26%	4%	2.85	9%	24%	37%	27%	3%	
未受検	205	15%	67%	73%	45%	5%	205	18%	46%	79%	54%	8%	205	18%	49%	75%	56%	7%	
通信指導未提出	3.04	7%	13%	46%	29%	6%	3.08	5%	15%	40%	32%	7%	2.93	6%	23%	35%	28%	8%	
無記入	136	9%	17%	62%	40%	8%	136	7%	20%	55%	44%	10%	136	8%	31%	48%	38%	11%	
受検	2.84	10%	16%	55%	19%	0%	2.87	3%	32%	39%	26%	0%	3.03	3%	19%	48%	29%	0%	
未受検	31	3%	5%	17%	6%	0%	31	1%	10%	12%	8%	0%	31	1%	6%	15%	9%	0%	
通信指導未提出	2.84	7%	25%	41%	23%	4%	2.88	7%	22%	41%	25%	5%	2.88	8%	22%	39%	26%	5%	
無記入	1,589	111%	395%	648%	370%	65%	1,589	116%	349%	653%	395%	76%	1,589	130%	343%	619%	420%	77%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[3/11]

		問7						問8						問9					
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合				
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答
学生種別	文化情報科学群	3.11	36%	38%	16%	5%	5%	3.35	49%	33%	11%	2%	5%	3.17	39%	33%	19%	2%	7%
	環境システム科学群	1.75	63	67	28	8	9	1.75	85	58	19	4	9	1.75	69	57	33	4	12
	政策経営	3.03	25%	50%	16%	3%	5%	3.14	30%	53%	10%	3%	4%	3.14	33%	47%	11%	4%	6%
	教育開発	1.59	40	80	26	5	8	1.59	48	84	16	5	6	1.59	52	74	17	7	9
	臨床心理	3.06	29%	42%	17%	3%	9%	3.24	41%	36%	14%	2%	7%	3.16	39%	33%	16%	4%	8%
	小計	98	28	41	17	3	9	98	40	35	14	2	7	98	38	32	16	4	8
	修学選科生	3.07	25%	50%	6%	6%	13%	3.11	34%	31%	13%	6%	16%	3.00	22%	50%	16%	3%	9%
	修学科目生	32	8	16	2	2	4	32	11	10	4	2	5	32	7	16	5	1	3
	無記入	3.18	29%	61%	11%	0%	0%	3.29	39%	50%	11%	0%	0%	3.19	29%	57%	11%	0%	4%
	計	28	8	17	3	0	0	28	11	14	3	0	0	28	8	16	3	0	1
性別	男性	3.08	30%	45%	15%	4%	6%	3.24	40%	41%	11%	3%	5%	3.15	35%	40%	15%	3%	7%
	女性	492	147	221	76	18	30	492	195	201	56	13	27	492	174	195	74	16	33
	無記入	3.02	27%	46%	18%	4%	4%	3.21	39%	40%	13%	3%	4%	3.10	33%	42%	16%	4%	6%
	計	833	229	386	151	32	35	833	328	337	110	25	33	833	273	348	133	30	49
年齢	19歳以下	2.89	23%	42%	22%	6%	7%	3.07	34%	38%	15%	6%	7%	3.06	31%	40%	15%	5%	8%
	20~29歳	208	48	87	46	12	15	208	70	80	31	13	14	208	65	83	32	11	17
	30~39歳	2.91	25%	41%	23%	5%	5%	3.13	32%	48%	9%	5%	5%	2.98	27%	45%	18%	5%	5%
	40~49歳	56	14	23	13	3	3	56	18	27	5	3	3	56	15	25	10	3	3
	50~59歳	3.01	28%	45%	18%	4%	5%	3.20	38%	41%	13%	3%	5%	3.11	33%	41%	16%	4%	6%
	60~69歳	1,589	438	717	286	65	83	1,589	611	645	202	54	77	1,589	527	651	249	60	102
	70歳以上	3.03	29%	44%	18%	4%	5%	3.21	39%	40%	13%	3%	5%	3.13	35%	40%	15%	4%	6%
	無記入	901	260	396	159	39	47	901	352	362	116	28	43	901	317	361	133	37	53
	計	3.02	27%	47%	18%	3%	5%	3.19	38%	41%	13%	3%	5%	3.09	31%	42%	17%	3%	7%
職業	公務員等	573	152	269	101	20	31	573	216	234	73	20	30	573	177	241	97	17	41
	教員	2.89	23%	45%	23%	5%	4%	3.16	37%	43%	11%	5%	3%	3.02	29%	43%	17%	5%	7%
	会社員	115	26	52	26	6	5	115	43	49	13	6	4	115	33	49	19	6	8
	個人営業・自営業	3.01	28%	45%	18%	4%	5%	3.20	38%	41%	13%	3%	5%	3.11	33%	41%	16%	4%	6%
	農業等	1,589	438	717	286	65	83	1,589	611	645	202	54	77	1,589	527	651	249	60	102
	看護師等	3.09	29%	48%	17%	2%	4%	3.16	37%	41%	15%	3%	4%	3.12	34%	40%	16%	4%	6%
	家事専業	2.95	24%	47%	20%	4%	6%	3.18	33%	48%	11%	3%	5%	3.08	30%	45%	17%	3%	5%
	パート・アルバイト	302	72	141	59	13	17	302	100	146	33	8	15	302	92	135	52	8	15
	他大学等の学生	2.88	26%	44%	17%	6%	7%	3.18	38%	39%	11%	5%	7%	3.10	33%	39%	15%	5%	8%
	無職	282	74	124	47	16	21	282	107	109	32	14	20	282	94	110	42	13	23
通達指導・単位認定試験の	受験	3.02	33%	37%	20%	6%	4%	3.27	45%	37%	12%	3%	3%	3.07	37%	33%	19%	6%	7%
	未受験	123	41	45	25	7	5	123	55	45	15	4	4	123	45	40	23	7	8
	通信指導未提出	3.60	60%	40%	0%	0%	0%	3.70	70%	30%	0%	0%	0%	3.70	70%	30%	0%	0%	0%
	無記入	3.00	18%	62%	8%	5%	7%	3.25	33%	50%	10%	0%	7%	3.13	25%	57%	7%	3%	8%
	計	60	11	37	5	3	4	60	20	30	6	0	4	60	15	34	4	2	5
	その他	3.08	28%	50%	18%	1%	3%	3.27	40%	44%	11%	2%	3%	3.20	37%	41%	15%	1%	6%
無記入	104	29	52	19	1	3	104	42	46	11	2	3	104	38	43	16	1	6	
計	2.89	28%	41%	23%	7%	0%	3.03	40%	31%	18%	10%	1%	2.91	32%	37%	19%	11%	1%	
受検有無	受検	94	26	39	22	7	0	94	38	29	17	9	1	94	30	35	18	10	1
	未受検	2.80	21%	29%	7%	14%	29%	3.00	29%	29%	0%	14%	29%	3.00	21%	36%	7%	7%	29%
	通信指導未提出	14	3	4	1	2	4	14	4	4	0	2	4	14	3	5	1	1	4
	無記入	3.06	32%	42%	19%	3%	3%	3.28	45%	35%	16%	1%	3%	3.19	37%	40%	16%	1%	6%
	計	205	65	87	39	7	7	205	93	71	32	3	6	205	75	83	32	3	12
単位認定試験	受検	3.10	28%	45%	18%	1%	9%	3.26	39%	39%	13%	1%	8%	3.15	31%	44%	13%	2%	10%
	未受検	136	38	61	24	1	12	136	53	53	18	1	11	136	42	60	18	3	13
	通信指導未提出	2.77	23%	45%	19%	13%	0%	2.87	26%	48%	13%	13%	0%	2.77	26%	35%	23%	13%	3%
	無記入	31	7	14	6	4	0	31	8	15	4	4	0	31	8	11	7	4	1
	計	3.01	28%	45%	18%	4%	5%	3.20	38%	41%	13%	3%	5%	3.11	33%	41%	16%	4%	6%
単位認定試験	1,589	438	717	286	65	83	1,589	611	645	202	54	77	1,589	527	651	249	60	102	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[4/11]

		問10						小計(問3~10)						問11						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	文化情報科学群	3.13	41%	31%	15%	6%	6%	3.07	29%	27%	24%	15%	5%	5%	3.25	43%	43%	10%	4%	1%
	環境システム科学群	3.09	38%	34%	16%	7%	5%	2.98	24%	37%	23%	12%	4%	3.25	45%	36%	14%	3%	1%	
	政策経営	3.04	41%	23%	22%	7%	6%	2.97	26%	29%	26%	13%	6%	3.04	34%	40%	19%	5%	2%	
	教育開発	2.93	22%	41%	22%	3%	13%	2.94	19%	31%	30%	12%	8%	3.44	56%	31%	13%	0%	0%	
	臨床心理	3.15	32%	46%	18%	0%	4%	3.13	21%	40%	26%	12%	1%	3.32	39%	54%	7%	0%	0%	
	小計	3.09	38%	32%	17%	6%	6%	3.02	26%	32%	25%	13%	5%	3.23	42%	40%	13%	3%	1%	
	修士選科生	3.06	35%	35%	18%	6%	6%	3.00	24%	33%	26%	13%	4%	3.20	41%	40%	14%	3%	1%	
	修士科目生	2.93	29%	34%	21%	7%	9%	2.87	22%	31%	27%	14%	6%	3.13	40%	37%	13%	7%	3%	
	無記入	3.06	36%	30%	20%	5%	9%	2.91	21%	32%	27%	13%	7%	3.25	46%	34%	14%	4%	2%	
	計	3.05	35%	34%	18%	6%	6%	2.99	24%	32%	26%	13%	5%	3.20	42%	39%	14%	4%	1%	
性別	男性	3.02	35%	33%	18%	8%	6%	3.00	25%	32%	26%	13%	5%	3.26	45%	37%	14%	3%	1%	
	女性	3.10	35%	36%	18%	4%	8%	2.98	23%	34%	25%	13%	5%	3.11	36%	44%	13%	6%	1%	
	無記入	3.03	35%	30%	22%	5%	8%	2.92	23%	32%	28%	13%	5%	3.21	41%	40%	15%	3%	2%	
	計	3.05	35%	34%	18%	6%	6%	2.99	24%	32%	26%	13%	5%	3.20	42%	39%	14%	4%	1%	
年齢	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	3.15	39%	32%	17%	4%	8%	2.89	23%	34%	25%	13%	6%	3.25	43%	40%	13%	3%	1%	
	30~39歳	2.96	30%	37%	17%	9%	7%	2.89	23%	33%	26%	14%	4%	3.07	34%	45%	14%	7%	1%	
	40~49歳	3.07	36%	33%	19%	5%	6%	3.00	23%	33%	27%	12%	5%	3.20	39%	41%	15%	2%	2%	
	50~59歳	3.05	34%	35%	17%	6%	7%	2.99	23%	33%	26%	13%	6%	3.10	37%	40%	17%	5%	1%	
	60~69歳	3.13	41%	32%	16%	6%	5%	3.08	28%	30%	23%	14%	4%	3.40	54%	34%	9%	2%	0%	
	70歳以上	3.03	33%	35%	22%	4%	6%	3.05	28%	32%	24%	12%	4%	3.37	54%	32%	8%	5%	2%	
	無記入	2.90	37%	23%	27%	10%	3%	2.83	18%	33%	34%	15%	1%	3.07	33%	40%	27%	0%	0%	
	計	3.05	35%	34%	18%	6%	6%	2.99	24%	32%	26%	13%	5%	3.20	42%	39%	14%	4%	1%	
職業	公務員等	3.14	40%	32%	18%	4%	5%	3.02	24%	32%	28%	12%	4%	3.10	36%	41%	17%	5%	0%	
	教員	3.00	32%	36%	20%	6%	6%	2.95	22%	35%	28%	11%	5%	3.17	40%	41%	15%	4%	1%	
	会社員	3.00	35%	29%	21%	7%	8%	2.94	24%	31%	26%	13%	7%	3.20	40%	39%	15%	3%	3%	
	個人営業・自営業	3.08	41%	27%	18%	8%	6%	3.06	29%	27%	24%	16%	4%	3.26	43%	41%	12%	2%	1%	
	農業等	3.40	50%	40%	10%	0%	0%	3.41	39%	33%	13%	16%	0%	3.60	60%	40%	0%	0%	0%	
	看護師等	2.96	18%	50%	15%	3%	13%	2.88	18%	44%	21%	10%	7%	3.27	43%	42%	10%	3%	2%	
	家事専業	3.14	38%	32%	19%	3%	9%	3.02	25%	35%	25%	12%	4%	3.08	31%	50%	13%	5%	1%	
	パート・アルバイト	3.08	39%	37%	13%	10%	1%	2.91	26%	31%	25%	17%	1%	3.16	41%	39%	13%	6%	0%	
	他大学等の学生	3.00	29%	29%	0%	14%	29%	2.87	18%	25%	9%	24%	24%	3.14	36%	50%	7%	7%	0%	
	無職	3.02	33%	39%	15%	8%	5%	3.01	27%	33%	24%	12%	4%	3.40	56%	29%	10%	3%	2%	
	その他	3.15	38%	34%	18%	3%	7%	3.09	24%	30%	25%	13%	7%	3.23	44%	36%	13%	4%	2%	
	無記入	2.70	26%	29%	29%	13%	3%	2.77	17%	31%	32%	19%	1%	2.87	29%	39%	23%	10%	0%	
	計	3.05	35%	34%	18%	6%	6%	2.99	24%	32%	26%	13%	5%	3.20	42%	39%	14%	4%	1%	
	通達指導・単位認定試験の受験有無	受験	3.09	37%	35%	17%	6%	4%	3.03	26%	33%	26%	13%	3%	3.32	46%	42%	11%	1%	1%
未受験		2.86	28%	30%	23%	9%	10%	2.82	18%	32%	31%	13%	6%	2.93	31%	38%	21%	9%	1%	
通信指導未提出		2.85	22%	28%	20%	7%	24%	2.73	16%	28%	23%	12%	20%	2.20	12%	20%	31%	26%	10%	
無記入		2.85	31%	24%	31%	7%	7%	2.88	21%	35%	28%	15%	2%	3.07	38%	33%	26%	2%	0%	
計		3.05	35%	34%	18%	6%	6%	2.99	24%	32%	26%	13%	5%	3.20	42%	39%	14%	4%	1%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

[5/11]

	属性	群	問1 2						問1 3						問1 4					
			選択肢別の回答割合						選択肢別の回答割合						選択肢別の回答割合					
			評点平均	4	3	2	1	無回答	評点平均	4	3	2	1	無回答	評点平均	4	3	2	1	無回答
学生種別	全 科 履 修 生	文化情報科学群	2.87	11%	20%	38%	29%	2%	2.85	11%	22%	35%	30%	2%	3.34	44%	41%	7%	2%	5%
		環境システム科学群	2.64	9%	35%	35%	19%	2%	2.73	10%	26%	42%	19%	3%	3.33	39%	50%	6%	1%	4%
		政策経営	2.66	13%	27%	39%	19%	2%	2.70	12%	22%	42%	18%	5%	3.08	28%	46%	14%	3%	9%
		教育開発	2.69	9%	28%	47%	16%	0%	2.66	13%	25%	47%	16%	0%	3.29	34%	47%	3%	3%	13%
		臨床心理	3.21	4%	4%	61%	32%	0%	2.93	7%	14%	57%	21%	0%	3.25	43%	39%	18%	0%	0%
		小計	2.76	10%	26%	39%	23%	2%	2.77	11%	23%	41%	23%	2%	3.28	38%	45%	9%	2%	6%
		修士選科生	2.79	8%	27%	40%	23%	2%	2.78	9%	26%	40%	23%	2%	3.23	35%	49%	9%	3%	4%
		修士科目生	2.79	6%	31%	38%	23%	3%	2.78	10%	25%	38%	24%	4%	3.18	36%	42%	12%	4%	7%
		無記入	2.62	9%	41%	27%	21%	2%	2.69	9%	30%	39%	18%	4%	2.88	23%	43%	16%	9%	9%
		計	2.77	9%	28%	39%	23%	2%	2.77	10%	25%	40%	23%	3%	3.22	36%	47%	9%	3%	5%
性別	男性	2.78	9%	27%	40%	23%	2%	2.81	9%	23%	42%	23%	3%	3.22	36%	48%	9%	3%	5%	
	女性	2.78	8%	29%	38%	24%	2%	2.72	10%	28%	38%	22%	2%	3.25	37%	45%	9%	2%	6%	
	無記入	2.66	12%	27%	41%	18%	2%	2.70	11%	28%	36%	22%	3%	3.10	31%	49%	11%	5%	3%	
	計	2.77	9%	28%	39%	23%	2%	2.77	10%	25%	40%	23%	3%	3.22	36%	47%	9%	3%	5%	
年齢	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20~29歳	2.62	13%	32%	32%	21%	1%	2.68	12%	27%	40%	19%	1%	3.31	38%	44%	9%	0%	9%	
	30~39歳	2.70	12%	26%	38%	21%	2%	2.70	14%	23%	38%	22%	3%	3.18	36%	44%	11%	4%	5%	
	40~49歳	2.80	6%	27%	45%	20%	3%	2.75	9%	26%	42%	19%	3%	3.25	36%	48%	8%	3%	6%	
	50~59歳	2.80	6%	28%	42%	21%	2%	2.81	7%	26%	45%	20%	2%	3.23	33%	51%	6%	3%	7%	
	60~69歳	2.86	10%	24%	35%	30%	1%	2.88	9%	23%	35%	30%	2%	3.30	43%	42%	9%	2%	4%	
	70歳以上	2.70	10%	35%	26%	26%	3%	2.79	11%	24%	34%	27%	3%	3.14	32%	48%	15%	1%	3%	
	無記入	2.67	7%	37%	40%	17%	0%	2.72	7%	33%	37%	20%	3%	2.87	27%	43%	20%	10%	0%	
	計	2.77	9%	28%	39%	23%	2%	2.77	10%	25%	40%	23%	3%	3.22	36%	47%	9%	3%	5%	
職業	公務員等	2.83	7%	25%	45%	22%	0%	2.85	7%	26%	41%	25%	1%	3.24	36%	49%	9%	2%	4%	
	教員	2.73	8%	30%	41%	19%	1%	2.71	10%	27%	43%	18%	2%	3.27	35%	53%	6%	2%	5%	
	会社員	2.73	10%	24%	43%	19%	4%	2.75	10%	22%	46%	18%	5%	3.20	33%	47%	9%	3%	8%	
	個人営業・自営業	2.90	6%	24%	43%	26%	1%	2.81	9%	26%	38%	25%	2%	3.20	41%	40%	10%	6%	4%	
	農業等	2.70	10%	40%	20%	30%	0%	3.10	10%	20%	20%	50%	0%	3.60	70%	20%	10%	0%	0%	
	看護師等	2.36	18%	43%	20%	17%	2%	2.42	12%	45%	30%	12%	2%	3.34	33%	52%	3%	0%	12%	
	家事専業	2.87	6%	28%	38%	27%	2%	2.65	13%	29%	35%	21%	2%	3.37	45%	40%	10%	0%	5%	
	パート・アルバイト	2.76	7%	32%	36%	23%	1%	2.81	15%	19%	36%	30%	0%	3.05	33%	44%	15%	6%	2%	
	他大学等の学生	3.08	7%	14%	36%	36%	7%	3.08	0%	21%	43%	29%	7%	3.00	29%	29%	0%	14%	29%	
	無職	2.67	12%	32%	31%	23%	2%	2.79	12%	23%	37%	26%	2%	3.20	35%	49%	12%	2%	3%	
	その他	3.01	6%	19%	40%	32%	4%	2.98	7%	18%	40%	29%	5%	3.29	40%	41%	10%	1%	7%	
	無記入	2.68	10%	35%	32%	23%	0%	2.70	10%	32%	32%	23%	3%	2.71	19%	45%	23%	13%	0%	
	計	2.77	9%	28%	39%	23%	2%	2.77	10%	25%	40%	23%	3%	3.22	36%	47%	9%	3%	5%	
	通達指導・単位認定試験の 受験有無	受験	2.81	8%	27%	40%	24%	1%	2.79	10%	25%	41%	23%	1%	3.25	39%	47%	9%	3%	3%
		未受験	2.65	11%	31%	36%	19%	2%	2.68	12%	27%	35%	21%	4%	3.12	27%	49%	15%	1%	9%
通信指導未提出		2.49	13%	29%	29%	13%	16%	2.75	9%	20%	32%	19%	20%	3.05	20%	46%	9%	3%	22%	
無記入		2.69	10%	31%	40%	19%	0%	2.73	10%	29%	38%	21%	2%	3.02	33%	40%	17%	7%	2%	
計		2.77	9%	28%	39%	23%	2%	2.77	10%	25%	40%	23%	3%	3.22	36%	47%	9%	3%	5%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

		小計(問19~22)						問23						問24						
		評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答	
学生種別	文化情報科学群	3.01	45%	23%	14%	8%	9%	3.24	50%	29%	11%	8%	2%	3.51	61%	27%	6%	3%	3%	
	環境システム科学群	3.01	39%	32%	14%	6%	8%	3.27	41%	46%	9%	3%	1%	3.45	52%	38%	7%	1%	2%	
	政策経営	2.88	41%	26%	16%	7%	10%	3.29	47%	34%	14%	2%	3%	3.47	55%	32%	8%	1%	4%	
	教育開発	3.00	38%	34%	16%	8%	5%	3.16	44%	28%	22%	3%	3%	3.34	53%	34%	6%	6%	0%	
	臨床心理	3.07	28%	45%	13%	11%	4%	3.46	54%	39%	7%	0%	0%	3.25	43%	39%	18%	0%	0%	
	小計	2.99	41%	29%	15%	7%	8%	3.27	46%	36%	12%	4%	2%	3.45	55%	33%	8%	2%	2%	
	修選科生	2.96	34%	32%	13%	7%	14%	3.22	40%	42%	12%	3%	3%	3.41	53%	35%	7%	3%	2%	
	修学科目生	2.90	34%	30%	13%	8%	16%	3.15	37%	44%	10%	6%	3%	3.39	50%	40%	5%	3%	2%	
	無記入	2.70	28%	37%	18%	10%	7%	3.21	39%	45%	14%	2%	0%	3.39	46%	46%	7%	0%	0%	
	計	2.95	36%	31%	14%	7%	12%	3.23	42%	40%	12%	4%	3%	3.42	53%	35%	7%	2%	2%	
	性別	男性	2.93	36%	31%	14%	7%	12%	3.26	43%	41%	11%	4%	2%	3.45	55%	34%	7%	2%	2%
女性		3.01	37%	30%	13%	8%	12%	3.19	41%	38%	13%	5%	3%	3.38	51%	36%	9%	2%	2%	
無記入		2.83	30%	36%	13%	7%	14%	3.17	35%	48%	11%	3%	3%	3.39	48%	43%	4%	3%	3%	
計		2.95	36%	31%	14%	7%	12%	3.23	42%	40%	12%	4%	3%	3.42	53%	35%	7%	2%	2%	
年齢	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20~29歳	2.86	39%	26%	16%	8%	11%	3.25	47%	34%	12%	5%	3%	3.49	57%	32%	6%	1%	3%	
	30~39歳	2.92	38%	28%	13%	7%	14%	3.17	42%	39%	10%	8%	2%	3.32	51%	33%	9%	5%	2%	
	40~49歳	2.96	35%	32%	15%	7%	11%	3.25	42%	41%	13%	2%	3%	3.40	51%	36%	9%	1%	3%	
	50~59歳	2.95	32%	33%	14%	6%	15%	3.11	35%	44%	13%	5%	3%	3.38	48%	41%	7%	2%	3%	
	60~69歳	2.99	40%	32%	13%	7%	8%	3.34	47%	40%	9%	2%	2%	3.53	60%	34%	3%	2%	0%	
	70歳以上	3.00	37%	26%	12%	8%	18%	3.35	47%	38%	11%	1%	3%	3.56	64%	24%	8%	1%	3%	
	無記入	2.67	23%	42%	18%	9%	8%	3.23	37%	50%	13%	0%	0%	3.27	33%	60%	7%	0%	0%	
	計	2.95	36%	31%	14%	7%	12%	3.23	42%	40%	12%	4%	3%	3.42	53%	35%	7%	2%	2%	
職業	公務員等	2.94	34%	33%	12%	7%	13%	3.26	44%	41%	11%	4%	0%	3.41	51%	39%	8%	1%	1%	
	教員	2.93	35%	33%	14%	7%	11%	3.13	33%	47%	13%	4%	2%	3.37	48%	41%	6%	3%	2%	
	会社員	2.89	35%	30%	15%	7%	14%	3.21	42%	37%	13%	4%	4%	3.43	53%	34%	7%	2%	4%	
	個人営業・自営業	2.95	39%	25%	13%	7%	15%	3.32	50%	34%	9%	5%	2%	3.51	58%	33%	7%	1%	2%	
	農業等	3.35	58%	15%	18%	10%	0%	3.60	70%	20%	10%	0%	0%	3.90	90%	10%	0%	0%	0%	
	看護師等	3.05	45%	31%	10%	5%	8%	3.26	33%	57%	5%	2%	3%	3.29	42%	45%	7%	3%	3%	
	家事専業	3.06	39%	25%	14%	10%	11%	3.26	43%	38%	11%	4%	4%	3.58	63%	31%	4%	1%	1%	
	パート・アルバイト	2.96	35%	32%	13%	7%	13%	3.22	47%	34%	11%	7%	1%	3.34	55%	23%	16%	3%	2%	
	他大学等の学生	3.17	50%	25%	7%	4%	14%	3.14	57%	21%	0%	21%	0%	3.36	64%	21%	0%	14%	0%	
	無職	2.94	36%	32%	14%	7%	10%	3.26	40%	44%	12%	1%	3%	3.47	59%	30%	6%	3%	2%	
	その他	3.02	34%	30%	13%	6%	16%	3.31	47%	33%	13%	2%	4%	3.42	49%	39%	7%	1%	4%	
	無記入	2.60	21%	40%	23%	9%	7%	3.03	32%	45%	16%	6%	0%	3.10	32%	52%	10%	6%	0%	
	計	2.95	36%	31%	14%	7%	12%	3.23	42%	40%	12%	4%	3%	3.42	53%	35%	7%	2%	2%	
	進路指導・単位認定試験の 受験有無	受験	2.95	41%	35%	15%	8%	1%	3.30	45%	41%	10%	3%	1%	3.49	58%	34%	6%	1%	0%
		未受験	3.12	20%	18%	8%	3%	51%	2.94	29%	42%	20%	7%	2%	3.20	40%	41%	12%	4%	3%
		通信指導未提出	1.97	1%	90%	0%	3%	94%	2.61	16%	32%	13%	17%	23%	2.77	17%	39%	10%	13%	21%
無記入		2.71	27%	39%	20%	6%	8%	3.26	40%	45%	14%	0%	0%	3.38	43%	52%	5%	0%	0%	
計		2.95	36%	31%	14%	7%	12%	3.23	42%	40%	12%	4%	3%	3.42	53%	35%	7%	2%	2%	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる: 4点」「ややあてはまる: 3点」「あまりあてはまらない: 2点」「あてはまらない: 1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。

2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

		問25							問26							小計(問23~問26)						
		評点平均	選択肢別の回答割合						評点平均	選択肢別の回答割合						評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答	4		3	2	1	無回答	4	3		2	1	無回答			
学生種別	文化情報科学群	3.16	41%	37%	14%	5%	3%	3.29	52%	29%	11%	6%	2%	3.30	51%	30%	11%	6%	2%			
	環境システム科学群	3.06	32%	45%	17%	4%	2%	3.24	42%	43%	10%	4%	2%	3.26	42%	43%	11%	3%	2%			
	政策経営	2.98	27%	45%	20%	4%	4%	3.14	34%	42%	20%	0%	4%	3.22	41%	38%	16%	2%	4%			
	教育開発	3.19	41%	41%	16%	3%	0%	3.22	50%	28%	16%	6%	0%	3.23	47%	33%	15%	5%	1%			
	臨床心理	3.21	36%	54%	7%	4%	0%	3.43	46%	50%	4%	0%	0%	3.34	45%	46%	9%	1%	0%			
	小計	3.10	35%	42%	16%	4%	2%	3.25	45%	37%	12%	4%	2%	3.27	45%	37%	12%	4%	2%			
	修士選科生	3.06	30%	47%	17%	4%	2%	3.15	36%	44%	13%	4%	3%	3.21	40%	42%	12%	4%	2%			
	修士科目生	3.03	29%	48%	13%	7%	4%	3.08	34%	41%	16%	5%	4%	3.17	37%	43%	11%	5%	3%			
	無記入	3.07	29%	50%	21%	0%	0%	3.16	34%	52%	11%	4%	0%	3.21	37%	48%	13%	1%	0%			
	計	3.07	31%	46%	16%	4%	3%	3.17	39%	42%	13%	4%	3%	3.22	41%	41%	12%	4%	2%			
性別	男性	3.11	34%	45%	15%	4%	2%	3.22	41%	43%	11%	4%	2%	3.26	43%	41%	11%	3%	2%			
	女性	3.02	30%	45%	17%	5%	3%	3.12	37%	40%	16%	5%	3%	3.18	40%	40%	14%	4%	3%			
	無記入	2.91	21%	50%	23%	3%	3%	3.04	32%	43%	17%	5%	3%	3.13	34%	46%	14%	4%	3%			
	計	3.07	31%	46%	16%	4%	3%	3.17	39%	42%	13%	4%	3%	3.22	41%	41%	12%	4%	2%			
年齢	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	20~29歳	3.03	31%	45%	16%	6%	1%	3.05	34%	42%	18%	5%	1%	3.21	42%	38%	13%	5%	2%			
	30~39歳	2.99	31%	41%	18%	7%	2%	3.10	37%	41%	11%	8%	3%	3.15	40%	39%	12%	7%	2%			
	40~49歳	3.08	31%	45%	18%	3%	3%	3.22	40%	40%	14%	3%	3%	3.24	41%	40%	13%	2%	3%			
	50~59歳	3.03	29%	47%	15%	6%	3%	3.11	34%	46%	12%	6%	3%	3.16	36%	44%	12%	5%	3%			
	60~69歳	3.16	37%	44%	15%	3%	1%	3.28	45%	40%	13%	2%	1%	3.33	47%	39%	10%	2%	1%			
	70歳以上	3.15	31%	53%	11%	3%	3%	3.23	43%	36%	16%	2%	3%	3.32	46%	38%	11%	2%	3%			
	無記入	2.90	17%	57%	27%	0%	0%	3.07	23%	63%	10%	3%	0%	3.12	28%	58%	14%	1%	0%			
計	3.07	31%	46%	16%	4%	3%	3.17	39%	42%	13%	4%	3%	3.22	41%	41%	12%	4%	2%				
職業	公務員等	3.06	31%	48%	15%	5%	1%	3.12	35%	46%	14%	4%	1%	3.21	40%	43%	12%	4%	1%			
	教員	2.99	27%	49%	18%	5%	2%	3.10	34%	47%	11%	6%	2%	3.15	36%	46%	12%	5%	2%			
	会社員	3.10	33%	42%	19%	2%	4%	3.23	41%	39%	12%	4%	4%	3.24	42%	38%	13%	3%	4%			
	個人営業・自営業	3.19	37%	45%	11%	4%	3%	3.31	53%	28%	11%	6%	2%	3.33	49%	35%	9%	4%	2%			
	農業等	3.30	40%	50%	10%	0%	0%	3.60	60%	40%	0%	0%	0%	3.60	65%	30%	5%	0%	0%			
	看護師等	3.03	22%	58%	15%	2%	3%	3.16	27%	60%	8%	2%	3%	3.19	31%	55%	9%	2%	3%			
	家事専業	3.07	32%	46%	13%	6%	3%	3.25	43%	38%	12%	4%	4%	3.29	45%	38%	10%	4%	3%			
	パート・アルバイト	3.09	35%	40%	18%	4%	2%	3.06	36%	38%	19%	5%	1%	3.18	43%	34%	16%	5%	2%			
	他大学等の学生	3.14	50%	29%	7%	14%	0%	3.58	64%	7%	14%	0%	14%	3.30	59%	20%	5%	13%	4%			
	無職	3.08	32%	48%	15%	4%	1%	3.16	36%	44%	16%	2%	1%	3.24	42%	42%	12%	3%	2%			
	その他	3.10	34%	40%	17%	4%	6%	3.23	42%	34%	16%	2%	6%	3.26	43%	36%	13%	2%	5%			
	無記入	2.71	16%	45%	32%	6%	0%	2.90	23%	55%	13%	10%	0%	2.94	26%	49%	18%	7%	0%			
	計	3.07	31%	46%	16%	4%	3%	3.17	39%	42%	13%	4%	3%	3.22	41%	41%	12%	4%	2%			
	通達指導・単位認定試験の受験有無	受験	3.15	35%	47%	15%	3%	0%	3.24	42%	42%	13%	3%	0%	3.30	45%	41%	11%	2%	0%		
未受験		2.84	19%	51%	19%	7%	4%	2.87	25%	42%	20%	9%	4%	2.96	28%	44%	18%	7%	3%			
通信指導未提出		2.30	7%	28%	21%	20%	24%	2.59	13%	35%	11%	17%	24%	2.57	13%	33%	14%	16%	23%			
無記入		2.98	31%	36%	33%	0%	0%	3.19	36%	48%	17%	0%	0%	3.20	38%	45%	17%	0%	0%			
計		3.07	31%	46%	16%	4%	3%	3.17	39%	42%	13%	4%	3%	3.22	41%	41%	12%	4%	2%			

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録(2) 大学院 平成18年度学生による授業評価の調査結果(属性別クロス集計:全体)

【11/11】

		合計(問1~問26)						
		評点平均	選択肢別の回答割合					
			4	3	2	1	無回答	
学生種別	全科履修生	文化情報科学群	3.10	36%	30%	19%	11%	4%
			4,550	1,628	1,371	869	488	194
	環境システム科学群		3.04	31%	39%	19%	8%	4%
			4,134	1,266	1,614	787	311	156
	政策経営		3.00	31%	32%	23%	8%	6%
			2,548	790	823	581	205	149
	教育開発		3.01	29%	34%	23%	9%	4%
			832	244	287	193	71	37
	臨床心理		3.16	30%	41%	20%	8%	1%
			728	216	299	147	58	8
	小計		3.06	32%	34%	20%	9%	4%
			12,792	4,144	4,394	2,577	1,133	544
	修士選科生		3.03	29%	37%	20%	9%	5%
			21,658	6,382	7,971	4,371	1,875	1,059
修士科目生		2.97	28%	35%	20%	10%	7%	
		5,408	1,538	1,910	1,087	521	352	
無記入		2.95	27%	38%	22%	9%	4%	
		1,456	390	558	315	132	61	
計		3.03	30%	36%	20%	9%	5%	
		41,314	12,454	14,833	8,350	3,661	2,016	
性別	男性	3.04	31%	35%	20%	9%	5%	
		23,426	7,245	8,307	4,708	2,056	1,110	
	女性	3.02	30%	36%	20%	9%	5%	
		14,898	4,410	5,379	3,014	1,337	758	
無記入		2.95	27%	38%	21%	9%	5%	
		2,990	799	1,147	628	268	148	
計		3.03	30%	36%	20%	9%	5%	
		41,314	12,454	14,833	8,350	3,661	2,016	
年齢	19歳以下	-	-	-	-	-	-	
		0	0	0	0	0	0	
	20~29歳	2.96	31%	36%	20%	8%	5%	
		2,002	620	715	404	166	97	
	30~39歳	2.95	30%	35%	20%	10%	5%	
		7,462	2,226	2,617	1,514	743	362	
	40~49歳	3.04	29%	37%	21%	8%	5%	
		11,206	3,266	4,135	2,388	877	540	
	50~59歳	3.01	27%	37%	21%	9%	6%	
	9,412	2,570	3,502	1,943	840	557		
60~69歳	3.13	35%	34%	18%	10%	3%		
	6,578	2,308	2,216	1,202	627	225		
70歳以上	3.10	34%	34%	18%	9%	6%		
	3,874	1,300	1,316	699	337	222		
無記入		2.87	21%	43%	26%	9%	2%	
		780	164	332	200	71	13	
計		3.03	30%	36%	20%	9%	5%	
		41,314	12,454	14,833	8,350	3,661	2,016	
職業	公務員等	3.04	29%	38%	21%	8%	4%	
		5,928	1,713	2,233	1,248	500	234	
	教員	2.99	28%	39%	21%	8%	4%	
		7,852	2,187	3,046	1,660	629	330	
	会社員	3.01	30%	34%	21%	8%	6%	
		7,332	2,189	2,519	1,532	616	476	
	個人営業・自営業	3.08	34%	32%	19%	11%	5%	
		3,198	1,082	1,014	608	339	155	
	農業等	3.42	48%	28%	12%	11%	0%	
		260	124	74	32	29	1	
	看護師等	2.97	28%	45%	16%	6%	5%	
		1,560	432	699	249	95	85	
	家事専業	3.06	32%	36%	19%	9%	5%	
		2,704	864	960	525	232	123	
パート・アルバイト	2.97	31%	33%	21%	11%	3%		
	2,444	762	817	513	280	72		
他大学等の学生	3.09	33%	29%	10%	14%	14%		
	364	120	106	36	52	50		
無職	3.05	32%	36%	19%	9%	4%		
	5,330	1,719	1,899	1,030	462	220		
その他	3.12	31%	32%	20%	9%	7%		
	3,536	1,099	1,148	707	324	258		
無記入	2.80	20%	39%	26%	13%	1%		
	806	163	318	210	103	12		
計		3.03	30%	36%	20%	9%	5%	
		41,314	12,454	14,833	8,350	3,661	2,016	
通信指導・単位認定試験の 受験有無	受験	3.07	33%	37%	20%	9%	2%	
		33,696	11,040	12,444	6,729	2,903	580	
	未受験	2.89	21%	35%	23%	9%	12%	
		3,224	687	1,131	729	288	389	
	通信指導未提出	2.67	13%	26%	19%	11%	31%	
		3,302	435	851	620	378	1,018	
無記入		2.93	27%	37%	25%	8%	3%	
		1,092	292	407	272	92	29	
計		3.03	30%	36%	20%	9%	5%	
		41,314	12,454	14,833	8,350	3,661	2,016	

(注) 1. 評点については、調査票の選択肢「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」としている。
但し、設問4・5・6・12・13・15・21については、評価基準が逆であるため、数値を逆転して集計している。
2. 各問の「選択肢別の回答割合」については、少数点第一位を四捨五入しているため、必ずしも100%になるとは限らない。

付録（３）キャンパスネットワークHP 掲載例

自由記述欄で寄せられた意見・要望等の主な事項について、本学における現在の状況をキャンパスネットワークHPで以下のように掲載する予定です。（内容については随時更新予定。）

学生による授業評価で寄せられた意見・要望等(自由記述)について

意見・要望	基礎から専門へ、知識の修得が一步一步着実に進むような科目構成にしてほしい。
本学の状況	平成21年度より、学部における現在の2つの科目区分（「共通科目」、「専門科目」）から「基礎科目」「共通科目」「専門科目」「総合科目」という4つの区分を設けるなどカリキュラムの体系的な整備を進めています。なお、学習テーマを進めるにあたって履修の目安となるよう学習テーマ別に履修が望ましいと考えられる授業科目の「履修例」を授業科目案内等でお知らせしていますので、計画的な学習にご活用ください。（2007/3/〇）

意見・要望	平成18年度より始まった「科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）」の授業科目群の中に、過去に単位を修得しているため履修できない科目で、認証制度における単位としても認定されない科目がある。過去に単位を修得している科目についても認証制度の単位として認めてほしい。
本学の状況	平成19年度から、過去に単位を修得しているため履修できない科目（再履修不可の科目）については、過去に修得した単位も科目群履修認証制度（放送大学エキスパート）の単位として認定することとしております。（2007/3/〇）

意見・要望	授業評価は公表したら終わりではなく、ぜひ活用してほしい。
本学の状況	評価結果は、自由記述における意見等と一緒に該当科目の担当主任講師に提供しています。各主任講師は、教材の作り替えに際して、その結果を参照しつつ改訂作業を進めています。それによって、教材作成は利用者である学生の特性と希望を十分勘案した上で進めることができるようになりました。（2007/3/〇）

付録（３）キャンパスネットワークHP 掲載例

意見・要望	語学系の科目は、CD等のメディアを教材に付けてほしい。
本学の状況	平成17年度の基礎英語A（'05）に試行的にCDを添付してから、可能な科目については改訂時にCDを添付するようにしています。平成19年度には、スペイン語入門I（'08）、スペイン語入門II（'08）、英語総合B（'08）にCDを添付いたします。 (2007/3/〇)

意見・要望	インターネットで自宅から放送大学図書館の検索ができるとうい。
本学の状況	現在、インターネット上で自宅からの蔵書検索は可能です。 さらに、「図書館OPACシステム」をリニューアルいたしましたので下記サービスも是非ご利用ください。 http://lib.u-air.ac.jp ・自分が借りている図書、予約中の図書がわかる。 ・図書の貸出期間の延長、貸出中図書への予約と取消 ・携帯電話からの蔵書検索 http://opac.u-air.ac.jp/opac/ ほかに、自宅から外国の電子ジャーナルが利用できるサービスなどもあります。 (2007/3/〇)

意見・要望	担当教授の近著や論文などがあるといい。近著はセンターや図書館にそろえてもらえない。論文についてはHPなどで紹介してほしい。研究課題や試験勉強の参考になる。
本学の状況	本学教員に関する情報におきましては、キャンパスネットワークにて教員紹介をしております。是非ご利用ください。(2007/3/〇)

意見・要望	授業料の振り込み等をネットバンキングやATMからもできるようにしてほしい。
本学の状況	平成19年度1学期分の学費よりコンビニエンスストアにおける納入を開始しております。また、銀行・信用金庫等の金融機関の窓口、郵便局（窓口及び一部のATM）での現金払込みも可能となっておりますのでご利用ください。但し、平成19年1月から、金融庁の送金規制により、10万円を超える振込みについては、金融機関・郵便局の窓口での本人確認が必要ですので、詳しくは払込みを行う金融機関等にご確認ください。(2007/3/〇)